

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成29年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)

平成31年2月
遠野市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	5
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	12
1	ふるさと教育の推進	15
(1)	就学前教育の充実	15
(2)	学校教育の充実	19
(3)	高等学校への支援	34
2	生涯学習の推進	36
(1)	社会教育の充実	36
(2)	芸術文化活動の推進	40
3	ふるさとの文化の継承・創造	42
(1)	郷土文化の保存と活用	42
(2)	文化財の保護と継承	46
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	50
4	健康づくりの推進	53
(1)	健康づくり活動の推進	53
5	子育て支援の推進	58
(1)	少子化対策・子育て支援	58
IV	外部評価の実施	65

【附属資料】

資料1 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画 平成29年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連 34指標)

資料2 平成29年度 主要な施策の成果説明
(第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連 55事務事業)

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
15	1	(1)	①	わらすっこプラン推進事業費	こども政策課
16	1	(1)	②	わらすっこの育ち療育支援事業費	こども政策課
16	1	(1)	②	障害児通所支援事業費	こども政策課
17	1	(1)	②	保育所等運営事業費	こども政策課
18	1	(1)	②	保育所施設整備事業費	こども政策課
18	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	こども政策課
19	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
20	1	(2)	①	外国語指導助手招へい事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	特色ある学校づくり事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	平成・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	大府市児童交流事業費	学校教育課
23	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
24	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
25	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	学校教育課
26	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	学校教育課
26	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	学校教育課
27	1	(2)	②	特別支援教育関係費（小学校）	学校教育課
27	1	(2)	②	小学校大規模改造整備事業費	総務企画部財政担当
28	1	(2)	②	小学校大規模改造整備事業費（単独分）	総務企画部財政担当
28	1	(2)	②	小学校プール整備事業費（繰越明許費）	学校教育課
29	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	学校教育課
29	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	学校教育課
30	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	学校教育課
30	1	(2)	②	特別支援教育関係費（中学校）	学校教育課
31	1	(2)	②	中学校屋内運動場整備事業費（繰越明許費）	学校教育課
32	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
33	1	(2)	④	地域教育文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
34	1	(3)	①	育英事業費	学校教育課
35	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	学校教育課
36	2	(1)	①	みらい創りカレッジ推進事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	③	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課
39	2	(1)	④	高齢者元気アップ活動事業費	生涯学習スポーツ課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
40	2	(1)	⑤	青少年健全育成活動事業費	生涯学習スポーツ課
40	2	(1)	⑤	放課後子どもプラン推進事業費	生涯学習スポーツ課
41	2	(2)	②	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
42	3	(1)	①	博物館費	文化課
43	3	(1)	②	図書館費	文化課
45	3	(1)	②	視聴覚教育振興費	文化課
45	3	(1)	②	ブックスタート事業費	文化課
46	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
47	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
47	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
48	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
49	3	(2)	①	歴史文化基本構想策定事業費	文化課
49	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
50	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	文化課
51	3	(3)	②	伊能嘉矩生誕 150 年記念事業費	文化課
52	3	(3)	②	遠野「語り部」1000 人プロジェクト事業費	文化課
52	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	市史編さん室
54	4	(1)	①	健康スポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
54	4	(1)	①	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
55	4	(1)	②	広域連携推進事業費（スポーツツーリズム推進室分）	生涯学習スポーツ課
55	4	(1)	②	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
56	4	(1)	②	スポーツ・ツーリズム推進事業費（繰越明許費）	生涯学習スポーツ課
57	4	(1)	③	ぱすぼる推進事業費	学校給食センター
59	5	(1)	①	分庁舎等再整備事業費（東館庁舎分）	こども政策課
59	5	(1)	①	家庭児童・女性相談事業費	こども政策課
60	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	こども政策課
60	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	こども政策課
61	5	(1)	①	とおのスタイル結婚応援事業費	こども政策課
61	5	(1)	①	母子家庭等対策総合支援事業費	こども政策課
62	5	(1)	②	児童扶養手当給付費	こども政策課
62	5	(1)	②	子育て応援宣言のまち推進事業費	こども政策課
64	5	(1)	②	児童館施設整備事業費	こども政策課
64	5	(1)	②	児童館施設整備事業費（繰越明許費）	こども政策課

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあっては、首長部局）が平成29年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第2期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から平成37年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、附属資料として、平成30年9月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類（主要な施策の成果説明書）」のうち、第2期 遠野市教育振興基本計画に登載している事業に関連する部分を抜粋して掲載しています。

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会の構成

(平成31年2月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	中 浜 艶 子	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	角 田 直 樹	平成28年11月26日から平成32年11月25日まで
委員	千 田 由美子	平成27年11月26日から平成31年11月25日まで
委員	菊 池 崇	平成28年4月1日から平成32年3月31日まで
委員	菊 池 和 子	平成30年11月26日から平成34年11月25日まで

2 教育委員会の会議の招集状況

平成29年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を3回(2月に1回、3月に2回)、計15回会議を招集しました。

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、平成29年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、33件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	17
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	0

5	職員の人事異動の方針を定めること	1
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	3
7	附属機関の委員の任免に関すること	4
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	1
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		33

【平成29年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
平成29年4月定例会				
9	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成29年4月28日	承認	7
10	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成29年4月28日	承認	7
平成29年5月定例会				
11	遠野市就学指導委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成29年5月31日	承認	7
平成29年6月定例会				
12	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成29年6月28日	可決	7
平成29年7月定例会				
13	平成30年度使用小学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成29年7月21日	可決	3
14	平成30年度使用中学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成29年7月21日	可決	3
15	平成30年度使用小学校教科書用図書（道徳）の採択に関し議決を求めることについて	平成29年7月21日	可決	3
平成29年8月定例会				
16	平成29年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成29年8月31日	可決	9

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成29年10月定例会				
17	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	平成29年 10月25日	可決	10
平成29年11月定例会				
18	平成30年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	平成29年 11月22日	可決	5
平成30年2月定例会				
1	平成30年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成30年 2月15日	可決	1
2	平成30年度の学校給食費の額の決定に関し議決を求めることについて	平成30年 2月15日	可決	3
平成30年2月臨時会				
3	平成30年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成30年 2月23日	可決	6
平成30年3月臨時会				
4	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成30年 3月19日	可決	6
平成30年3月定例会				
5	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
6	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
7	遠野市民センター管理運営規則（教育委員会）の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
8	遠野市視聴覚ライブラリー規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
9	遠野市図書館活動専門員規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
10	博物館の登録に関する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
11	遠野市博物館研究員及び遠野市博物館特別研究員規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
12	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
13	遠野市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
14	遠野市奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
15	遠野市立小中学校文書取扱規程の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
16	遠野市スポーツ推進委員被服貸与規程の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
17	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
18	遠野市教育委員会公印規程及び遠野市教育委員会事務局職員等被服貸与規程の一部を改正する訓令の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
19	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成30年 3月23日	可決	2
20	遠野市指定無形民俗文化財の指定に関し議決を求めることについて	平成30年 3月23日	可決	8
平成30年3月第2回臨時会				
21	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則の制定について	平成30年 3月28日	可決	2
22	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の一部を改正する訓令の制定について	平成30年 3月28日	可決	2
23	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成30年 3月28日	可決	6

(2) 総合教育会議

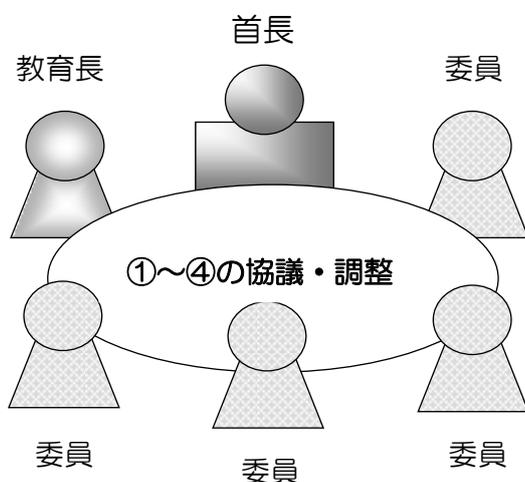
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

平成29年度は3回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 平成29年6月21日	(1) 「わらすっこの城」整備構想について (2) 中高生等の「学びの場づくり」構想について
第2回 平成29年8月10日	「学力向上対策」推進の成果と課題について
第3回 平成29年11月10日	(1) 学力向上に向けた教育の環境整備について (2) 遠野緑峰高校に対する就学・食育支援（案）について

【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整



- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会 議 名 等
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会
11月	本会議、議員全員協議会
12月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
3月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会

【学校訪問】

月	行 事 名 等
6月	学校懇談会（青笹小学校）
8月	学校懇談会（鱒沢小学校）
9月	学校公開研究会（遠野東中学校） 交流すまいる給食（土淵小学校）
10月	学校公開研究会（綾織小学校） 交流すまいる給食（鱒沢小学校）
11月	学校公開研究会（小友小学校） 学校懇談会（附馬牛小学校） 交流すまいる給食（綾織小学校）

【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席したものを列記）

月	行 事 名 等
4月	平成29年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 遠野市立小中学校転入教職員等着任式 特別支援教育支援員研修会・特定教科支援員研修会 小学校入学式 中学校入学式 県立高等学校入学式 校長・副校長会議 東北都市教育長協議会定期総会・研修会（福島県福島市） 遠野市奨学生選考委員会 新しい『遠野物語』を創るプロジェクト開講式（遠野高等学校）

月	行 事 名 等
4月	高校再編を考える市民会議 第70回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会一関大会実行委員会 岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 遠野ユネスコ協会総会
5月	遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」 高校再編を考える市民会議 遠野市総合計画審議会 学力向上対策会議 小学校運動会 中学校体育祭 釜石・遠野地区教科書採択協議会 第69回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会（奈良県奈良市） 遠野市生徒指導推進協議会総会 中高連携サポート会議 遠野市教育研究会研修会 岩手県市町村教育委員協議会定期総会 遠野市PTA連合会定期総会 「いっぽいっぽの会」総会 遠野市消防演習 遠野市学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 遠野市交通安全対策協議会総会
6月	釜石地区租税教育推進協議会 遠野市区長連絡協議会定期総会・遠野市公衆衛生組合連合会定期総会 各町町民運動会 遠野納涼花火まつり実行委員会 岩手県民体育大会遠野市選手団結団式 遠野市緑化祭「里山フェスタ2017」 遠野市中学校総合体育大会 生徒指導主事会議 総合教育会議 岩手県青少年劇場
7月	遠野運動公園わんぱく広場リニューアルオープン式典 遠野市総合食育センター運営審議会 日本のふるさと遠野まつり臨時実行委員会 高校再編を考える市民会議 遠野市地域教育協議会連絡会 遠野わらすっこまつり 市内小学校水泳記録会

月	行 事 名 等
7月	平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」八戸市児童受入れ 第49回岩手県緑の少年団大会 遠野市教育研究所全体研修会
8月	チャレンジ防災スクールTONO2017 遠野市防災会議 平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」 遠野市児童派遣 東北少年・学童軟式野球大会 遠野市芸術文化協会設立10周年記念式典 遠野市総合計画審議会 遠野納涼花火まつり 愛知県大府市小学生都市間交流事業 大府市児童受入れ 遠野市役所本庁舎引き渡し式・内覧会 遠野市民野球大会 遠野文化フォーラム 遠野ローカルベンチャー事業活動報告会 特別支援教育支援員研修会 遠野市中学校駅伝競走大会 遠野市少年消防クラブ防火野球大会 遠野ホップ収穫祭2017 遠野じんぎすかんマラソン 附馬牛児童館新築・附馬牛保育園改築工事起工式及び安全祈願祭 校長会議 中学生海外派遣交流事業事前研修会 遠野市戦没者追悼・平和祈念式
9月	遠野市役所本庁舎開庁式 アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市との姉妹都市締結式 遠野市中学校新人大会 遠野市防災訓練 日本のふるさと遠野まつり 第61回岩手県地域婦人大会 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会 遠野市内中学校陸上記録会
10月	第30回スポーツ少年団親睦野球小友大会 市制施行12周年記念式典 遠野市中学生英語暗誦大会 遠野市産業まつり 遠野緑峰高等学校 授業研究会 小学校学習発表会

月	行 事 名 等
10月	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価会議 遠野西中学校吹奏楽部演奏会「Smileコンサート」 遠野市就学指導委員会 岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会及び委員長・教育委員部会 平成29年度緑峰祭（遠野緑峰高校文化祭）
11月	平成29年度「いわて教育の日」のつどい 第44回福崎町秋祭り（兵庫県福崎町） 愛知県大府市児童交流事業遠野市実行委員会総会 遠野地区中学校総合文化祭 総合教育会議 学力向上対策会議 平成29年度岩手県教職員表彰式 明日の遠野の環境を考えるフォーラム 遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」開設10周年記念式典・フォーラム 高校再編を考える市民会議 校長会議 遠野市民センターバレエスタジオ開設40周年記念公演 教育研究所運営委員会 遠野市就学指導委員会
12月	ハートフルステージ～音楽で育む「人権」の集い～ 「第16回絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展表彰式 清養園保養センタースケート場安全祈願祭 遠野物語ファンタジー旗揚げ会 遠野市納税貯蓄組合連合会女性部研修会 日報リーダーズサークル遠野例会 陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 全国高等学校サッカー選手権大会出場激励会 中学生海外派遣交流事業結団式 赤羽根スキー場安全祈願祭 遠野一輪車クラブスポーツ少年団発表会 愛知県大府市児童交流10周年記念事業事前研修会
1月	中学生海外派遣交流事業出発式 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 愛知県大府市児童交流10周年記念事業出発式 遠野市教育研究所教育研究発表会 地域で子どもを育てる学習発表会 管内教育長会議 遠野緑峰高等学校 校内プロジェクト発表会

月	行 事 名 等
2月	平成29年度遠野市学校保健会研究大会 市内小中学校環境科学研究発表会 第45回保育のつどい アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市への遠野市公式訪問団派遣・ 平成29年度中学生海外派遣交流事業報告会 平成29年度岩手県市町村教育委員会協議会 教育長・教育委員研修会 遠野市特別支援研究会 交流発表会 岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 全国都市教育長協議会定期総会・研究大会一関大会実行委員会 岩手県教育研究発表会 稲荷下第二地区土地区画整理事業完了式典 遠野スタイル総合力推進フォーラム 遠野市学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 遠野市文化財保護審議会 ことばの教室・きこえの学級 校外学習発表会 第44回遠野市教育文化振興財団顕賞式 第2回岩手県小学生剣道選手権大会 ユネスコ未来遺産登録証伝達式 小友町裸参り 市民の舞台遠野物語ファンタジー 岩手県スポーツ推進委員研修会実行委員会設立総会
3月	県立高等学校卒業式 岩手県保育協議会遠野地区双葉会年度末研修会 小・中学校卒業証書授与式 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会 防災の集い ～災害に負けない遠野を創る～ 新しい『遠野物語』を創るプロジェクト発表会（遠野高等学校） 退職・市外転出教職員辞令交付式 災害公営住宅現地説明会 日本のふるさと遠野まつり実行委員会 教育委員会退職者等辞令交付式 附馬牛保育園・附馬牛児童館落成式及び祝賀会

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

平成29年度において、遠野市教育委員会は、

- ・ 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画（計画期間：平成28年度～平成32年度）
- ・ 第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画 前期基本計画においては、教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

【第2次遠野市総合計画 前期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大 綱	政 策	施 策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用 2 文化財の保護と継承 3 郷土の文化を生かした地域創造
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	

また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って、各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、平成29年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「平成29年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	平成29年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位：円)	
平成30年度事業所管課	平成30年度における当該事務事業を所管する課の名称を記載しています。			
取組状況	事務事業の概要、取組状況等を記載しています。		評価	※
成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)			

【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果（「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分）を、前ページの表の「評価」欄（※）に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成されたとまではいえないと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合

1 ふるさと教育の推進

(1) 就学前教育の充実

①家庭や地域での教育

施策の展開に係る全体総括	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、家庭や子育てを社会全体で支えていく地域社会づくりをめざし、地域及び事業所を巻き込んで子育て支援施策を推進した。</p> <p>また、遠野テレビを活用し、「子育て情報ガイド わらすっこナビ！」を制作する等、毎月様々な子育て関連事業の周知を図った。</p>
課題	<p>子育て世代が安心してゆとりある子育てができるように、わらすっこ条例応援認定事業者を増加し、連携を図り、就労環境の充実を継続して推進する必要がある。</p>

事業費名	わらすっこプラン推進事業費	平成29年度 決算額	3,826,590円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（遠野わらすっこプラン）に基づき、子どもだけでなく子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者等）も対象とした子育て支援事業を展開した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○遠野市わらすっこ条例普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらすっこ条例応援事業者認定制度により、子育て支援を積極的に実施している事業者を新たに2事業者認定し、地域全体で子育てを応援する環境をさらに促進した。 ・毎月遠野テレビで「子育て情報ガイドわらすっこナビ！」を放送し、子育て支援関連事業を広く周知することができた。 <p>○遠野市わらすっこ支援委員会運営事業</p> <p>わらすっこプラン関連事業やわらすっこプラン事業の評価等について審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を3回開催した。</p> <p>○遠野市わらすっこ基金事業</p> <p>寄附金9件 1,974,300円、運用利子 16,577円、ふるさと納税分（わらすっこプラン事業への寄附金のうち経費等を除いた分） 1,056,000円、計3,046,877円を遠野市わらすっこ基金に積み立てるとともに、子育て支援事業に活用した。</p>			

②教育・保育の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>平成30年3月、老朽化が進む附馬牛保育園を児童館と合築で改築整備し、子どもたちが安全で健やかに生活することができる保育環境の整備を行った。</p> <p>運営主体である社会福祉法人遠野市保育協会に対して補助金を交付し、児童福祉の向上を図った。</p>
課題	<p>保健師等保育園訪問等により支援が必要と思われる児童は約10%であり、子どもの発達にかかる早期発見と、育ちの相談、指導等の充実を図るために、臨床心理士を通年で契約できるシステムを構築する必要がある。</p>

事業費名	わらすっこの育ち療育支援事業費	平成29年度 決算額	7,137,193円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○障がいのある児童や発達に遅れが生じるおそれがある児童等に対して、個別活動や集団活動を取り入れた療育支援教室を実施し、心身の発達を促すとともに、軽中等度の難聴児に対しては補聴器具の購入に伴う補助を行った。</p> <p>○就学している障がい児が日中一時支援事業を利用した際に伴う利用料の自己負担額分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、療育支援を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○臨床心理士等による助言をもとに、支援が必要な就学前の児童に対して療育支援教室を開催し、児童にあわせた個別活動等適正な指導により、心身の育成の助長を行った。</p> <p>・療育支援教室 23人（のびっこ教室16人、ジャンプ教室7人）</p> <p>○発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して、幼児ことばの教室を開催し就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。</p> <p>・幼児ことばの教室 11人</p> <p>○児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図るため、日中一時支援事業利用料の自己負担額の全額を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>・日中一時支援事業利用者負担助成 5人</p>			

事業費名	障害児通所支援事業費	平成29年度 決算額	3,658,129円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>障害児入所給付費等国庫負担金等を活用し、障がい児が放課後や土日祝日、夏休み等の長期休業期間中を利用して、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を図ることを目的に、県が指定する障害児通所支援事業所を利用した際の費用等を支給した。</p>	評価	達成	
成果	<p>障害者通所支援事業所を利用し、未就学の障がい児については日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練、就学している障がい児については学校の休業日に生活能力の向上に必要な訓練や社会との交流促進を図るとともに、保護者は原則自己負担1割（上限額あり）でサービスを利用することができ、残りの9割については国、県及び市が負担することにより、保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>事業利用対象者 4名（児童発達支援 1名、放課後等デイサービス 3名）</p> <p>【財源】国1/2、県1/4、市1/4 障害児入所給付費等国庫負担金 1,747,122円 障害児入所給付費等県負担金 873,561円</p>			

事業費名	保育所等運営事業費	平成29年度 決算額	1,015,590,397円																																															
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課																																																	
取組状況	<p>○ライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育所の利用を希望する子育て世代が増加していることから、保育の受け皿として市内12箇所の保育所の運営を委託し、2箇所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、児童の健全な育成を図った。</p> <p>○地域の実情や、子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」「保育所地域活動事業」「地域子育て支援拠点事業」「延長保育事業」「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所等の円滑な運営を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費を補助した。</p>	評価	達成																																															
成果	<p>○市内12箇所の保育所の運営を委託し、2箇所の認定こども園の運営費を負担することにより、安心して充実した子育て環境の提供を実現し、児童の健全な育成を推進した。</p> <p>○平成29年度末における入所児童数</p> <table border="0"> <tr> <td>遠野</td><td>101人(91.8%)</td> <td>神明</td><td>83人(92.2%)</td> <td>綾織</td><td>47人(78.3%)</td> </tr> <tr> <td>岩滝</td><td>29人(72.5%)</td> <td>附馬牛</td><td>37人(92.5%)</td> <td>白岩</td><td>104人(94.5%)</td> </tr> <tr> <td>松崎</td><td>54人(90.0%)</td> <td>土淵</td><td>64人(91.4%)</td> <td>青笹</td><td>99人(99.0%)</td> </tr> <tr> <td>上郷</td><td>54人(108.0%)</td> <td>宮守</td><td>60人(63.1%)</td> <td>達曾部</td><td>36人(90.0%)</td> </tr> <tr> <td>鱒沢</td><td>13人(65.0%)</td> <td>聖光</td><td>96人(78.0%)</td> <td>合計</td><td>877人(87.0%)</td> </tr> </table> <p>※ 括弧内記載の割合は、定員に対する充足率。</p> <p>○平成29年度末における年齢別入所児童数</p> <table border="0"> <tr> <td>0歳児</td><td>97人</td> <td>1歳児</td><td>133人</td> <td>2歳児</td><td>126人</td> <td>3歳児</td><td>168人</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td><td>181人</td> <td>5歳児</td><td>172人</td> <td>合計</td><td>877人</td> <td></td><td></td> </tr> </table> <p>○生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施することにより、子育て環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別保育事業（障害児保育事業、保育所地域活動事業、延長保育事業、一時預かり事業）（利用者 延べ829人） 7,999,360円 ・地域子育て支援拠点事業（利用者 延べ2,916人） 7,171,640円 ・平成28年度子ども・子育て支援交付金返還金 608,000円 <p>○社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費補助金を交付し、保育所及び認定こども園の円滑な運営を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費補助金 35,153,000円 	遠野	101人(91.8%)	神明	83人(92.2%)	綾織	47人(78.3%)	岩滝	29人(72.5%)	附馬牛	37人(92.5%)	白岩	104人(94.5%)	松崎	54人(90.0%)	土淵	64人(91.4%)	青笹	99人(99.0%)	上郷	54人(108.0%)	宮守	60人(63.1%)	達曾部	36人(90.0%)	鱒沢	13人(65.0%)	聖光	96人(78.0%)	合計	877人(87.0%)	0歳児	97人	1歳児	133人	2歳児	126人	3歳児	168人	4歳児	181人	5歳児	172人	合計	877人					
遠野	101人(91.8%)	神明	83人(92.2%)	綾織	47人(78.3%)																																													
岩滝	29人(72.5%)	附馬牛	37人(92.5%)	白岩	104人(94.5%)																																													
松崎	54人(90.0%)	土淵	64人(91.4%)	青笹	99人(99.0%)																																													
上郷	54人(108.0%)	宮守	60人(63.1%)	達曾部	36人(90.0%)																																													
鱒沢	13人(65.0%)	聖光	96人(78.0%)	合計	877人(87.0%)																																													
0歳児	97人	1歳児	133人	2歳児	126人	3歳児	168人																																											
4歳児	181人	5歳児	172人	合計	877人																																													

事業費名	保育所施設整備事業費	平成29年度 決算額	82,024,000円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	老朽化が進む附馬牛保育園を改築整備する社会福祉法人遠野市保育協会に対し、改築整備に要する費用を補助することにより、児童福祉施設の環境整備を図った。		評価	達成
成果	<p>○青笹町に次いで2例目となる、児童館との合築方式を採用した。</p> <p>○子どもたちが安全で健やかに生活することができる保育環境を整備するため、改築事業を行った社会福祉法人遠野市保育協会に対して補助金82,024,000円を交付し、児童福祉の向上を図った。</p>			

事業費名	幼稚園応援事業費	平成29年度 決算額	8,762,400円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、施設の運営経費に対し補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。		評価	達成
成果	<p>○私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等に対して補助金を交付し、幼稚園の円滑な運営を支援した。 ・補助対象幼稚園 1園 ・補助金交付額 510,000円</p> <p>○私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて就園費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。 ・補助対象園児数 50人 ・補助金交付額 7,805,600円</p> <p>○私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から私立幼稚園就園奨励費補助金の額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に通園させる保護者との経済的負担の均衡化を図った。 ・補助対象園児数 42人 ・補助金交付額 446,800円</p>			

(2) 学校教育の充実

①教育内容の充実

施策の展開に係る 全体総括	平成29年度に実施した事業については、ほとんどの事業で目標を達成することができた。特定教科集中対策事業では、中学校数学の向上を目指して支援員を配置し、課題解決に向けた一歩を踏み出すことができた。
課題	学力向上について、施策が浸透し、徐々に充実してきている。新規に立ち上げた特定教科支援事業を継続し、さらに充実させるとともに、さらなる課題や将来に向けて子どもたちに必要な資質・能力を育成するために新たな取組が必要である。

事業費名	体育・文化行事奨励費	平成29年度 決算額	4,579,100円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよさ、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して、言語能力を養い豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊した。</p> <p>○文化創造活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催した。</p> <p>○体育活動及び文化活動の振興を通して市内小中学校の児童生徒の健全な育成を図る事業を行う団体に対して補助金を交付した。</p> <p>○地方公共団体等が主催する各種大会（県、東北、全国）に児童生徒が出場するために要する経費の一部について助成を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○平成29年9月に開庁した市役所本庁舎1階市民ホールを会場に、市内小中学校の児童・生徒作品展を開催することで、多くの市民に作品を見ていただくことができた。</p> <p>○児童・生徒の作文・感想文など99編を収めた「児童・生徒文集45 遠野」を発刊した。</p> <p>○中学校総合体育大会の県大会や東北大会、全国大会に出場する生徒の派遣費用を補助することで、保護者や学校の経済的負担を軽減することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒作品展の開催 1回 ・児童生徒文集の印刷 250冊 ・事業補助団体 4団体 			

事業費名	外国語指導助手招へい事業費	平成29年度 決算額	5,145,120円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○グローバル化が進む中、国際社会に対応することができる英語教育が求められている。英語教育は、小学校では英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験しながら、コミュニケーション能力の素地を養うこと、中学校では身近な事柄を中心とした、コミュニケーションを図ることが目標となっている。</p> <p>○これらの目標達成に向け、教員の確保や、指導力の向上だけでは十分対応することができない部分に外部人材を活用し、英語教育の充実を図った。</p> <p>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団の国際化推進支援員に、外国語指導助手（ALT）として、市内小学校での活動に協力いただいた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○児童生徒がALTの生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。</p> <p>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団の協力により、一部の小学校において、例年より多くALTとコミュニケーションをとる授業を実施することができ、児童の「外国語・英語」へのバリアの低減につながった。</p> <p>・派遣回数 248回（小学校110回 中学校138回）</p>			

事業費名	特色ある学校づくり事業費	平成29年度 決算額	1,250,495円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、各小中学校それぞれで企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして農業体験、伝統芸能の継承などの地域理解学習に取り組んだ。</p>	評価	達成	
成果	<p>○すべての小・中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開し、多くの学校で郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。</p> <p>○地域住民が講師となって授業を実施することによって、遠野に伝わる伝統や文化に触れることにとどまらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となった。</p> <p>○インフルエンザの流行により、計画どおりに授業を実施することができない学校が一部あった。</p>			

事業費名	平成・南部藩寺子屋交流事業費	平成29年度 決算額	624,400円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じてコミュニケーション能力や、リーダーシップを高めるとともに、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野」の歴史や自然のよさについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を図った。</p> <p>○楽しいだけの交流で終わることなく、交流を通して学んだことを、今後の学校生活で発揮することができる内容とした。</p>	評価	達成	
成果	<p>○小学校11校の代表児童が一同に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学ぶことができた。</p> <p>○学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしてのあり方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自ら振り返り、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。</p> <p>○特に、両市の児童が一緒に交流する内容としたことで、児童同士が活発な交流を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入交流 平成29年7月26日～28日 八戸市児童42人が来遠 ・派遣交流 8月3日・4日 遠野市児童26人が八戸市を訪問 			

事業費名	特別支援教育推進事業費	平成29年度 決算額	20,908,346円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○小・中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置した。</p> <p>○要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置した。</p> <p>○市内小中学校に在籍する外国人児童生徒への個別の日本語指導を行うため、日本語指導講師を配置した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置数 小学校11校（15名）、中学校1校（1名） <p>○学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童6人がことばの教室を退級することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導実施数 6校、12人 <p>○外国人児童生徒が転入した小・中学校に日本語指導講師を配置し、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置数 小学校1校（1名）、中学校1校（1名） 			

事業費名	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	平成29年度 決算額	1,150,000円		
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課				
取組状況	心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいる『こころのプロジェクト「夢の教室」』を活用し、現役スポーツ選手やそのOB、OG等が「夢先生」としてフェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。	評価	達成		
成果	<p>○各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。</p> <p>○児童たちは、コミュニケーションゲームを通じて、ルールを守ることや協力しあうことの大切さに気付いたほか、夢先生の実体験に基づいた話に聞き入り、感動する姿が見られた。</p> <p>○実施状況 土淵小学校、達曽部小学校、上郷小学校、綾織小学校 小友小学校及び鱒沢小学校（合同開催）（5・6年生） 宮守小学校、青笹小学校（5年生） 附馬牛小学校（4・5・6年生）</p>				

事業費名	大府市児童交流事業費	平成29年度 決算額	1,699,900円		
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課				
取組状況	愛知県大府市の児童交流受け入れ10周年を記念して、「大府市児童交流10周年記念事業実行委員会」を組織し、市内小学校の児童23人を大府市に派遣して、大府市と遠野市の交流の経緯（防災協定等）について学ぶとともに、大府市の児童との交流を図った。	評価	達成		
成果	<p>○平成30年1月11日から13日までの2泊3日の日程で、児童23人、引率者5人が大府市を訪問し、大府市立神田小学校の児童と交流活動等を行った。</p> <p>○交流活動では、参加児童自らが考えたクイズ等で遠野市の食文化や観光地などを紹介するなど、活発な交流が行われた。</p> <p>○交流事業の実施後には、参加児童の感想文等を掲載した文集を作成し、事業の記録として参加者及び関係機関に配付した。</p>				

事業費名	学力向上対策事業費	平成29年度 決算額	18,121,971円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置した。</p> <p>○市内小中学生を対象に、標準学力検査（NRT）（小2～中3）及び知能検査（小2・4・6、中2）を実施し、その結果をもとに、各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校に還元した。</p> <p>○教育課程に関する実践研究を行い、その成果を学校公開の場で発表し、市内小中学校に還元した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小・中学校の連携により授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。</p> <p>○この取組は平成29年度で5年目を迎えたことから、その成果について検証を行い、今後の授業のあり方として「遠野市授業づくりスタンダード」を作成し、小・中学校の全教員で情報共有を図った。</p> <p>○先進地である秋田県横手市の小・中学校の授業の様子を視察したほか、八戸市で開催された「主体的かつ対話的な深い学び」についての講演会を聴講するなど、授業の質の向上につなげた。</p> <p>○遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p> <p>○小学校標準学力検査偏差値（まちづくり指標） 目標値 53.8 実績 52.8 達成率 98.1%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に実施した小学校学力調査の結果は、目標値には1ポイント届かなかったものの、概ね達成している状況であり、平成28年度と同様に、全国平均を上回る状況となっている。 ・各校においては、本結果をもとに5月に分析を行い、成果と課題を明らかにし、中学校区ごとの視点に基づく授業改善の取組により改善を図っている。 ・特に、平成29年度は、中学校区ごとの小・中学校が連携した取組の開始から5年目であることから、この5年間の取組を検証し、望ましい授業の姿を「遠野市授業づくりスタンダード」として整理した。これを全教員で共有するとともに、日常実践に繋げることで、授業改善の取組を継続させていく。 <p>○中学校標準学力検査偏差値（まちづくり指標） 目標値 48.5 実績 49.8 達成率 102.7%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に実施した中学校学力調査の結果は、目標値を1.3ポイント上回り、目標を達成することができた。全国平均までは、あと0.2ポイントの状況となっている。 ・各教科の結果をみると、5教科中、社会を除く4教科で前年度を上回り、国語と理科は全国平均を上回る結果となった。また、課題となっている「数学」及び「英語」において大きな伸びが見られることから、特定教科集中対策事業の取組を充実させることにより、さらなる成果につなげていきたい。 			

- ・平成29年度は、中学校区ごとの小・中学校が連携した取組の開始から5年目であることから、この5年間の取組を検証し、望ましい授業の姿を「遠野市授業づくりスタンダード」として整理した。これを全教員で共有するとともに、日常実践に繋げることで、授業改善の取組を継続させていく。

事業費名	特定教科集中対策事業費	平成29年度 決算額	4,270,384円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○市内中学校に特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科（数学）について、教科担当教諭と協力してチームティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上を図った。</p> <p>○中学3年生に対し、日本英語検定協会が実施する「実用英語検定」の受検料を全額補助し、目標を持って英語の学習に取り組む環境を構築したほか、英検対策講座の実施を通じて、英語の学習支援を行った。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○特定教科学習支援員を各中学校に1人（計3人）配置し、数学の授業においてチームティーチングを行うことで、生徒一人ひとりの理解度に応じた指導が実践された。</p> <p>○実用英語検定の受検費用を全額補助することで、多くの中学3年生が英検に取り組むことができた。また、休日の開催であるにもかかわらず、多くの生徒が対策講座に参加し、英語の学習に取り組んだ。</p> <p>・実用英語検定受検者 186人</p>			

②教育環境の充実

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>学校施設等を長期間にわたり安全に使用することができるよう、維持管理等の実施に努めるとともに、児童生徒が質の高い充実した教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。 また、義務教育の円滑な実施に資するため、スクールバスの運行など通学対策の実施、就学援助制度の実施及び特別支援教育への支援を図った。</p>
<p>課題</p>	<p>スクールバスの運行については、教育委員会、学校及び運行業務受託事業者の三者連携をさらに密にするとともに、児童生徒の安全の確保、運転手の健康の保持等のため、より迅速な連絡体制の構築及び特別運行のあり方についてさらに検討していく必要がある。 建築後相当の年数が経過している学校施設等については、緊急性を考慮しながら、児童生徒の安全確保のため、適宜改修、修繕等を実施していく必要がある。 就学援助制度については、保護者の経済的負担の軽減に資するよう、制度の一層の周知に努める。</p>

<p>事業費名</p>	<p>通学対策費（小学校）</p>	<p>平成29年度 決算額</p>	<p>18,949,398円</p>	
<p>平成30年度 事業所管課</p>	<p>教育委員会事務局学校教育課</p>			
<p>取組状況</p>	<p>○遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。</p> <p>○遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曾部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバス等を運行した。また、路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付するとともに、上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象にタクシーを運行した。</p> <p>○遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に、通学費を助成した。</p> <p>○教育課程における児童の移動のため、スクールバスの特別運行を行った。</p>	<p>評価</p>	<p>概ね達成</p>	
<p>成果</p>	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。 ・バス5台、ワゴン3台、タクシー1台の運行及び路線バス、タクシー運行委託</p> <p>○遠距離通学児童のうちスクールバス等の利用対象とならない児童に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・支給児童数 22人</p> <p>○学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。 ・特別運行許可件数 263件</p>			

事業費名	教材整備費（小学校）	平成29年度 決算額	13,458,752円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行った。</p> <p>○国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を整備した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○教育活動に必要となる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 69品目 ・図書購入冊数 1,214冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 375台 <p>○理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 遠野北小学校：顕微鏡、理科実験用IHコンロ 等 綾織小学校：顕微鏡、筆算練習用シート 等 小友小学校：デジタル気体採取器、デジタル電流計、デジタル電圧計 等 附馬牛小学校：顕微鏡、はかり説明マグネットシート 等 			

事業費名	就学援助費（小学校）	平成29年度 決算額	11,273,102円											
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課													
取組状況	<p>○経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>○平成29年度から新たに、経済的理由を有する次年度新入学予定児童の保護者に対して、申請に基づき新入学学用品費の入学前支給を行った。</p>	評価	概ね達成											
成果	<p>○就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることができた。また、うち被災児童6人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給児童数 143人 <p>○支給項目及び支給対象在学児童数の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学用品費 (140人) 1,542,650円</td> <td style="width: 50%;">通学用品費 (115人) 247,715円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費 (140人) 289,114円</td> <td>新入学用品費 (23人) 933,800円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費 (25人) 686,504円</td> <td>通学費 (1人) 8,000円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費 (96人) 312,960円</td> <td>学校病医療費 (40人) 375,060円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費(25人) 27,090円</td> <td>学校給食費 (139人) 5,713,409円</td> </tr> </table> <p>○経済的理由を有する新入学予定児童の保護者に対して、新入学学用品費(28人分、計1,136,800円)の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p>	学用品費 (140人) 1,542,650円	通学用品費 (115人) 247,715円	校外活動費 (140人) 289,114円	新入学用品費 (23人) 933,800円	修学旅行費 (25人) 686,504円	通学費 (1人) 8,000円	PTA会費 (96人) 312,960円	学校病医療費 (40人) 375,060円	学校病医療通院費(25人) 27,090円	学校給食費 (139人) 5,713,409円			
学用品費 (140人) 1,542,650円	通学用品費 (115人) 247,715円													
校外活動費 (140人) 289,114円	新入学用品費 (23人) 933,800円													
修学旅行費 (25人) 686,504円	通学費 (1人) 8,000円													
PTA会費 (96人) 312,960円	学校病医療費 (40人) 375,060円													
学校病医療通院費(25人) 27,090円	学校給食費 (139人) 5,713,409円													

事業費名	特別支援教育関係費（小学校）	平成29年度 決算額	1,156,496円													
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課															
取組状況	特別支援教育の円滑な実施を図るため、特別支援学級の活動に対する支援を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、児童の就学のための学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費及び学校給食費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図った。		評価	達成												
成果	<p>○特別支援学級を開設する小学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計 611,255円配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 10校、17学級 ・対象児童 33人 <p>○特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給項目及び支給内訳 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">学用品費（19人）</td> <td style="width: 20%;">100,470円</td> <td style="width: 30%;">校外活動費（6人）</td> <td style="width: 20%;">8,806円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費（1人）</td> <td>10,235円</td> <td>修学旅行費（3人）</td> <td>31,770円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（19人）</td> <td>393,960円</td> <td>計</td> <td>545,241円</td> </tr> </table>				学用品費（19人）	100,470円	校外活動費（6人）	8,806円	新入学用品費（1人）	10,235円	修学旅行費（3人）	31,770円	学校給食費（19人）	393,960円	計	545,241円
学用品費（19人）	100,470円	校外活動費（6人）	8,806円													
新入学用品費（1人）	10,235円	修学旅行費（3人）	31,770円													
学校給食費（19人）	393,960円	計	545,241円													

事業費名	小学校大規模改造整備事業費	平成29年度 決算額	14,040,000円	
平成30年度 事業所管課	総務企画部財政担当			
取組状況	土淵小学校校舎は、昭和53年3月の建築後、39年余りが経過し老朽化が進んでいることから、経年劣化に伴う内外部の改修のほか、電気及び機械設備の改修工事を実施する。		評価	未達成
成果	<p>○平成30年3月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費148,044,000円を平成30年度に繰り越した。</p> <p>○学校等の意見を可能な限り取り入れ、不具合を解消する実施設計とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託料 14,040,000円 			

事業費名	小学校大規模改造整備事業費（単独分）	平成29年度 決算額	0円	
平成30年度 事業所管課	総務企画部財政担当			
取組状況	<p>○土淵小学校校舎大規模改造工事のうち、補助対象外となる増改築工事及び業務委託を「単独分」として記載している。</p> <p>○給食荷受室は、手狭で食缶の搬出が不便であることから、増築を実施する。</p> <p>○体育館渡り廊下は、天井が低くシャッター部分から雪や雨が侵入し滑りやすく危険であることから、改築を実施する。</p>	評価	未達成	
成果	<p>土淵小学校校舎大規模改造は平成30年3月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費を平成30年度に繰り越した。このことから、単独分も同様に、事業費51,000,000円を平成30年度に繰り越した。</p>			

事業費名	小学校プール整備事業費（繰越明許費）	平成29年度 決算額	92,231,600円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備した。</p> <p>○平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、平成28年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であったことから、事業を平成29年度に繰り越して実施した。</p> <p>○工事の概要 工 期 平成29年5月8日から9月29日まで 工事内容 ・プール改築（25m×5コース＋低学年用浅底） ・附属建物（更衣室、トイレ、機械室及び用具庫） ・その他温水シャワー、足洗い槽、水飲み流し ・既存ろ過機を再使用</p>	評価	達成	
成果	<p>○プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。</p> <p>○施工場所は地盤が脆弱であったため、地盤改良を実施した。また、プール本体はステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕がしやすいピット型を採用した。</p> <p>○旧プール跡地は、地下水が湧く箇所を地盤改良し、駐車場とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成年月日 平成29年9月29日 ・建築工事 74,520,000円 ・機械設備工事 15,012,000円 ・駐場地盤改良工事 723,600円 ・工事監理業務委託 1,944,000円 ・建築確認申請、完了検査申請手数料 32,000円 			

事業費名	通学対策費（中学校）	平成29年度 決算額	48,546,846円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。</p> <p>○遠距離から遠野中、遠野東中、遠野西中に通学する生徒を対象に、スクールバス等を運行した。</p> <p>○遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費を助成した。</p> <p>○教育課程における生徒の移動のため、スクールバスの特別運行を行った。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行台数 18台（バス10台、ワゴン8台） <p>○遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給生徒数 1人 <p>○学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別運行許可件数 204件 			

事業費名	教材整備費（中学校）	平成29年度 決算額	8,348,094円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行った。</p> <p>○国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を整備した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 14品目 ・図書購入冊数 661冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 164台 <p>○理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 遠野中学校：電気回路実験器、電子てんびん 等 遠野東中学校：光学台、標準化石標本 等 遠野西中学校：顕微鏡、立体模型展開装置 等 			

事業費名	就学援助費（中学校）	平成29年度 決算額	15,851,778円																									
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課																											
取組状況	<p>○経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>○平成29年度から新たに、経済的理由を有する次年度新入学予定生徒の保護者に対して、申請に基づき新入学学用品費の入学前支給を行った。</p>		評価	概ね達成																								
成果	<p>○就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図ることができた。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <p>・支給対象在学生徒数 117人</p> <p>○支給項目及び支給対象在学生徒数の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費 (111人)</td> <td>2,375,220円</td> <td>通学用品費 (77人)</td> <td>164,462円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費 (111人)</td> <td>276,126円</td> <td>新入学用品費 (34人)</td> <td>1,611,600円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費 (32人)</td> <td>2,250,176円</td> <td>クラブ活動費 (109人)</td> <td>2,222,688円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費 (109人)</td> <td>233,000円</td> <td>PTA会費 (95人)</td> <td>246,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費 (16人)</td> <td>148,390円</td> <td>学校病医療通院費 (1人)</td> <td>1,110円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費 (110人)</td> <td>5,375,006円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○経済的理由を有する新入学予定生徒の保護者に対して、新入学学用品費（20人分、計948,000円）の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p>		学用品費 (111人)	2,375,220円	通学用品費 (77人)	164,462円	校外活動費 (111人)	276,126円	新入学用品費 (34人)	1,611,600円	修学旅行費 (32人)	2,250,176円	クラブ活動費 (109人)	2,222,688円	生徒会費 (109人)	233,000円	PTA会費 (95人)	246,000円	学校病医療費 (16人)	148,390円	学校病医療通院費 (1人)	1,110円	学校給食費 (110人)	5,375,006円				
学用品費 (111人)	2,375,220円	通学用品費 (77人)	164,462円																									
校外活動費 (111人)	276,126円	新入学用品費 (34人)	1,611,600円																									
修学旅行費 (32人)	2,250,176円	クラブ活動費 (109人)	2,222,688円																									
生徒会費 (109人)	233,000円	PTA会費 (95人)	246,000円																									
学校病医療費 (16人)	148,390円	学校病医療通院費 (1人)	1,110円																									
学校給食費 (110人)	5,375,006円																											

事業費名	特別支援教育関係費（中学校）	平成29年度 決算額	445,029円													
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課															
取組状況	<p>特別支援教育の円滑な実施を図るため、特別支援学級の活動に対する支援を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、生徒の就学のための学用品費、校外活動費、新入学用品費及び学校給食費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成												
成果	<p>○特別支援学級を開設する中学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計301,451円配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <p>・対象校 3校、5学級 ・対象生徒 10人</p> <p>○特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>・支給項目及び支給内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費 (4人)</td> <td>37,019円</td> <td>校外活動費 (1人)</td> <td>1,135円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費 (2人)</td> <td>17,662円</td> <td>学校給食費 (4人)</td> <td>87,762円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>143,578円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		学用品費 (4人)	37,019円	校外活動費 (1人)	1,135円	新入学用品費 (2人)	17,662円	学校給食費 (4人)	87,762円	計	143,578円				
学用品費 (4人)	37,019円	校外活動費 (1人)	1,135円													
新入学用品費 (2人)	17,662円	学校給食費 (4人)	87,762円													
計	143,578円															

事業費名	中学校屋内運動場整備事業費（繰越明許費）	平成29年度 決算額	73,155,960円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年に青笹中学校屋内運動場として建築され、28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図った。</p> <p>○平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、平成28年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業を平成29年度に繰り越して実施した。</p> <p>○工事の概要 工 期 平成29年7月26日から平成30年1月26日まで 工事内容 屋根の塗装、内外壁の補修、アリーナ床改修、トイレ改修、照明器具のLED化、設備機器の更新等</p>	評価	達成	
成果	<p>○屋内運動場大規模改造工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。 ・延べ床面積 914.00㎡</p> <p>○既存施設のさらなる利活用を図るため、内部仕上げを吸音化したほか、アリーナ床面の改修・競技ラインの再設置、照明器具のLED化を行った。また、トイレは全面改修を行った。</p>			

③学校給食の充実

施策の展開に係る全体総括	学校給食における7つの目標を達成するために、毎日の給食の中で食に関する情報を提供し、望ましい食習慣が身につくよう、訪問指導等を行った。 また、交流給食などでは、郷土料理のほか、各地域の食文化の理解にも繋がった。
課題	地産地消を推進するため、地場産の野菜を積極的に使っているが、天候に左右されやすい。 野菜の種類や数量について安定的な供給が求められる。

事業費名	学校給食事業費	平成29年度 決算額	205,429,019円	
平成30年度 事業所管課	学校給食センター			
取組状況	<p>○市内の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を育成することや、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施した。</p> <p>○学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理の徹底を図りながら、遠野産食材を積極的に使用し、地産地消を推進するとともに、安全安心なおいしい給食の提供に努めた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することができたほか、衛生管理の一環として市内納品業者への衛生指導を行うなど、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○給食だより等で旬の食材の知識や食に関する情報を発信し、望ましい食習慣の育成に努めた。</p> <p>○平成28年度から実施している「交流すまいる給食」では、生産者や給食関係者と共食しながら、郷土の食文化や農産物の理解を深めるとともに、他地域の食文化に触れる機会にもなった。</p> <p>○アレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーを持つ児童生徒に対し、主菜の代替食を提供した。</p> <p>○学校給食に使用する遠野産食材の割合（まちづくり指標） 目標値 65.8% 実績 66.0% 達成率 100.3% <ul style="list-style-type: none"> ・遠野産の食材を積極的に活用し、地産地消の推進及び消費拡大を図った。今年度は天候不良により野菜が不作となり、地場産野菜に影響があったが、地産地消率が66.0%と、目標は達成することができた。 ・「交流すまいる給食」は、生産者や関係者等と共食することで感謝の気持ちと食の大切さを培う機会となったほか、郷土食の継承及び他地域の食文化に触れる機会となった。 ・今後も、産直等と連携し、遠野産野菜の消費拡大に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施校数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 12校（うち1校は県立特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は県立特別支援学校） ・年間給食実施回数 168回（米飯 125回、パン 43回） </p>			

④学校と家庭、地域との連携の充実

施策の展開に係る全体総括	地域教育協議会や家庭教育ゼミナール等を通じて、教育振興運動を実践することができた。
課題	地域教育協議会や家庭教育ゼミナールにおいて、教育振興運動をより意識して取り組むことができるように、県全体の共通課題（情報メディアとの上手なつきあい方）や地域課題（早寝早起き朝ごはん等）について、さらなる周知が必要である。

事業費名	地域教育文化振興事業費	平成29年度 決算額	106,650円		
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	子どもたちの学習環境の充実と家庭教育の向上を目的に、保護者、児童生徒、地域関係者等を対象に、地域課題に応じた家庭教育についての講演会や研修会等を開催し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上に取り組んだ。	評価	概ね達成		
成果	<p>○全ての市立小・中学校（14校）で家庭教育ゼミナールを開催した。子ども・保護者・教職員・地域関係者の課題に応じて、情報モラルや生活習慣の改善等に関する講演を開催し、学校・家庭・地域が連携して、家庭・地域の教育力の向上と子どもの健やかな成長を促す環境づくりに向けた取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 14回 ・参加者数 1,192人 <p>○学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と遠野みらい創りカレッジから事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。外部講師による「自分の夢の見つけ方」についての講演と小学校で実施している取組事例の発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 約200人 <p>○家庭教育講座等の延べ参加者数（まちづくり指標）</p> <p>目標値 1,200人 実績 1,192人 達成率 99.3%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校を会場とした家庭教育講座等と、市内全域を対象とした「家庭教育講演会」を開催した。 ・児童、生徒、保護者、教職員、地域関係者等の多数の参加を得て、情報機器の使用モラルや食育講座、進路学習会、学力向上に関する講演会等を実施し、家庭教育力の向上と子どもたちの健やかな成長促進に取り組むことができた。 				

(3) 高等学校への支援

① 魅力ある高校づくり応援事業の推進

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>奨学資金の償還は、奨学生自身が立てた償還計画（15年以内に償還）に基づき行われるが、滞納者からの未償還額の回収に時間を要している状況にある。</p> <p>現在奨学生に貸与している奨学金は、過去に貸与を受けてきた奨学生からの償還金によって成り立っていることを十分に説明するとともに、定期的な連絡や戸別訪問による催告により納付を促しているほか、償還計画の見直し等にも随時対応している。</p> <p>また、岩手県教育委員会の「新たな県立高校再編計画」において統合予定校とされた遠野高等学校及び遠野緑峰高等学校の2校を存続させ、中学生の多様な進路希望を実現させるため、両校への各種支援策を実施するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等に広く周知することにより、平成30年度の両校の入学者の増加につなげることができた。</p>
<p>課題</p>	<p>奨学資金償還金の滞納額は微減している状況であるが、長期滞納者については、定期的に本人及び保証人への連絡、催告等を行い、未償還額の回収に一層努める。</p> <p>また市内外の中学生や保護者への両校の魅力をさらに充実させるため、「高校魅力化アクションプラン」掲載事業を確実に実行する必要がある。</p>

事業費名	育英事業費	平成29年度 決算額	35,196,775円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対し学資の貸与を行った。</p> <p>○平成20年度から、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>○貸与額 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○新規奨学生の募集を行い、新たに23人の奨学生を決定し、継続奨学生55人と合わせて78人に奨学金を貸与した。</p> <p>○平成30年3月末で、継続奨学生のうち26人が貸与期間を満了した。また、年度当初に大学生等1人から自己都合による貸与辞退の申出があった。</p> <p>○貸付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規奨学生 <ul style="list-style-type: none"> 採用数 23人（大学生等20人、高校生3人） 貸付額 9,820,000円 ・継続奨学生数 <ul style="list-style-type: none"> 人数 55人（大学生等52人、高校生3人） 貸付額 25,320,000円 			

事業費名	高校魅力化サポート事業費	平成29年度 決算額	7,075,078円	
平成30年度 事業所管課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>「新たな県立高校再編計画」（平成28年3月岩手県教育委員会策定）の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高校と遠野緑峰高校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的とした「高校魅力化アクションプラン」（平成29年3月策定）に基づき、両校の特徴的な取組に対する各種支援策を継続するとともに、両校の魅力を生市内外の中学生、保護者、市民等にさらに広く周知することにより、両校の平成30年度入学者数の増加につなげることができた。</p>		評価	達成
成果	<p>○以下の取組を実施し、平成30年度の両校の入学者の増加につなげることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野高校 普通科 140人（対前年度 +1人） ・遠野緑峰高校 生産技術科 35人（対前年度 +4人） 情報処理科 22人（対前年度 +6人） <p>○高校魅力化推進事業費補助金・・・両校の教育振興会の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野高校教育振興会 882,000円 地域学習「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援 学校紹介パンフレット作成、ホームページのスマートフォン対応 ・遠野緑峰高校教育振興会 1,837,000円 スマートフォンを活用した授業カリキュラムへの支援 各種資格取得支援に係る検定料の補助 農業クラブ活動（全国大会出場など）への支援 学校紹介パンフレット作成、ホームページのスマートフォン対応 <p>○一日体験入学への支援（中学生送迎バス特別運行） ○緑峰高校馬事研究会の活動支援（遠野市畜産振興公社への業務委託） ○魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 ○文化祭の周知支援（新聞折込チラシ、ケーブルテレビで紹介） ○両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の運営管理業務委託 ○小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施</p>			

2 生涯学習の推進

(1) 社会教育の充実

- ①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実
④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成

施策の展開に係る全体総括	生涯学習講座の実施や社会教育関係団体の活動を支援することにより、社会教育の推進を図った。
課題	生涯学習講座の受講者数や社会教育関係団体の会員の確保が近年の課題となっているが、受講者のニーズや地域課題の解決に向けたプログラムを企画・実施することにより、受講者数の増や会員の確保につなげたい。

事業費名	みらい創りカレッジ推進事業費	平成29年度決算額	8,046,000円	
平成30年度事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○旧土淵中学校を活用した「遠野みらい創りカレッジ」において、交流・産業創造・人材育成を図るための各種プログラムを企画運営した。</p> <p>○遠野みらい創りカレッジ運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野みらい創りカレッジを活用したプログラム ・産学官民連携による地域資源活用・人材育成・交流創出・情報発信プログラム ・市内学校の魅力化に資する総合学習等支援プログラム ・テレワークセンターの利用促進プログラム <p>○遠野みらい創りカレッジ看板設置工事 遠野みらい創りカレッジの周知を図るため、国道340号線沿いの入口に看板を設置した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○地域・企業・大学等と連携し、年間を通じて各種プログラムを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施数 18事業 ・利用者数 7,355人 <p>○地域文化の発信及び賑わいの創出を図るための事業として、「五日市マルシェ」を新たに開催し、利用者の大幅な増加に繋がった。</p> <p>○看板設置工事が平成30年1月31日に完了し、遠野みらい創りカレッジの周知を図ることができた。</p>			

事業費名	学びのまちづくり推進費	平成29年度 決算額	56,121,395円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○市民に学びの機会を提供する等、生涯学習の充実を図った。</p> <p>○生涯学習講座の一部や芸術振興に係る事業を一般財団法人遠野市教育文化振興財団に業務委託し、民間活力を活かした事業推進を図った。</p> <p>○地区センターを地域の社会教育の拠点として各種講座を開催した。</p> <p>○国際交流の推進を図った。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○生涯学習講座 少年少女対象のもの 15回、1,559人 成人対象のもの 3回、70人 対象を特定しないもの 30回、927人</p> <p>○芸術振興事業（一部再掲） 「コロケとスペシャルステージ」の開催 開催 1回、鑑賞者 約700人 青少年劇場の開催 開催 2回、鑑賞者 711人 遠野市民センターバレエスタジオ 第40回発表会の開催 開催 1回、鑑賞者 650人 各種イベントへの出演 出演 1回 遠野少年少女合唱隊 第28回発表会の開催 開催 1回、鑑賞者 133人 各種イベントへの出演 出演 1回</p> <p>○各地区センターにおいては、ちぎり絵や手芸講座など地域のニーズに応えた各種講座を開催し、生涯学習の推進を図った。</p> <p>○全講座における継続的講座数（まちづくり指標） 目標値 5講座 実績 10講座 達成率 200.0%（達成） ・10の講座を継続的に実施することができた。 ・今後も、生涯学習の推進のため継続的な講座を開設し、また受講してもらえるよう関係機関団体と連携して取り組んでいく。</p> <p>○市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数（まちづくり指標） 目標値 4,800人 実績 4,284人（うち各地区センター分 1,728人、外部委託分 2,556人） 達成率 89.3%（未達成） ・市民センターでは民間活力による生涯学習講座を、各地区公民館ではそれぞれ特色ある生涯学習講座を開催し、生涯学習の推進を図ったが、受講者数はほぼ横ばいとなり、目標を達成することができなかった。 ・講座開催の際には、関係団体と連携しながら開催内容の工夫をしてきたが、今後は他市の例を参考にする等、さらなる工夫をしていく。</p> <p>○本市にとって2つ目の姉妹都市として、アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市と締結する等、国際交流の推進を図った。</p>			

○中学生の海外派遣数（まちづくり指標）
 目標値 9人 実績 9人 達成率 100.0%（達成）
 ・新たに姉妹都市締結したアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市に、中学生9人を派遣した。
 ・現地でホームステイをし、学校生活を経験するなど、国際的な感覚を養い、他文化や他者への理解を深める等、人材育成を図ることができた。
 ・今後も、受入先、各中学校や関係機関・団体と連携を図りながら事業を継続実施し計画的に派遣者数を維持していく。

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	平成29年度 決算額	1,151,113円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○青少年育成団体等に対する活動を支援した。 ・成人式実行委員会、遠野わらすっこまつり実行委員会、遠野市青年団体協議会</p> <p>○遠野市地域婦人団体協議会、青少年育成団体等及び女性団体の活動を支援した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○青少年育成団体の活動支援</p> <p>①成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで、新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。（成人式への新成人参加者数 230人）</p> <p>②遠野わらすっこまつり実行委員会 遠野市保育協会をはじめとする関係団体と実行委員会を立ち上げたが、まつり当日は雨天のため中止となった。</p> <p>③遠野市青年団体協議会 遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、スポーツ事業や出会い創出事業への取組を支援した。</p> <p>○青年団体加入者数（累計）（まちづくり指標） 目標値 80人 実績 105人 達成率 131.3%（達成） ・各青年団体において、それぞれの会員確保に積極的に取り組んだことから、加入者数（累計）の増加につながり、目標を達成することができた。 ・今後も、各青年団体が一定の加入者数を確保し、自主的な活動が展開できるように支援等をしていく。</p> <p>○女性団体の活動支援 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体である遠野市地域婦人団体協議会に対し補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 また、岩手県地域婦人大会遠野大会が本市を会場に行われ、女性同士の交流、研修を目的とした県大会を成功させるための支援を行った。</p> <p>○各委員、協議会の女性参画率（まちづくり指標） 目標値 28.2% 実績 29.0% 達成率 102.8%（達成） ・条例等で設置している4つの審議会等において女性委員の登用人数が増えたことにより、目標値を達成することができた。 ・後期5箇年中も女性参画率が伸びるよう、女性委員の登用を呼び掛けるとともに、女性の活躍に対する理解が進むよう、男女共同参画の啓発に努めていく。</p>			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	平成29年度 決算額	2,952,487円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	高齢者の健康保持増進と生きがいを高めるため、各種大会等の実施を支援した。	評価	概ね達成	
成果	<p>○高齢者が生きがいを持ち、健やかに生活することができるよう、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を行った。</p> <p>○岩手県老人クラブ大会が本市で開催され、県内各地から多くの会員が集結した。高齢者相互の連携を深める大会を成功させるための支援を行った。</p> <p>○各種スポーツ大会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き高齢者体力測定 55人参加 ・ゲートボール・ベタンク大会 328人参加 ・女性部グラウンドゴルフ大会 約130人参加 ・さわやかスポーツ大会 約460人参加 ・壮年部グラウンドゴルフ大会 196人参加 ・いきいきシニアスポーツ大会 89人参加 ・健康ウォーキング 77人参加 ・シルバー室内競技大会 約400人参加 <p>○その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県老人クラブ大会（遠野市会場） 約150人参加 ・シルバー文化祭（舞台部門） 約350人参加 ・リーダー研修会 約200人参加 ・女性部事業 29人参加 ・シルバー室内競技大会（囲碁・将棋部門） 15人参加 ・環境整備ボランティア 113人参加 <p>○老人クラブ加入者数（累計）（まちづくり指標） 目標値 2,570人 実績 2,438人 達成率 94.9%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全老連、県老連が推進する会員増強運動と連動し、市老人クラブ連合会においても各種スポーツ大会や文化活動等を通じて会員拡大に取り組んだことにより、目標を概ね達成することができた。 ・今後も、老人クラブの活発な活動を継続していくための支援を行い、市老人クラブ連合会とともに加入者数の増加に努める。 			

事業費名	青少年健全育成活動事業費	平成29年度 決算額	2,693,696円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○青少年の健全育成を効果的に進めるため、遠野市少年センターに専任少年委員及び少年委員を置き、巡回活動や健全育成の啓発活動に取り組んだ。</p> <p>○遠野市少年委員協議会に補助金を交付し、少年委員相互の連携づくりや研鑽に努め、青少年の非行防止、健全育成の推進を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>スマートフォンを中心とした情報メディアの危険性の周知や、プリペイドカード等による詐欺事件の防止に向けた啓発活動、無施錠自転車の点検や鍵かけの啓発等を行い、青少年の健全育成と非行防止に向けた活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回補導活動 232回 ・ 参加のべ人数 549人 			

事業費名	放課後子どもプラン推進事業費	平成29年度 決算額	2,564,446円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○ 放課後の安心安全な居場所づくりと、子どもたちの家庭学習の習慣化を目的に、11小学校区で地域の方々の参画を得て自主学習の場を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。</p> <p>○ 学習アドバイザー、安全管理員を配置し、放課後の宿題・自主学習の支援を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>全ての小学校区（11教室）で開催した。子どもたちは、学習アドバイザーと安全管理員に見守られながら、学校の宿題や自主学習等に取り組み、黙々と取り組む様子やスタッフと楽しくコミュニケーションを取りながら本事業に参加する様子が見られ、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所として事業を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加のべ人数 12,406人 ・ 開設のべ日数 470日 ・ 参加した児童の満足度 97.4% 			

(2) 芸術文化活動の推進

①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る 全体総括	<p>芸術文化協会及び市民の舞台制作団体へ事業費補助をし、芸術活動を支援した。芸術鑑賞活動を開催し、市民が芸術文化に触れる機会をつくることのできた。</p>
課題	<p>より多くの市民が、芸術文化に触れることができるように、次のとおり取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の芸術文化団体を広く周知し、団体の支援を図る。 ・ 市民のニーズにあった事業を実施していく。

事業費名	芸術文化振興事業費	平成29年度 決算額	2,100,000円		
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	市民協働による活動発表の場（市民芸術祭の開催、市民の舞台公演）をつくり、芸術文化の振興を図った。 市民センター自主事業や青少年劇場を開催し、市民が芸術文化に触れる機会を提供することができた。	評価	概ね達成		
成果	<p>○市民センター自主事業の開催 「コロケとスペシャルステージ」鑑賞者 685人</p> <p>○芸術文化団体への支援 ・事業費を補助した団体 遠野市芸術文化協会、遠野物語ファンタジー制作委員会</p> <p>○市民協働による活動発表の場 ・第12回遠野市民芸術祭 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者 517人、鑑賞者 3,797人</p> <p>・第43回市民の舞台遠野物語ファンタジー「又吉のまた夢」 2日間3回公演 参加者 約300人、鑑賞者 約1,300人</p> <p>○自主事業の顧客満足度（まちづくり指標） 目標値 85.0% 実績 85.0% 達成率 100.0% ・自主事業として「コロケとスペシャルステージ」を開催し、鑑賞者を対象としたアンケートを実施した。その多くが、「自主事業に満足している」という回答であったことから、目標を達成することができた。 ・今後も、市民が文化芸術に触れる機会を確保しながら、鑑賞者に十分満足してもらえるような自主事業を展開できるよう、関係機関・団体と連携していく。</p> <p>○市民協働の芸術文化事業の参加者数（まちづくり指標） 目標値 1,900人 実績 1,341人 達成率 70.6%（未達成） ・市民芸術祭や遠野物語ファンタジー等をはじめとする芸術文化事業の参加者数は目標値に及ばなかったが、市民協働の取組により、市民が芸術文化に親しみ、それぞれの成果を発表する機会を提供することができた。 ・今後も、関係機関・団体と連携・協力しながら、できるだけ多くの市民が芸術文化に触れたり、興味を持ったりし、参加できるような支援をしていく。 ・参加者数増加に向けた事業展開を関係機関・団体ともに考え、対応していく。</p> <p>○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数（まちづくり指標） 目標値 8,770人 実績 8,350人 達成率 95.2%（概ね達成） ・市民センター等を会場とした芸術文化事業を、8,350人の方々に鑑賞していただき概ね目標を達成することができた。 ・これからも、多くの市民に興味関心を持ってもらえるような芸術文化事業を展開できるよう、芸術文化団体等の活動を支援していく。</p>				

3 ふるさとの文化の継承・創造

(1) 郷土文化の保存と活用

①博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や講座等を開催し、市内外へ情報発信を行い、台湾からの集客を図るなど交流人口の拡大に努めた。</p> <p>特別展開催期間中の入込は増加したが、近年の団体観光客減少の影響もあり、通年では前年度比1%の減少となった。</p> <p>伊能嘉矩生誕150年に合わせた講演会、講座、ギャラリートークの開催、児童生徒を対象とした博物館教室等を実施し、文化に親しむ機会を提供した。</p>
課題	博物館の入館者数が減少していることから、魅力的な特別展の開催やピーアールの強化などの対策を図る必要がある。

事業費名	博物館費	平成29年度 決算額	14,887,045円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○伊能嘉矩生誕150年に合わせ、特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や記念講座を開催し、市内外に情報発信し、交流人口の拡大を図った。 ○特別公開「遠野領内図」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催した。 ○児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。 ○市民対象の博物館講座を開催し、文化に親しむ機会を提供した。 ○博物館資料の充実を図りながら資料の収集・整理・保存に努めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○伊能嘉矩生誕150年記念特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や、特別公開「遠野領内図」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催、商工会と連携し、中心市街地への集客に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「伊能嘉矩と台湾研究」 観覧者数 8,041人 (会期 平成29年7月21日～11月23日) ・特別公開「遠野領内図」 観覧者数 513人 (会期 平成30年1月12日～21日) ・特別展「遠野のひな人形」 観覧者数 1,473人 (会期 平成30年2月9日～3月11日) ○博物館入館者数(まちづくり指標) <ul style="list-style-type: none"> 目標値 20,200人 実績 16,230人 達成率 80.3% (未達成) ・伊能嘉矩生誕150年記念特別展「伊能嘉矩と台湾研究」を開催し、解説パネルは日本語・台湾語併記で制作し、台湾の大使館にあたる台北駐日経済文化代表処のホームページに情報を掲載してもらうなど、台湾関係者の集客に努めた。 			

- ・すべての事業を計画どおりに実施したが、団体観光客減少の影響もあり、未達成となった。
- ・近年続いている中心市街地への入込み減の中、博物館の入館者数は昨年並みとなり一定の歯止めがかかったといえる。今後も、魅力的な特別展を実施し、PRを強化して目標の達成に努める。

○博物館講座等の受講者数（まちづくり指標）

目標値 950人 実績 1,292人 達成率 136.0%（達成）

- ・伊能嘉矩生誕150年に合わせた講演会、講座、ギャラリートークの開催、児童生徒を対象とした博物館教室等を計画通りに実施し、目標を達成した。
- ・今後も、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、学校等と連携した事業の開催に努める。

②図書館活動の推進

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>図書館の利用促進と読書の普及活動を図ることから、館内で季節ごとの企画展、映画会、講演会、研修会、ボランティア等による読み聞かせ活動を行いながら、利用者の拡大と読書の普及活動に努めた。 また、学校、児童館、福祉施設等と連携し、貸出しの配架図書の充実に努めた。 貴重な図書館資料、郷土資料の情報収集や、整理、保存の適切な管理に努めた。</p>
<p>課題</p>	<p>図書館内における、利用しやすく親しみやすい環境づくりに努めていく。</p>

事業費名	図書館費	平成29年度 決算額	22,962,997円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進した。</p> <p>○図書館総合情報システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図った。</p> <p>○図書館利用促進につなげるため、広報誌、ホームページ等の情報発信に努めた。</p> <p>○学校図書館、読書ボランティアとの情報共有を図るとともに、学校図書館、児童館、福祉施設等と連携し、貸出しに努め、配架図書の充実に図った。</p> <p>○移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努めた。</p> <p>○貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努めた。</p> <p>○まちなか図書館を活用して市民が読書に親しめる環境づくりに努めた。</p>	評価	達成	

<p>成果</p>	<p>○図書の貸出しや図書館教室、企画展の開催などを通じて、子どもたちが本に親しむ読書環境を提供した。</p> <p>○児童を対象にした図書館教室、総合学習のための貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用促進と読書普及を図ることができた。</p> <p>○中学生、高校生の職場体験学習を受け入れ、図書館についての理解を深めた。</p> <p>○移動図書館車を巡回運行し、利用者の利便を図った。</p> <p>○本の読み聞かせなどのグループに、館内外活動への支援として本の貸出しを実施した。</p> <p>○岩手の読書週間に、岩手県中部教育事務所と連携し「子どもの心に届く本の読み方」について、講師による実演指導をいただき、読書活動の推進を図った。</p> <p>○第158回芥川賞受賞「おらおらでひとりいぐも」の若竹千佐子さん（遠野市上郷町出身）を招いてトークイベントを開催し、功績を顕彰するとともに、市民への読書の推進と啓発を図った。</p> <p>○平成28年度に引き続き、水損被害を受けた図書資料を用いて資料救出活動を行う人材育成のため、「水損資料レスキューin岩手県立博物館」を実施した。</p> <p>○図書館の利用者数（まちづくり指標） 目標値 16,000人 実績 17,568人 達成率 109.8%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本に親しむ場所の提供に配慮して、図書館内での季節ごとの図書の本の企画展、映画会、図書館講座、ボランティア等による読み聞かせの活動を行いながら、利用者拡大を図った。 ・今後も、館内での企画展等やレファレンスサービスの充実に努め、利用しやすい、親しみやすい環境づくりに努めていく。 <p>○市民への図書貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 67,200冊 実績 67,945冊 達成率 101.1%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を反映させ、図書の選書の充実、使用しやすい配架、展示案内に配慮しながら広報等を活用して読書情報を提供し、読書推進に努めた。 ・今後も、利用しやすい環境づくりに努める。 <p>○移動図書館車の貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 11,300冊 実績 11,355冊 達成率 100.5%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車を利用されている方の声を伺いながら、巡回場所、日程、回数のあり方に配慮し、利用者の図書のリクエストに応じながら貸出しの拡大を図った。 ・今後も、巡回場所、回数利用状況を把握しながら、貸出しの拡大及び読書の普及に努める。 <p>○学校図書館・児童館への貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 21,100冊 実績 21,130冊 達成率 100.1%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の図書室との連携を図りながら、図書の選書、読書ボランティアによる読み聞かせ活動の協力など、読書活動の図書の充実を図った。 ・小・中学校及び児童館への図書貸出しを行うなど、読書推進を図ることができた。 ・今後も、連携しながら図書の充実、読書の推進に努める。 ・昨年度と比較して、配架冊数を200冊増やした。 （小学校 13,250冊 中学校 2,880冊 児童館 5,000冊）
-----------	--

事業費名	視聴覚教育振興費	平成29年度 決算額	478,580円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	遠野市立図書館内の視聴覚ホール、児童館等の施設を利用した映画会等の開催及び学習教材としての映像での情報を広く伝えた。		評価	達成
成果	<p>○遠野市立図書館内 子ども映画会 12回 参加者数 64人 特別子ども映画会 4回 参加者数 25人</p> <p>○市内児童館（11館） 特別映画会 11回 参加者数 422人</p>			

事業費名	ブックスタート事業費	平成29年度 決算額	299,497円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が、本を通したふれあいの中からお互いに幸せを感じ、成長するための機会をつくった。</p> <p>○子どもが生まれたときから本に触れることで、本に興味をもってもらうための取組を行った。</p>		評価	達成
成果	<p>○遠野健康福祉の里において、1歳児健康相談時に本等の配布を実施した。 参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じて配布した。 ・対象者 132組（配布率 100%） 1歳児健康相談時に配布 107組 民生児童委員による配布 25組</p> <p>○1歳児健康相談時に、ボランティアグループによる絵本等の読み聞かせや本の紹介を行い図書館の利用の促進を図ることができた。本を手にとって身近に活用できることから、好評を得ている。 ・読み聞かせ回数 12回 ・対象者 132組</p>			

(2) 文化財の保護と継承

- ①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進
- ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る 全体総括	文化財の調査及び指定、遠野遺産の認定、説明板の更新、郷土芸能の備品整備補助及び活動支援、文化財修理支援を行った。また、記録保存を目的として実施した遺跡の調査報告書を作成するとともに、資料のデータベース化を推進した。 国指定重要文化財千葉家住宅の保存修理工事関連事業を計画通り実施し、工事記録映像を作成すると共に、古文書、家財道具の資料整理を推進した。また、保存活用委員会の開催と「重文千葉家の活用を考える会」の活動支援を行いつつ、地域の意見を踏まえた整備活用基本計画を策定したことにより、目標は概ね達成された。
課題	未指定文化財を含む保護と活用のあり方について、諸課題を踏まえた長期的視点での施策の方向性を示す、歴史文化基本構想を策定する必要がある。

事業費名	文化財調査保護費	平成29年度 決算額	1,673,208円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	○法に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓発活動を推進し、市民の文化向上を図った。 ○郷土芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場を提供するなど、必要な支援を継続した。	評価	達成	
成果	○新たに発見された上琴畑湿原の調査を2回実施し、現状を把握した。 ○文化財保護審議会を開催し、「綾織しし踊り」「鷹鳥屋獅子踊り」「山谷獅子踊り」「土淵しし踊り」「細越獅子踊り」佐比内しし踊り」の6件を新たに市無形民俗文化財に指定した。 ○指定文化財保護のため「鞍迫観音絵馬堂」と「登坂氏庭園」の修理に対して補助を行うとともに、「山谷観音堂」の文化財説明板1基を更新し、周知に努めた。 ○指定文化財説明板設置件数（累計）（まちづくり指標） 目標値 91基 実績 94基 達成率 103.3%（達成） ・市指定文化財説明板新設1基（山谷観音堂）により目標を達成した。 ・新たに写真を加え、分かりやすく劣化しにくい説明板を設置し、市民の文化財に対する理解と保護啓発に努めた。 ○郷土芸能の保存育成を目的として、「綾織しし踊り」「穀町南部ばやし」「山谷獅子踊り」「塚沢早池峰神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。また、郷土芸能共演会及び神楽共演会の活動に対する支援を行った。 ○民俗芸能の映像記録件数（累計）（まちづくり指標） 目標値 25件 実績 25件 達成率 100.0%（達成） ・郷土芸能の保存継承のため、第25回遠野郷神楽共演会の映像記録を計画どおり製作し、目標を達成した。			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	平成29年度 決算額	9,988,698円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○各種開発事業の円滑な実施と埋蔵文化財の保護・活用の調整を図るため、適宜埋蔵文化財の分布・試掘・発掘の各種調査を実施した。</p> <p>○個人住宅の建築に伴い平成28年度に実施した「和山遺跡」の室内整理及び調査報告書の作成を行った。</p> <p>○調査記録や出土遺物の適正な管理を行いながら、公開活用に資するため、資料台帳の作成を推進した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した11件について、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡照会回答数 137件 ・試掘調査 11件 <p>○平成28年度に実施した「和山遺跡」の発掘調査報告書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査報告書作成 300部 <p>○重要文化財千葉家のハセ小屋・鳥小屋・外便所の発掘調査を行い、千葉家の保存修理のための基礎情報を収集した。</p> <p>○公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、企画展「伊能嘉矩と考古学展」「新田Ⅱ遺跡展(2011年報告編)」を開催し、調査成果を公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース入力作業 1遺跡分 1,480件 <p>○「縄土器作り教室」(参加者数54人)、「勾玉作り教室」(参加者数34人)の各文化財教室を開催するとともに、市民の依頼を受け、自治会等主催の「勾玉作り教室」(参加者数81人)に協力し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財教室 7回開催 参加者 延べ169人 			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	平成29年度 決算額	121,243,686円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保護していくため、建物の傷みに応じた修理方法で保存修理工事を実施した。</p> <p>○最適な防災施設の整備のための防災施設整備計画の策定及びよりよい活用に向けての整備活用基本計画の策定を市民とともに進めた。</p> <p>○千葉家旧蔵古文書及び家財資料の整理作業を行う専門職員を配置した。</p> <p>○重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し、専門家の意見聴取を行い、円滑な事業の進行を図った。</p> <p>○長期にわたる整備事業の映像記録を引き続き行った。</p>	評価	達成	

成果	<p>○保存修理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工小屋の全解体、主屋のウマヤ部分の解体を行い素屋根を設置し、オモヤの茅葺屋根の解体、内部造作の一部解体を行った。 ・重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを1回開催し、整備について検討した。 <p>○防災設備整備計画及び整備活用基本計画の策定作業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの防災設備調査結果を踏まえ、専門委員や関係部署と協議し、防災設備整備計画案をまとめた。 ・市民組織である重文千葉家の活用を考える会や高校生とともに、周辺地域の建物や植生等の各種調査を実施し、それらの結果をもとに、整備活用基本計画案を作成した。 <p>○千葉家旧蔵資料整理及び整備事業映像記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料整理は非常勤の専任職員を配置して取り組んだ。 ・千葉家から引き継いだ家財資料をクリーニングし、計測や写真撮影、繕いを行いながら台帳作成を進め、約2,100点中1,600点について完了した。 ・古文書等の資料は、建築に関する記録を中心に解読しながら台帳作成を進め、約4,200点中500点（平成29年度は350点）について完了した。 ・整備事業全体に係る映像記録業務を委託して実施した。
----	---

事業費名	文化的景観保存事業費	平成29年度 決算額	254,266円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定地域である荒川高原牧場及び土淵山口集落の保護を図った。</p> <p>○土淵山口集落については、整備計画策定の準備を進めた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○山口の水車小屋活用の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りにあわせて、水車小屋改修工事完成披露会を開催するとともに、山口集落散策ガイド改訂版に水車小屋改修の経過を掲載し、改修した水車小屋の周知を図った。 ・（一財）遠野市教育文化振興財団と連携し、地元住民が講師となって、遠野少年少女ふるさと発見探偵団に参加した小学生が、水車小屋で粉挽きを体験した。 <p>○その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国文化的景観地区連絡協議会金沢大会に参加し、土淵町山口地区の自治会長が事例発表を行い、全国の景観地区との情報交換を行った。 ・委員会を開催し、山口集落整備計画策定に向けて方針を確認した。 			

事業費名	歴史文化基本構想策定事業費	平成29年度 決算額	2,245,854円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○指定・未指定を含めた文化財の悉皆的調査を実施・整理し、遠野市の文化的特性を明確にするとともに、長期的視点に立脚した一貫性のもとに文化財行政を推進するため、総体的価値を前提とした文化財の保護活用の方針を構想としてまとめる取組を進めた。</p> <p>○関連部署と構想を情報共有することにより文化を活かしたまちづくりを推進した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○既存文化財調査資料の整理、電子データ化を行うとともに、市内の歴史的建造物の調査を8回実施し、新たに120棟の建物をリストアップした。</p> <p>○遠野市歴史文化基本構想検討委員会を立ち上げて会議を開催し、役割と今後の日程について情報共有を図った。また、有識者によるワーキング会議を開催し、構想の内容と関連文化財群設定の考え方について協議・検討を行った。</p>			

事業費名	遠野遺産認定事業費	平成29年度 決算額	1,352,499円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進した。</p> <p>○市民センター市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行った。</p> <p>○新たに認定された遠野遺産の表示板を設置して啓発に努めるとともに、ガイドブックを発行して市内外に情報発信を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○新規の遠野遺産1件（山谷獅子踊り）を認定し、累計数は150件となった。</p> <p>○遠野遺産推薦件数（まちづくり指標） 目標値 145件 実績 150件 達成率 103.4%（達成） ・推薦された新たな1件（山谷獅子踊り）を遠野遺産として認定し、目標を達成した。 ・今後も、表示板の設置や公式ガイドブックの配布等により周知しながら、地区センターと連携した取組により、新たな遺産の掘り起こしに努め、文化的資産の保護を通じて郷土愛の醸成と地域づくりを推進していく。</p> <p>○遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会への対応を通じて周知・情報発信に努め、保護活動が促進された。 ・遠野遺産表示板設置 5基 ・ガイドブック作成 3,000部</p> <p>○「みんなで築くふるさと遠野推進事業」を活用した環境整備事業等11件（田屋の大杉、能傳房神社、菅原神社、小友町裸参り、安戸の正一位稲荷神社、伊勢両宮神社と松尾神社、伊豆神社、大峰鉱山とその周辺、一日市のお雛見遠野南部ばやし）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p>			

	<p>○遠野遺産保護活用活動実施割合（実施団体数／認定件数）（まちづくり指標） 目標値 60% 実績 100% 達成率 166.7%（達成） ・遠野遺産150件の推薦団体及び地区センターなどからの保護活動に関する情報の有無により、全ての遠野遺産で保護活動が行われ、認定後も地域の宝として保護されていると確認された。</p>
--	---

(3) 郷土の文化を生かした地域創生

- ①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承
 ③市史編さん事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野の歴史文化について研究し、博物館と連携して伊能嘉矩生誕150年や地域文化に密着したテーマの学習活動を積み重ね、目標を達成することができた。 遠野の文化を継承・発展する「遠野こだわりの語り部」を、小学校等と連携を図りながら発掘し、育成した。 また、市史編さん委員会を開催して審議等を行うとともに、現代編部会を設置し、現代編刊行に向け具体的な協議を行った。市民の調査研究員と協働して資料収集や古文書解読作業、教育普及事業などの市史編さん事業に努めた。</p>
課題	<p>今後も、遠野の文化を広く発信し、郷土の文化を担う人材の育成を図る。市民と協働しながら、平成31年現代編の刊行に向けて具体的な作業をすすめ、市史編さん事業を着実に推進していく。</p>

事業費名	遠野文化研究調査費	平成29年度 決算額	13,834,466円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努めた。</p> <p>○出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため、以下の事業等を実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>○遠野文化フォーラムの開催（平成29年8月20日・21日） 参加者 340人 遠野文化賞・佐々木喜善賞の表彰 遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付 遠野遺産活用事例発表 講演・シンポジウム「伊能嘉矩生誕150年～郷土研究と台湾研究の生涯をめぐって」</p> <p>○市民講座 伊能嘉矩生誕150年記念講座、土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など 開催数 17回 総参加者 276人</p>			

	<p>○遠野文化研究センター活動の参加者（まちづくり指標） 目標値 400人 実績 616人 達成率 166.7%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、遠野出身の台湾人類学者・伊能嘉矩の生誕150年を記念した各種イベントを開催した。遠野文化フォーラム「伊能嘉矩生誕150年」のほか、遠野市教育文化振興財団、遠野文化友の会、博物館と連携しながら開催し、報告書としてまとめた。 ・このほか、地区センターを会場にした講座（2回）を開催するなど幅を広げるとともに、金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」（11回）、遠野学会といった地道な学習活動を積み重ね、目標を達成することができた。 <p>○遠野文化研究センター活動の参加者満足度（11段階評価）（まちづくり指標） 目標値 6点 実績 9点 達成率 150.0%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野文化研究センター活動の実施ごとに、顧客推奨度指標11段階評価のNPS（ネット・プロモーター・スコア）による参加者アンケートを実施した結果、平均値8.6点の高い評価を得た。 <p>○出版事業 遠野学叢書 『伊能嘉矩-生誕150年記念講義録-』 300部 『遠野夜話』 300部 『遠野の河童』 300部 遠野文化フォーラム報告書 300部</p>
--	--

事業費名	伊能嘉矩生誕150年記念事業費	平成29年度 決算額	4,792,104円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	<p>○伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や記念講座、遠野文化フォーラムを開催し、遠野の先人の功績を市内外に発信した。</p> <p>○国立台湾大学と伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定を締結し、台湾との交流を活発化し、交流人口の拡大を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○平成29年8月20日に、国立台湾大学との間に「伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定」を締結し、台湾大学に保管されていた伊能嘉矩ゆかりの資料を約90年ぶりに里帰りさせ、特別展を通して市内外に公開することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野文化フォーラム（平成29年8月20日） 出席者数 340人 ・伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定の締結（平成29年8月20日） ・特別展「伊能嘉矩と台湾研究」（平成29年7月21日～11月23日） 観覧者数 8,041人 <p>○国立台湾大学図書館で伊能嘉矩のパネル展を開催し、遠野の先人の業績について広く情報提供することができた。特別展開催中には、台湾からの来館者もあり、交流人口の拡大に貢献することができた。</p>			

事業費名	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	平成29年度 決算額	1,454,669円	
平成30年度 事業所管課	市民センター文化課			
取組状況	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づけ、「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大を図った。	評価	達成	
成果	<p>○平成29年度の認定者数は41人（昔話1人、子ども語り部36人、歴史1人、食1人、生業1人特別サポーター1人）で、累計者数は878人となった。</p> <p>○遠野こだわりの「語り部」認定者数（まちづくり指標） 目標値 850人 実績 878人 達成率 103.3% ・子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。 ・このほか、認定語り部のためのスキルアップセミナーや、初心者向けの昔話教室（3回）などを開催するなどして、研修の機会と場を提供した。</p> <p>○語り部スクーリングを開催し、新たな語り部の発掘に努めることにより、計画値を上回ることができた。さらに、初心者向けの昔話教室や食、歴史、郷土芸能の語り部の研修を開催するなどして、認定者のフォローアップにも努めた。</p> <p>○中心市街地の空き店舗を活用し、語り部スポットを2箇所開設して語りを披露するなど中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。</p>			

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	平成29年度 決算額	3,518,564円	
平成30年度 事業所管課	市民センター市史編さん室			
取組状況	<p>○『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発行から40年以上が経過しており、その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>○「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さん作業を進めた。 ・平成31年度 現代編刊行 ・平成38年度 通史編刊行 ・平成39年度 民俗編刊行、遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催</p> <p>○平成28年度から38年度にかけて、市史編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>○遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」を随時刊行する。</p>		評価	達成

成果	<p>○市史編さん委員会を年2回開催、事業計画の審議等を行うとともに、現代編部会を設置、会議を2回開催し、現代編刊行に向けた具体的な協議を行った。</p> <p>○調査研究員による資料収集や古文書解読作業を進め、『遠野市史叢書』を発刊した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究員活動 <ul style="list-style-type: none"> 現代編担当 会議及び資料収集 10回 古文書担当 遠野南部家所蔵『御用留書』の解読及び『遠野市史叢書』としての刊本化作業 40回 ・資料調査 <ul style="list-style-type: none"> 遠野南部家資料調査 2回 通史編に関する調査 5回 <p>○人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん講座（9月10日開催） 参加者 64人 ・古文書講座 <ul style="list-style-type: none"> 午前の部（7月20日、7月27日、8月3日、8月10日開催） 参加者 延べ29人 夜の部（11月15日、11月22日、11月29日開催） 参加者 延べ31人 ・古文書整理ボランティア活動 登録者15人、活動回数12回 <p>○広報活動を実施した。（市広報、ホームページ等）</p> <p>○市史編さん事業進捗率（まちづくり指標） 目標値 100% 実績 100% 達成率 100.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度「現代編」、平成38年度「通史編」、平成39年度「民俗編」の刊行を目指し、各年度の事業進捗率を【①市史編さん委員会開催 ②資料収集・調査 ③刊行のための実務作業 ④教育普及・広報】の4項目をすべて実施した場合、100%（1項目当たり25%）と設定した。 ・①市史編さん委員会を2回開催、現代編部会を2回開催した。 ・②資料収集・調査は、現代編担当調査研究員の会議及び資料収集を10回、古文書担当調査研究員解読作業を40回、遠野南部家資料調査を2回、通史編に関する調査を5回実施した。 ・③刊行のための実務作業を実施した。また、『遠野市史叢書』を発刊した。 ・④教育普及として、市史編さん講座を1回、古文書講座を7回、古文書整理ボランティア活動を12回実施し、市広報やホームページで活動を周知した。 ・以上の4項目を実施したことで、平成29年度は事業進捗率100%を達成した。 ・これからも、市民協働で市史編さん事業を着実に進めていく。
----	--

4 健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による市民総参加型の健康づくりをはじめ、各種教室や講師派遣により、子どもたちの運動能力、競技力の向上を図った。
課題	「とすぼ」において、本校及びサテライト校として開催してきたが、サテライト校の参加者数が伸び悩んでいる。 より多くの市民が、健康づくり教室に参加できるように、「とすぼ」のあり方も含めて、工夫していきたい。

事業費名	健康スポーツプログラム推進事業費	平成29年度 決算額	2,802,561円		
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）、サテライト校（地区センター）で開催し、運動するきっかけや機会を提供するとともに、健康づくりへの取組意識の啓発と普及を図った。	評価	達成		
成果	<p>○従来どおり健康教室を実施したものの、各地区で実施しているサテライト校は、参加者、回数ともに、前年度より減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教室 112回 延べ 1,996人参加 ・サテライト校教室 57回 延べ 743人参加 ・とすぼ大学祭 1回 230人参加 <p>○健康スポーツプログラム参加者数（まちづくり指標） 目標値 2,100人 実績 2,969人 達成率 141.4%（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、1年を通して「わくわくフィットネス」「エンジョイ水中ウォーキング」「パワフルエクササイズ」の3つの教室を開催し、参加者数は年々増加しているが、サテライト校は、実施回数、参加者ともに前年度を下回った。 ・とすぼ大学祭では、健康づくり、生涯スポーツの推進を図ることを目的に、「健康セミナー」「バレーボールクリニック」「すくすく教室」等を実施し、子どもから大人まで一堂に会し、スポーツによる交流を図る機会とした。 ・今後も、地域のニーズの把握に努めるとともに、年齢や目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる場の提供に努める。 				

事業費名	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	平成29年度 決算額	767,918円		
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	園児・児童の運動能力や体力の向上を図ることを目的に、保育園、小学校等で開催する教室に講師を派遣した。 ・児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング ・園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊	評価	概ね達成		
成果	<p>○児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室27回、スケート教室5回、陸上1回をそれぞれ実施した。 ・市内9校（33教室） 延べ 1,388人参加 ・学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実、競い合う楽しさや運動意欲の高揚につながった。 <p>○園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における運動機会を提供するため、市内14保育園等で教室を実施した。 ・市内14保育園等（70教室） 延べ 1,301人参加 ・運動意欲の高揚や運動の習慣化による体力の向上に寄与した。 <p>○キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数）（まちづくり指標） 目標値 1,550人 実績 1,301人 達成率 83.9%（未達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内13保育園と子育て支援センター「まなざし」を会場に、園児を対象とした教室を平均5回開催した。目標には届かなかったものの、幼児期における運動機会の提供により、運動意欲の向上や習慣化による体力向上に寄与した。 ・今後も、教室内容を工夫し、参加者の拡大に努める。 				

事業費名	広域連携事業費（スポーツツーリズム推進室分）	平成29年度 決算額	1,712,739円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>遠野市と、花巻市の各種競技団体等により構成される「はなまきスポーツコンベンションビューロー」とが連携し、交流人口の拡大、地域の活性化を図ることを目的に、地域の観光資源及びスポーツ資源をピーアールしながら国内外の合宿・大会誘致等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿・大会誘致等PR活動 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたPR等活動 	評価	達成	
成果	<p>○合宿・大会誘致に係るピーアール活動を首都圏等で実施した。 なお、平成30年度は、合宿に係る補助金制度を導入するとともに、市民マラソン参加選手の台北マラソン派遣が決定した。引き続き、スポーツを通じた交流人口の拡大を進めていく。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においては、ブラジルを相手国とするホストタウンに登録決が決定した。今後は、代表チームの合宿誘致、スポーツ・文化・教育等の交流を進めていく。</p>			

事業費名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	平成29年度 決算額	14,231,061円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○スポーツを通じて市民が健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備、充実を図った。</p> <p>○児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツの向上に努めた。</p> <p>○スポーツ指導者の育成に努め、各種スポーツイベントを開催した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○第35回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を平成29年8月27日に開催した。今回からハーフの部を復活させたことにより、参加者が増加した。 ・参加者 2,264人(市内511人、市外1,753人)</p> <p>○児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。また、トップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。 ・スポーツ団体運営等補助 4団体 ・スポーツ講演会 1回 ・スポーツ少年団全国大会出場 3単位団</p> <p>○市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。 ・全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄付金 3,000,000円</p>			

○スポーツ施設利用者数（まちづくり指標）

目標値 205,200人 実績 217,336人 達成率 105.9%（達成）

- ・スポーツ施設の利用者数は、昨年度の数値を下回ったものの20万人を越える利用状況となっている。
- ・市民サッカー場は、人工芝に張り替えてから年間4万人を超える利用者数となり、張替え前の約2倍の利用者数となっている。
- ・市民体育館は、6年ぶりに年間7万人以上の利用者数となった。
- ・生涯学習スポーツ施設（小友・土淵・上郷）は、4年連続で1万5千人以上の利用者数となっている。

事業費名	スポーツ・ツーリズム推進事業費（繰越明許費）	平成29年度 決算額	397,440円	
平成30年度 事業所管課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン、高校・大学などの合宿や大会の誘致に向けたPR活動を実施し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図った。</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務の委託については、履行期間中に天候不順が続き、屋外の撮影に時間を要したことから、事業を平成29年度に繰り越した。</p>	評価	達成	
成果	<p>制作した東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像をもとに活動を行い、12月にブラジルを相手国とするホストタウンに登録が決定した。</p>			

③食育の推進

<p>施策の展開に係る全体総括</p>	<p>第2次遠野市食育推進計画とおのっこプランに基づき、ライフステージに合わせた食育講座や講演会を行った。</p> <p>特に、高齢者の低栄養予防や中高年の脳卒中予防に重点を置き、食生活改善推進員と協力した普及活動を行った。</p>
<p>課題</p>	<p>中高生の欠食率については、生活環境の改善のほか、食に関する正しい知識と朝食をとることの大切さについて自覚できるような支援と環境づくりが必要となる。</p>

<p>事業費名</p>	<p>ぱすぼる推進事業費</p>	<p>平成29年度 決算額</p>	<p>1,329,099円</p>	
<p>平成30年度 事業所管課</p>	<p>学校給食センター</p>			
<p>取組状況</p>	<p>○子どもたちが明るく充実した生活を送るためには「食」が基本であることの認識に立ち、生涯にわたり健全な食生活が実践できるよう「食育5つの力」（①食べ物の味がわかる力 ②食べ物のいのちを感じる力 ③食べ物を選ぶ力 ④元気な体がわかる力 ⑤料理ができる力）を支援した。</p> <p>○食育推進の共同体である健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の資質向上を図り、組織活動を支援した。</p> <p>○第2次遠野市食育推進計画「とおのっこプラン」推進のため設置した「遠野市食育推進ネットワーク会議」の事務局として、同会議の活動を支援した。</p>		<p>評価</p>	<p>達成</p>
<p>成果</p>	<p>○ライフステージに合わせ調理実習を含む食育講座や講演会を開催した。</p> <p>①小・中学生対象 ちびっこ栄養教室、親子の食育講座を通して、料理ができる力、食べ物を選ぶ力を身につける機会を提供した。また、中学生にとっては、食文化を学ぶ機会となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座 小学生対象 17回開催、247人参加 中学生対象 13回開催、621人参加 <p>②高校生対象 講演会や食育講座を通して、食生活の基礎づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座 2回開催、24人参加 ・健康づくり講演会 2回開催、99人参加 <p>③成人・高齢者対象 減塩やバランス食等の食育講座を通して、食生活を見直す機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座 青年・親子対象 4回開催、78人参加 中高年対象 72回開催、1,175人参加 <p>○市民向け食育イベントの開催 食育推進ネットワーク会議との共により「ぱすぼる食育まつり」を開催し、食を通じた健康づくりへの関心を高めるとともに、食育の拠点である「総合食育センターぱすぼる」の活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぱすぼる食育まつり 1回開催 350人参加 ・食育推進ネットワーク会議 3回開催 			

- 食生活改善推進員の組織育成支援
食生活改善推進員対象の研修会を実施し、活動に必要な知識や技術向上のための支援を行った。減塩弁当コンテストや脳卒中予防寸劇コンクールにおける入賞は、推進員の目的意識の向上につながった。
・研修会 34回実施 478人参加
- 遠野市食育推進ネットワーク会議の活動支援
ネットワーク構成団体や関係機関の情報共有と連携により、共同事業の展開と食育活動の充実につながった。
- 朝食をとる習慣のある子どもの割合（まちづくり指標）
目標値 95.0%
実績値 95.1%（小学生96.1%、中学生92.4%）
達成率 100.1%（達成）
 - ・講演会や調理実習を中心とした食育講座を、小・中・高校生を対象に延べ34回（991人参加）実施し、「料理ができる力」「食べ物を選ぶ力」を身につけ、小学生の「望ましい食習慣の定着」と、中・高校生の「自立に向けた食生活の基礎づくり」を支援した。
 - ・小・中学生の「朝食をとる子どもの割合」は、昨年度の96.8%から1.7ポイント後退したものの、目標値は上回る結果となった。
 - ・朝食の大切さを訴え、簡単な料理の作り方指導など、小・中学生への働きかけだけでなく、大人（特に子育て世代）にも働きかけていく必要がある。

5 子育て支援の推進

(1) 少子化対策・子育て支援

①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>わらすっこプランによる事業の推進を図り、少子化対策・子育て支援の充実を図るため、元気わらすっこセンター内の拡張工事等を実施し、子育て支援の拠点として子育てにやさしい環境づくりをさらに進めた。</p> <p>また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センター事業の運営も順調に会員数が増加し、地域ぐるみで子育てを応援する環境が整い、子育てをする者が安心して働くことができる環境の充実が図られた。</p> <p>少子化対策の一環として、「とおのスタイル結婚応援事業」を実施し、婚活企画スキル向上研修、自己演出力アップセミナー及び婚活イベントを開催し、人材育成とネットワーク作り及び出会いの場の創出を図った。</p> <p>ひとり親世帯への支援施策として、母子家庭等対策総合支援事業を実施し、母子家庭等高等職業訓練促進給付金の支給など、経済的負担の軽減を図った。</p>
<p>課題</p>	<p>年々少子化による人口減少が続いており、少子化対策、子育て支援の更なる充実を図る必要がある。新規事業である「とおのスタイル結婚応援事業」については、市内の参加者を募り、出会いの場を創出するための創意工夫が必要である。</p>

事業費名	分庁舎等再整備事業費（東館庁舎分）	平成29年度 決算額	27,743,500円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>新たな組織再編及び新庁舎への組織集約化に伴い、子育て支援施策「わらすっこプラン」に基づき、1階の「わらすっこルーム」を拡張し、子育て支援の充実を図るとともに、空きスペースの活用及び事務室の配置の見直しを行い、施設内の供用部の刷新を図るため、リニューアル整備を実施した。</p>	評価	未達成	
成果	<p>○少子化対策・子育て支援の充実を図るため「わらすっこルーム」の拡張工事と新たな遊具を配置し、「おやくつろぎスペース」は親子のくつろぎと保護者同士が交流できる居場所としてリニューアルした。</p> <p>○館内のLED化とトイレの洋式化、中会議室及び相談室の新設等、子育て支援の拠点施設として拡充を図った。</p> <p>○東館庁舎改修（建築・電気設備）工事に係る事業費のうち33,200,000円を、平成30年度に繰り越した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東館庁舎改修設計業務委託料 1,944,000円 ・東館庁舎改修（建築）工事 16,800,000円（前金払） ・東館庁舎備品購入費 8,999,500円 			

事業費名	家庭児童・女性相談事業費	平成29年度 決算額	4,492,316円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○家庭相談員を配置し、児童養育問題など児童養育上の相談、家庭・身上の相談及び指導業務を行った。また、発達障害・知的障がい等をもつ児童生徒について、関係機関と連携し、適切な指導及び助言を受けられるよう措置を講じた。</p> <p>○女性相談員を配置し、様々な悩みや問題を抱えた女性からの相談に応じ、問題解決のために必要な支援及び助言を行った。</p> <p>○経済的、社会的に多くの困難を抱える母子、寡婦、父子世帯の実情を把握し、要保護者の自立に必要な相談指導を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○庁内関係機関のほか、民生児童委員、警察、学校及び岩手県福祉総合相談センターとの連携を図り、問題や困りごとの早期解決の糸口をつかむことができた。</p> <p>○家庭相談件数 71件（養護相談 48件、育成相談 11件、その他相談 12件）</p> <p>○女性相談件数 328件</p>			

事業費名	看護保育安心サポート事業費	平成29年度 決算額	12,662,576円		
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課				
取組状況	保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、病気の子ども（小学6年生まで）を一時的に保育した。	評価	達成		
成果	<p>○核家族化や両親の共働き世帯が増える中、病気の子どもを保育する「わらっぺホーム」の需要は高く、登録者数は増加傾向にある。</p> <p>○子育てと就労の両立を支援するための施設として、安心して子育てができる環境の維持に努めた。</p> <p>○利用実績等（平成26年度から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度（開設日数 242日） 登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人） ・平成27年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者数延べ 591人（1日平均 2.45人） ・平成28年度（開設日数 244日） 登録者数 237人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人） ・平成29年度（開設日数 242日） 登録者数 229人、年間利用者数延べ 631人（1日平均 2.61人） （実数 158人） 				

事業費名	わらすっこの居場所事業費	平成29年度 決算額	109,335,520円		
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課				
取組状況	児童の放課後等の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用し学童保育を行うとともに、健全な遊びを通して児童の健康増進と豊かな情操を育んだ。	評価	概ね達成		
成果	<p>○児童の放課後等の健全育成を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に管理運営を委託し、児童館や児童クラブの利用児童に対し、遊びを通して自主性や社会性、創造性を培う等、豊かな情操教育に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館指定管理料 74,084,000円 ・児童クラブ運営業務委託料 32,116,000円 <p>○育成団体等に対し、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動の事業実施を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金 3,110,000円 ・その他 25,520円 <p>○児童館・児童クラブ年間利用延べ人数（まちづくり指標） 目標値 138,400人 実績 132,123人 達成率 95.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の延べ利用者数は、目標数値に対して6,277人下回る結果であった。 ・児童館及び児童クラブが地域交流事業など特色ある活動に取り組んでいる一方、利用数が減少したことは、児童数の減少が影響していることも原因のひとつである。 ・今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。 				

事業費名	とおのスタイル結婚応援事業費	平成29年度 決算額	1,218,016円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○少子化対策事業の一環として、「人材育成とネットワーク作り」及び「出会いの場の創出」という二つの目的を掲げ、独身者の交流を図った。</p> <p>○市内各地区センター、事業所から市が開催する企画スキル向上研修会に人材を派遣し、婚活事業主催者としての人材の育成を図った。また、自己演出力アップセミナーを開催し、独身者の婚活力アップの向上を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○婚活企画スキル向上研修及び自己演出力セミナーを開催することにより、出会いの場をマネジメントする能力の向上と、独身者の自己演出力、婚活力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活企画スキル向上研修 2回開催 21人参加 ・自己演出力アップセミナー（男性向け）2回開催 14人参加 ・自己演出力アップセミナー（女性向け）2回開催 12人参加 <p>○婚活イベントを開催し、出会いの場の創出と機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベント「とおの縁結び」 5回開催 88人参加 			

事業費名	母子家庭等対策総合支援事業費	平成29年度 決算額	1,150,000円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>母子家庭及び父子家庭の生活の負担軽減を図り、その福祉増進に資するため、母子家庭の母及び父子家庭の父が有利に就職をすることができ、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進することができるよう、当該資格に係る養成訓練の就業期間において、母子家庭等高等職業促進給付金を支給した。</p>	評価	達成	
成果	<p>母子家庭の母に、生活の安定に資するための資格の取得に係る給付として、平成29年5月から平成30年3月までの11カ月間、母子家庭等高等職業訓練促進給付金及び、終了支援給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人×100,000円×11箇月+50,000円（終了時給付金） 			

事業費名	児童扶養手当給付費	平成29年度 決算額	104,095,054円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	児童扶養手当法に基づき、ひとり親家庭等の父又は母等に児童扶養手当を支給することにより、生活の安定と自立促進を支援した。		評価	達成
成果	<p>○ひとり親家庭等の保護者で、支給要件に該当する児童を養育している保護者に児童扶養手当を年3回（4月、8月、12月）支給した。</p> <p>平成30年3月末現在 受給資格者数 256人 うち 手当基本月額全部支給者 79人 " 一部支給者 132人 " 全部停止者 45人</p> <p>新規申請者 34人 資格喪失者 29人 年間支給延べ人数 2,691人（うち全部支給者 947人、一部支給者 1,744人）</p> <p>○手当の支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際に個別に相談に応じたほか、弁護士によるひとり親家庭相談会実施の周知等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進を支援した。</p>			

事業費名	子育て応援宣言のまち推進事業費	平成29年度 決算額	6,748,226円	
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課			
取組状況	<p>○地域子育て応援推進事業 育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制を構築した。</p> <p>○子育て環境育成事業 企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図った。</p> <p>○わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で支え合う共助により子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的として、遠野市わらすっこ基金を活用し、助成金を交付した。</p> <p>○わらすっこ応援券交付事業 市内に住所を有し、出生してから小学校就学前までの児童の親権を行う方、未成年後見人及びその他の方で、現に児童を監護し、かつ、扶養している方に対し、遠野市わらすっこ誕生応援事業実施要綱に基づき、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。</p>		評価	概ね達成

○地域子育て応援推進事業（事業費 2,299,404円）

ファミリー・サポート・センターを開設し、育児を援助したい人（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）をマッチングし、相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。

- ・おねがい会員（援助を依頼） 60人
- ・まかせて会員（地域で援助） 49人
- ・事前打合せ会 16件
- ・援助活動 31件
- ・まかせて会員講習会（4日間、計24時間を2回実施） 37人参加
- ・まかせて会員スキルアップ研修会（救急救命講習、会員交流会） 17人参加

○子育て環境育成事業（事業費 1,281,1520円）

①認可外保育施設に入所している児童の保育料に要する経費の一部を助成し、児童の保護者の経済的負担の軽減を図り、もって子育て環境にかかる保護者等への支援及び地域福祉の向上を図ることができた。

- ・企業内託児施設助成 1施設

②国が定める「子育て支援員研修事業実施要綱」に基づき、家庭的保育事業等の保育補助者などの職務に従事する者を育成するとともに、子育て支援の担い手としての資質向上を図るため、必要な知識や技能等を習得することができた。

- ・子育て支援員研修受講者 24人
- ・研修内容 講義・演習 5日間（29時間）
見学実習 2日間（市内保育施設）

成果

○わらすっこ基金助成事業（事業費 1,479,456円）

子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、活動団体に対し助成金を交付した。

地域社会で支え合う共助により、市内全域に及ぶ子育てに寄与する事業となり、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動の充実とさらなる拡大が図られた。

- ・わらすっこ基金助成金交付団体（5団体）
 - ①遠野市図書ボランティアネットワーク
 - ②空市実行委員会
 - ③とおのSUMMER SCHOOL実行委員会
 - ④遠COT遠野市コーディネーショントレーニング実践研究会
 - ⑤ちびっこクラブ ちゅんちゅん

○わらすっこ応援券交付事業（事業費 1,688,214円）

主任児童委員との連携により、平成29年2月16日から平成30年2月4日までに出生した遠野市在住の新生児138人に、出生のお祝いとして木製写真立てを贈呈するとともに、1万円分のわらすっこ応援券を交付した。

わらすっこ応援券は、主に予防接種に活用されており、子育てにかかる経済的負担の軽減に寄与することができた。

- ・わらすっこ応援券利用状況

①ロタウイルスワクチン	116件	891,000円
②インフルエンザワクチン	97件	252,500円
③病児等保育施設一部負担金	10件	40,000円
④一時保育利用料	0件	0円
⑤休日保育利用料	2件	5,000円
合計	225件	1,188,500円

○合計特殊出生率（まちづくり指標）

目標値 1.92 実績 1.71 達成率 89.1%（未達成）

- ・指標である合計特殊出生率は、目標値と比較して0.21下回った。
- ・原因については、晩婚化の現象とともに、出産年齢が高齢化していることが考えられる。
- ・今後は、「子育てするなら遠野」として、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図るとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を展開し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに発展させ、1.94を目指して施策を展開していく。

○わらすっこ割合（まちづくり指標）

目標値 14.02% 実績 13.52% 達成率 96.4%（概ね達成）

- ・指標であるわらすっこ割合（年度末における18歳以下の人口の割合）は、目標値と比較して0.50%下回った。
- ・要因については、初婚同士の婚姻が減少していることや、晩婚化の影響により第1子の出生時の平均年齢が高く、出産年齢も高齢化していることが考えられる。
- ・今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図り、わらすっこ関連事業をさらに発展させ、14.02%を目指して施策を展開していく。

事業費名	児童館施設整備事業費	平成29年度 決算額	78,699,812円		
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課				
取組状況	附馬牛保育園改築整備に併せ、附馬牛児童館を新設することにより子どもの放課後等の居場所をつくり、健全な遊びを与える子育て環境の充実を図った。	評価	達成		
成果	<p>附馬牛保育園の改築整備に併せ、青笹町に次ぐ市内2例目となる保育園との合築方式を採用し、放課後や長期休業時に児童の健全な遊び等を育む附馬牛町の「子育て支援の中核施設」として、附馬牛児童館を新築整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附馬牛児童館新築工事（延面積 260.85㎡） 72,896,760円 ・工事監理業務委託料 3,785,040円 ・備品購入費 1,677,780円 ・その他 340,232円 				

事業費名	児童館施設整備事業費（繰越明許費）	平成29年度 決算額	7,085,880円		
平成30年度 事業所管課	子育て応援部こども政策課				
取組状況	附馬牛保育園の老朽化等に伴う改築工事に併せ、附馬牛児童館を新築し、地域の子育て環境の整備を図るため、平成28年度事業の実施設計業務委託を平成29年度に繰り越して実施した。	評価	達成		
成果	<p>事業計画に基づき、平成29年度内の児童館完成に向け、児童が安心・安全で快適に過ごすことができるよう、地域や保護者の意見を踏まえて、施設の実施設計書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務委託料 7,085,880円 				

IV 外部評価の実施

平成31年2月5日（火）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成29年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、12ページから64ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
山下 彰	遠野市校長会（達曾部小学校長）
石直典高	遠野市民センター運営協議会会長
木下敏子	主任児童委員
菊池長悦	遠野市スポーツ少年団本部副本部長
松田希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員長

【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
16	わらすっこの育ち療育支援事業費	○この事業の課題は。 →保健師及び臨床心理士とともに市内の保育園を巡回し、発達の遅れが気になる子どもを見て回っていることから、臨床心理士の資格を持つ人が市の職員として通年雇用されれば、よりこの事業を充実させることが可能になると考えられる。 （こども政策課）
20	特色ある学校づくり事業費	○地域と学校が深いかかわりを持って事業に取り組んでいると感じられる。今後もぜひ、力を入れて取り組んでいただきたい。
22	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	○非常に良い取組であるので、今後もぜひ事業を継続していただきたい。
23	学力向上対策事業費 費進事業費	○学力の底上げ対策としての効果が出ていると感じる。 ○学力検査については、受検する子どものやる気につながるような取組をお願いしたい。

32	学校給食事業費	<p>○目標値としている「遠野産食材の割合」が65.8%、という数値は妥当なものか。</p> <p>→地場産食材の使用率としては、県内でトップである。 (学校給食センター)</p>
35	高校魅力化サポート事業費	<p>○事業の成果として、市内の県立高校2校の入学者数の増につながっていると感じるが、市外の高校への流出に歯止めをかけるために、生徒が地元に残るような指導や取組は実施しているのか。</p> <p>→平成29年度は、市内高校の教職員と協力して、周辺自治体の中学校を回って呼びかけを行った。また、遠野緑峰高校のプロジェクト発表会には、例年は同校に進学を希望している市内の中学生が参加しているが、平成31年度には近隣自治体の中学校からも参加している。</p> <p>→今後は、周辺自治体からの入学者の増につなげるような取組も重要であると考えている。(学校教育課)</p>
36	みらい創りカレッジ推進事業費	<p>○とても良い取組だと思うが、参加者が少ないのではないかと感じる。</p> <p>→みらい創りカレッジとの連携を密にし、さらに事業の周知を図っていきたい。(生涯学習スポーツ課)</p>
40	放課後子どもプラン推進事業費	<p>○放課後子ども教室は、ぜひ今後も継続して取り組んでいただきたい。</p>
42	博物館費	<p>○この事業におけるまちづくり指標は、博物館講座等の受講者数が「達成」、博物館入館者数が「未達成」だが、事業全体の評価は「達成」とされている。その理由は。</p> <p>→博物館入館者数については、遠野市全体の観光客数の減少との関連が大きいと考えている。博物館講座等の受講者数については、当課職員の努力の成果であると判断し、事業全体の評価については「達成」とした。(文化課)</p>
45	視聴覚教育振興費	<p>○映画会への参加者数が少なすぎるのではないかと感じる。</p> <p>→月1回、日曜日に定期的で開催しているが、スポーツ少年団活動などとの兼ね合いもあり、参加者数は伸び悩んでいる。参加者数の増加に向けて今後工夫していきたい。(文化課)</p>

45	ブックスタート事業費	<p>○小学校に入学してからの読書の習慣化につなげるためにも、この事業の対象を2歳児～4歳児ぐらいまで拡大してほしい。</p> <p>○小さい子どもが保護者と一緒に図書館に来ているのをよく見かける。この事業が浸透してきているのではないか。</p>
52	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	<p>○中学生や高校生の「語り部」認定者数の増につなげるため、高校魅力化の取組と一緒に実施してみてもどうか。</p>
57	ぱすぼる推進事業費	<p>○朝食をとる習慣のある子どもの割合をより100%に近づけていくような取組を行っていくべきと考える。例えば、遠野市では、子ども食堂の取組は行われているのか。</p> <p>→市内では月2回、2箇所で開催されている。1箇所は月初めの水曜日に実施されており、もう1箇所は平成30年11月から土曜日に実施されている。こちらには20名～30名が参加している。今後、周知を図って、もっと取組の輪を広げていきたい。（こども政策課）</p> <p>○食べさせないことで虐待につながるケースもあると思う。学校としても、協力をしていきたい。</p> <p>○多忙な保護者が多いと思うが、ぜひ、子どもと保護者が一緒に食べるという習慣を身につけさせてほしい。</p> <p>→PTAの母親委員会で、朝食の大切さについて周知を図っている。家庭の実態をみながら、今後とも取り組んでいきたい。（学校給食センター）</p>
61	とおのスタイル結婚応援事業費	<p>○昭和の終わりに生まれた世代の人たちで、平成の時代に結婚せず、新しい元号を迎えるというような方も多いと聞く。この世代の人たちがなぜ結婚しないのか、その実態や遠野市内の傾向は把握しているのか。把握していないのであれば、調査が必要ではないか。</p> <p>→平成27年度国勢調査では、全国の20歳から50歳までの年代のうち、独身の方の割合は男性が15.5%、女性が8.7%となっている。遠野市内のデータは、把握していない。</p> <p>→「結婚をしなければならない」という考え方は難しい時代になってきている。（こども政策課）</p>

-	その他	<p>○市内にスポーツ少年団が30数団体ある。できれば、この事業評価の中に、スポーツ少年団の活動そのものに対する評価の記載もあっていいのでは。スポーツ少年団の取組が目に見えるようにしていただきたい。</p> <p>→評価の方法等も含めて、今後検討していきたい。 (生涯学習スポーツ課)</p>
---	-----	--

【附属資料】

資料1 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画

平成29年度まちづくり指標実績

(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)

資料2 平成29年度 主要な施策の成果説明

(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 55事務事業)

第2次 遠野市総合計画 前期基本計画 平成29年度まちづくり指標実績 (第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)

附属資料1

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 7指標

- 1 朝食をとる習慣のある子どもの割合
- 2 健康スポーツプログラム参加者数
- 3 スポーツ施設利用者数
- 4 老人クラブ加入者数 (累計)
- 5 合計特殊出生率
- 6 わらすっこ割合
- 7 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数

大綱3 活力を創意で築くまちづくり 1指標

中学生の海外派遣数

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 25指標

- 1 キッズ元気アップ教室参加者数 (延べ人数)
- 2 小学校標準学力検査偏差値
- 3 中学校標準学力検査偏差値
- 4 学校給食に使用する遠野産食材の割合
- 5 全講座における継続的講座数
- 6 市民センター・地区センター生涯学習講座の
延べ受講者数
- 7 家庭教育講座等の延べ参加者数
- 8 青年団体加入者数 (累計)

- 9 自主事業の顧客満足度
- 10 市民協働の芸術文化事業の参加者数
- 11 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数
- 12 博物館入館者数
- 13 博物館講座等の受講者数
- 14 図書館の利用者数
- 15 市民への図書貸出冊数
- 16 移動図書館車の貸出冊数
- 17 学校図書館・児童館への貸出冊数
- 18 指定文化財説明板設置件数 (累計)
- 19 民俗芸能の映像記録件数 (累計)
- 20 遠野遺産推薦件数
- 21 遠野遺産保護活用活動実施割合 (実施団体数/認定件数)
- 22 遠野文化研究センター活動の参加者
- 23 遠野文化研究センター活動の参加者満足度
(11段階評価)
- 24 遠野こだわりの「語り部」認定者数
- 25 市史編さん事業進捗率 (①市史編さん委員会開催 ②資料
収集・調査 ③刊行のための実務作業 ④教育普及・広報)

大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 1指標

各委員、協議会の女性参画率

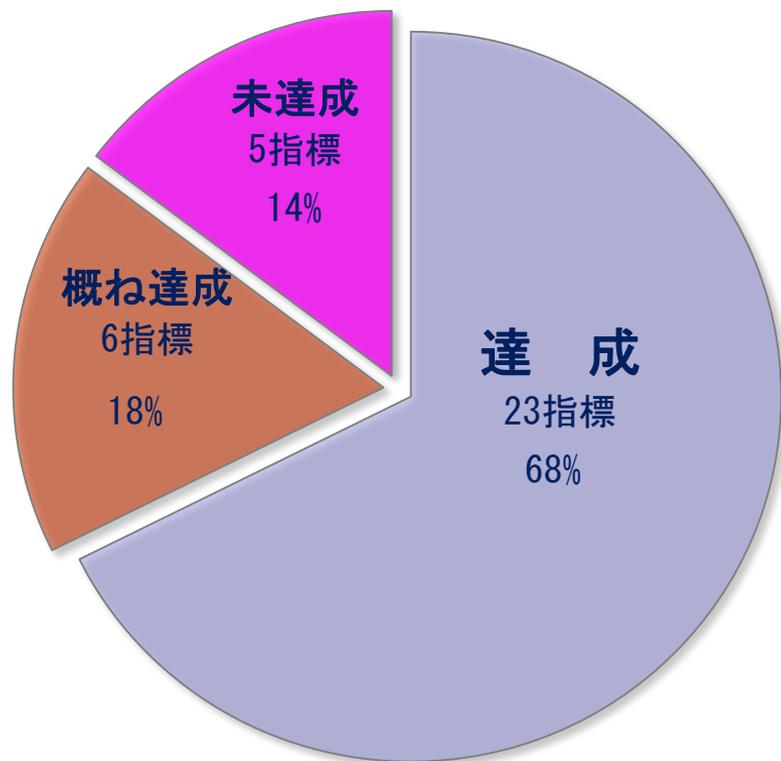
Point **1**

まちづくり指標について

第2次遠野市総合計画 前期基本計画
(計画期間：平成28年度～平成32年度)に
おける毎年度の段階的達成目標として、
「まちづくり指標」を設定しています。

平成29年度実績
第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連
まちづくり指標の総数 34指標のうち

29指標(約86%)が概ね達成

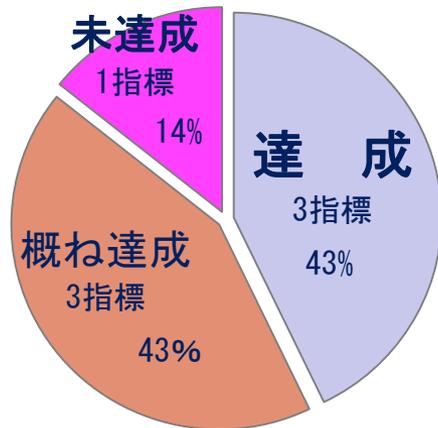


- 達成** …… 23指標 (約68%)
達成率 ……100%以上
- 概ね達成** …… 6指標 (約18%)
達成率 ……90%以上100%未満
- 未達成** …… 5指標 (約14%)
達成率 ……90%未満

Point 2

大綱別の達成状況

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 7指標



達成
3指標

- 朝食をとる習慣のある子どもの割合
- 健康スポーツプログラム参加者数
- スポーツ施設利用者数

概ね達成
3指標

- 老人クラブ加入者数（累計）
- わらすっこ割合
- 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数

未達成
1指標

- 合計特殊出生率

大綱3 活力を創意で築くまちづくり 1指標

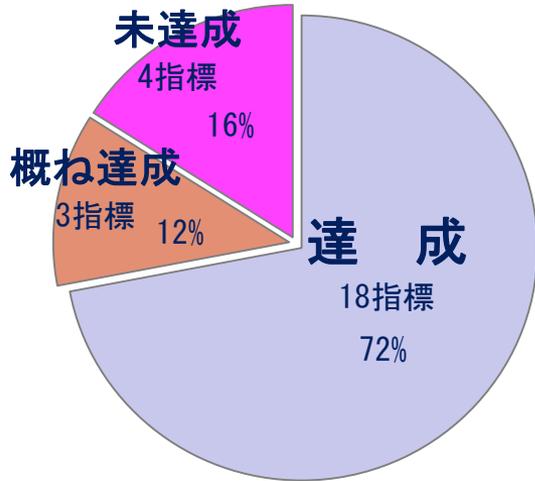


達成
1指標

- 中学生の海外派遣数

大綱別の達成状況

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 25指標



達成
18指標

概ね達成
3指標

未達成
4指標

○中学校標準学力偏差値 ○学校給食に使用する遠野産食材の割合
○全講座における継続的講座数 ○青年団体加入者数（累計）
○自主事業の顧客満足度 ○博物館講座等の受講者数 ○図書館の利用者数
○市民への図書貸出冊数 ○移動図書館車の貸出冊数
○学校図書館・児童館への貸出冊数 ○指定文化財説明板設置件数（累計）
○民俗芸能の映像記録件数（累計） ○遠野遺産推薦件数
○遠野遺産保護活用活動実施割合 ○遠野文化研究センター活動の参加者
○遠野文化研究センター活動の参加者満足度 ○遠野こだわりの「語り部」認定者数
○市史編さん事業進捗率

○小学校標準学力検査偏差値 ○家庭教育講座等の延べ参加者数
○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数

○キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数） ○市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数
○市民協働の芸術文化事業の参加者数 ○博物館入館者数

大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 1指標



達成
1指標

○各委員、協議会の女性参画率

Point **3**

未達成となった5指標の分析

未達成となった主な要因

…関係機関、団体等との連携や、啓発等の取組が不足していたこと等により、目標値としていた「達成率90%以上」に届かなかった。

◆ = 達成率が80%以上 90%未満の指標 4指標

- ◆ 市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数 89.3%
- ◆ 合計特殊出生率 89.1%
- ◆ キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数） 83.9%
- ◆ 博物館入館者数 80.3%

● = 達成率が70%以上 80%未満の指標 1指標

- 市民協働の芸術文化事業の参加者数 70.6%

**第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32年） 平成29年度まちづくり指標実績
（第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標）**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					29年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
2 健やかに人が輝く まちづくり (25指標)	1	朝食をとる習慣のある子どもの割合	%	94.8	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	達成	100.1	講演会や調理実習を中心とした食育講座を、小中高生に延べ34回(991人)行い、料理ができる力、食べ物を選ぶ力を身につけ、小学生の「望ましい食習慣の定着」中・高校生の「自立に向けた食生活の基礎づくり」を支援した。 小中学生の「朝食をとる子どもの割合」は、95.1%と昨年度の96.8%から1.7ポイント後退したものの目標値95.0%は上回る結果となった。 朝食の大切さを訴え、簡単な料理の作り方指導など小中学生への働きかけだけでなく、大人(特に子育て世代)にも働きかけていく必要がある。	学校給食センター
	2	健康スポーツプログラム参加者数	人	1,938	目標値	2,000	2,100	2,100	2,100	2,100	達成	141.4	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」として、本校(市民センター)教室とサテライト(全地区センター)教室を開催し、定期的に運動する機会を提供して健康増進の意識付けを図った。 本校では、1年を通して「わくわくフィットネス」、「エンジョイ水中ウォーキング」、「パワフルエクササイズ」の3つの教室を開催し、年々増加しているが、サテライト校は、実施回数、参加者ともに前年度を下回った。 とすぼ大学祭では、健康づくり、生涯スポーツの推進を図ることを目的に、「健康セミナー」「バーレーボールクリニック」「すくすく教室」等を実施し、子どもから大人まで一堂に会し、スポーツによる交流を図る機会とした。 今後も、地域のニーズの把握に努めるとともに、年齢や目的に応じて、いつでもどこでもいっまでもスポーツを楽しむことができる場の提供に努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	3,066	2,969							
	3	スポーツ施設利用者数	人	204,435	目標値	205,000	205,200	205,400	205,600	205,800	達成	105.9	スポーツ施設の利用者数は昨年度の数値を下回ったものの20万人を越える利用状況となっている。 市民サッカー場は、人工芝に張り替えてから年間4万人を超える利用者数となり、張り替え前の約2倍の利用者数となっている。 市民体育館は、6年ぶりに年間7万人以上の利用者数となった。 生涯学習スポーツ施設(小友・土洲・上郷)は、4年連続で1万5千人以上の利用者数となっている。	生涯学習スポーツ課
					実績	225,056	217,336							
	4	老人クラブ加入者数(累計)	人	2,753	目標値	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	概ね達成	94.9	全老連、県老連が推進する会員増強運動と運動し、市老人クラブ連合会においても各種スポーツ大会や文化活動等を通じ会員拡大に取り組んだことにより、目標を概ね達成することができた。 今後も老人クラブの活発な活動を継続していくための支援を行い、市老人クラブ連合会とともに加入者数の増加に努める。	生涯学習スポーツ課
実績					2,564	2,438								
5	合計特殊出生率	—	1.90 (H25実績)	目標値	1.90	1.92	1.92	1.94	1.94	未達成	89.1	わらすっこプランによる事業の推進を図り、少子化対策・子育て支援の充実を図るため、元気わらすっこセンター内の「わらすっこルーム」の拡張工事、「おやくつろぎスペース」を親子のくつろぎと保護者同士の交流ができる居場所としてリニューアルするなど、子育て支援の拠点として、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センター事業の運営も順調で会員数も増加し、地域ぐるみで子育てを応援する環境が整い、子育てをする者が安心して働くことのできる環境の充実が図られた。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.21下回った。 原因については、晩婚化の現象とともに、出産年齢が高齢化していることが考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」として、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図るとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を展開し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに発展させ、1.94を目指して施策を展開していく。	こども政策課	
				実績	1.64	1.71								
6	わらすっこ割合	%	14.02	目標値	14.02	14.02	14.02	14.02	14.02	概ね達成	96.4	わらすっこプランによる事業の推進を図り、少子化対策・子育て支援の充実を図るため、元気わらすっこセンター内の「わらすっこルーム」の拡張工事、「おやくつろぎスペース」を親子のくつろぎと保護者同士の交流ができる居場所としてリニューアルするなど、子育て支援の拠点として、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センター事業の運営も順調に会員数で増加し、地域ぐるみで子育てを応援する環境が整い、子育てをする者が安心して働くことのできる環境の充実が図られた。 指標であるわらすっこ割合(年度末における、18歳以下の人口の割合)については、目標数値と比較して0.50%下回った。要因については、初婚同士の婚姻が減少していることや、晩婚化の影響により、第1子の出生時の平均年齢が高く、出産年齢も高齢化していることが考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図り、わらすっこ関連事業をさらに発展させ、14.02を目指して施策を展開していく。	こども政策課	
				実績	13.71	13.52								

**第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32年） 平成29年度まちづくり指標実績
（第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標）**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					29年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
	7	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	人	136,814	目標値	137,900	138,400	138,950	139,450	140,000	概ね達成	95.5	平成29年度の延べ利用者数は、目標数値に対して6,277人下回る結果であった。児童館及び児童クラブが地域交流事業など、特色ある活動に取り組んでいる一方、利用数が減少したことは児童数の減少が影響していることも原因のひとつである。今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。	子ども政策課
3 活力を創意で築く まちづくり (47指標)	8	中学生の海外派遣数	人	9	目標値	9	9	9	9	9	達成	100.0	平成29年度も姉妹都市締結したアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市へ、市内の中学生9名を派遣した。現地でホームステイをし、学校生活を経験する等し、国際的な感覚を養い、他文化・他者への理解を深める等、人材育成を図ることができた。今後も、受入先、各中学校や関係機関・団体と連携を図り、事業を継続実施し、計画的に派遣者数を維持していく。	生涯学習スポーツ課
					実績	9	9							
4 ふるさとの文化を 育むまちづくり (27指標)	9	キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数）	人	1,573	目標値	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550	未達成	83.9	市内13保育園と子育て支援センター「まなざし」を会場に、園児を対象とした教室を平均5回開催した。目標には届かなかったものの、幼児期における運動機会の提供により、運動意欲の向上や習慣化による体力向上に寄与した。今後も教室内容を工夫し、参加者の拡大に努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	1,239	1,301							
10	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.8	目標値	53.8	53.8	53.9	53.9	53.9	概ね達成	98.1	平成29年4月に実施した小学校学力調査の結果は、目標値には1ポイント届かなかったものの概ね達成している状況であり、前年度同様に全国平均を上回る状況となっている。各校においては、本結果を基に5月に分析を行い、成果と課題を明らかにし、中学校区毎の視点に基づく授業改善の取組により改善を図っている。特に、平成29年度は、中学校区毎の小中学校が連携した取組開始から5年目であることから、この5年間の取組を検証し、望ましい授業の姿を「遠野市授業づくりスタンダード」として整理した。これを全教員で共有するとともに、日常実践に繋げることで、授業改善の取組を継続させていく。	学校教育課	
				実績	52.8	52.8								
11	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.4	目標値	48.5	48.5	48.6	48.6	48.6	達成	102.7	平成29年4月に実施した中学校学力調査の結果は、目標値を1.3ポイント上回り、目標を達成することができた。全国平均までは、あと0.2ポイントの状況となっている。各教科ごとの結果をみると、5教科中「社会」を除く4教科で前年度を上回り、国語と理科は全国平均を上回る結果となった。また、課題となっている「数学」及び「英語」において大きな伸びが見られることから、特定教科集中対策事業の取組を充実させることにより、更なる成果につなげていきたい。平成29年度は、中学校区毎の小中学校が連携した取組開始から5年目であることから、この5年間の取組を検証し、望ましい授業の姿を「遠野市授業づくりスタンダード」として整理した。これを全教員で共有するとともに、日常実践に繋げることで、授業改善の取組を継続させていく。	学校教育課	
				実績	47.9	49.8								
12	学校給食に使用する遠野産食材の割合	%	65.3	目標値	65.5	65.8	66.1	66.4	66.6	達成	100.3	遠野産の食材を積極的に活用し、地産地消の推進及び消費拡大を図った。今年度は天候不良により野菜が不作となり、地場産野菜に影響があったが、地産地消率が66.0%と目標は達成できた。交流すまいる給食では、生産者や関係者等と共食することで感謝の気持ちと食の大切さを培う機会となったほか、郷土食の継承及び他地域の食文化に触れる機会となった。今後についても産直等と連携し遠野産野菜の消費拡大に努める。	総合食育課	
				実績	67.6	66.0								
13	全講座における継続的講座数	講座	5	目標値	5	5	5	5	5	達成	200.0	10の講座を継続的に実施することができたため、目標を達成できた。今後も、生涯学習の推進のため継続的な講座を開講し、また受講してもらえるよう関係機関団体と連携して取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	10	10								
14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,911	目標値	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	未達成	89.3	市民センターでは、民間活力による生涯学習講座を、各地区公民館では各々特色ある生涯学習講座を開催し、生涯学習の推進を図ったが受講者数はほぼ横ばいで、目標を達成することができなかった。講座開催の際には、関係団体と連携しながら開催内容の工夫をしてきたが、今後は他市の例を参考にすると等さらなる工夫をしていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	4,308	4,284								

**第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32年） 平成29年度まちづくり指標実績
（第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標）**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					29年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況		
15	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,558	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	概ね達成	99.3	市内全小中学校を会場とした家庭教育講座等と、市内全域を対象とした「家庭教育講演会」を開催。児童・生徒・保護者・教職員・地域関係者等の多数の参加を得て、情報機器の使用モデルや食育講座、進路学習会、学力向上に関する講演会等を実施し、家庭教育力の向上と子どもたちの健やかな成長促進に取り組むことができた。	生涯学習スポーツ課
				実績	1,313	1,192							
16	青年団体加入者数（累計）	人	76	目標値	80	80	83	85	85	達成	131.3	各青年団体において、それぞれの会員確保に積極的に取り組んだことから、加入者数（累計）増につながり、目標を達成することができた。 今後も、各青年団体が一定の加入者数を確保し、自主的な活動が展開できるように支援等をしていく。	生涯学習スポーツ課
				実績	97	105							
17	自主事業の顧客満足度	%	85.0	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	達成	100.0	自主事業として「コロックとスペシャルステージ」を開催し、鑑賞者を対象としたアンケートを実施した。その多くが、自主事業に満足しているということで、目標を達成することができた。 今後も、市民が文化芸術に触れる機会を確保しながら、鑑賞者には十分満足してもらえるような自主事業を展開できるよう、関係機関・団体と連携していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	83.5	85.0							
18	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	1,771	目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	未達成	70.6	市民芸術祭や遠野物語ファンタジー等をはじめとする芸術文化事業の参加者数は1,341人で、目標値に及ばなかったが、市民協働の取り組みにより市民が芸術文化に親しみ、それぞれの成果を発表する機会を提供することができた。 今後も、関係機関・団体と連携・協力しながら、できるだけ多くの市民が芸術文化に触れたり、興味を持ったりし、参加できるような支援をしていく。 また、参加者数増加に向けた事業展開を関係機関・団体と共に考え、対応していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	1,357	1,341							
19	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	9,792	目標値	8,770	8,770	8,770	8,770	8,770	概ね達成	95.2	市民センター等を会場とした芸術文化事業を、8,350人の方々に鑑賞していただいたので、概ね目標を達成できた。 これからも、多くの市民に興味関心を持ってもらえるような芸術文化事業を展開できるよう、芸術文化団体等の活動を支援していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	8,223	8,350							
20	博物館入館者数	人	19,613	目標値	20,000	20,200	20,400	20,600	20,800	未達成	80.3	伊能嘉矩生誕150年記念特別展「伊能嘉矩と台湾研究」を開催。解説パネルは日本語・台湾語併記で制作し、台湾の大使館にあたる台北駐日経済文化代表処のHPに情報を掲載してもらうなど台湾関係者の集客に努めた。また、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催し、商工会と連携して中心市街地への集客に貢献した。 すべての事業を計画どおりに実施したが、団体観光客減少の影響もあり未達成となった。近年続いている中心市街地への入込減の中、博物館の入館者数は昨年並みとなり一定の歯止めがかかったといえる。今後も、魅力的な特別展を実施し、PRを強化して目標の達成に努める。	文化課
				実績	16,349	16,230							
21	博物館講座等の受講者数	人	944	目標値	950	950	950	950	950	達成	136.0	伊能嘉矩生誕150年に合わせた講演会、講座、ギャラリートークの開催、児童生徒を対象とした博物館教室等を計画通りに実施し目標を達成した。 今後も、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、学校等と連携した事業の開催に努める。	文化課
				実績	1,131	1,292							
22	図書館の利用者数	人	17,008	目標値	16,300	16,000	15,800	15,500	15,300	達成	109.8	本に親しむ場所の提供に配慮して、図書館内での季節ごとの図書の本の企画展、映画会、図書館講座、ボランティア等による読み聞かせの活動を行いながら、利用者拡大を図った。 今後も、館内での企画展等やレファレンスサービスの充実に努め、利用しやすい、親しみやすい環境づくりに努めていく。	文化課
				実績	17,972	17,568							

**第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32年） 平成29年度まちづくり指標実績
（第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標）**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					29年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
	23	市民への図書貸出冊数	冊	65,905	目標値	65,200	67,200	71,100	74,400	76,500	達成	101.1	利用者の声を反映させ、図書の選書の充実、使用しやすい配架、展示案内に配慮しながら広報等を活用して読書情報を提供し、読書推進に努めた。 今後も利用しやすい環境づくりに努める。	文化課
				実績	68,528	67,945								
	24	移動図書館車の貸出冊数	冊	11,526	目標値	11,200	11,300	11,300	11,400	11,400	達成	100.5	移動図書館車を利用されている方の声を伺いながら巡回場所、日程、回数のあり方に配慮し利用者の図書のリクエストに応じながら貸し出しの拡大を図った。 今後も、巡回場所、回数の利用状況を把握しながら、貸し出しの拡大及び読書の普及に努める。	文化課
				実績	11,899	11,355								
	25	学校図書館・児童館への貸出冊数	冊	20,930	目標値	20,900	21,100	21,200	21,400	21,500	達成	100.1	学校の図書室との連携を図りながら、図書の選書、読書ボランティアによる読み聞かせ活動の協力など読書活動の図書の充実を図った。 小中学校及び児童館への図書貸出を行うなど、読書推進を図ることが出来た。 今後も、連携しながら図書の充実、読書の推進に努める。 ・昨年度より200冊の増を配架 小学校 13,250冊 中学校 2,880冊 児童館 5,000冊	文化課
				実績	20,930	21,130								
	26	指定文化財説明板設置件数（累計）	基	88	目標値	90	91	92	93	94	達成	103.3	市指定文化財説明板新設1基（山谷観音堂）により目標を達成した。新たに写真を加え、解り易く劣化しにくい指定文化財説明板を設置し、市民の文化財に対する理解と保護啓発に努めた。 今後も、老朽化した標柱、説明板の更新を行うとともに、未設置となっている指定文化財の説明板を新設し、周知と啓発に努めていく。	文化課
				実績	93	94								
	27	民俗芸能の映像記録件数（累計）	件	22	目標値	24	25	26	27	28	達成	100.0	郷土芸能の保存継承のため、第25回遠野郷神楽共演会の映像記録を計画通り製作し目標を達成した。 これまでに記録した資料を適切に管理保存していくとともに、未記録の郷土芸能について映像記録製作を継続し保存継承に努めていく。	文化課
				実績	24	25								
	28	遠野遺産推薦件数	件	141	目標値	144	145	146	147	148	達成	103.4	推薦された新たな1件（山谷獅子踊り）を遠野遺産として認定し目標を達成した。 今後も、表示板の設置や公式ガイドブックの配布等により周知しながら、地区センターと連携した取組により新たな遺産の掘り起こしに努め、文化的資産の保護を通じて郷土愛の醸成と地域づくりを推進していく。	文化課
				実績	149	150								
	29	遠野遺産保護活用活動実施割合（実施団体数／認定件数）	%	—	目標値	60	60	60	60	60	達成	166.7	遠野遺産150件の推薦団体及び地区センターなどからの保護活動に関する情報の有無により、全ての遠野遺産で保護活動が行われ、認定後も地域の宝として保護されていると確認された。 今後も、保護活動を見守るとともに、地域学習などの活用に対し地域と連携して取り組んでいく。	文化課
				実績	100	100								
	30	遠野文化研究センター活動の参加者	人	768	目標値	400	400	400	400	400	達成	154.0	平成29年度は、遠野出身の台湾人類学者・伊能嘉矩の生誕150年を記念した各種イベントを開催した。遠野文化フォーラム「伊能嘉矩生誕150年」のほか、遠野市教育文化振興財団、遠野文化友の会、博物館と連携しながら開催し、報告書としてまとめた。このほか地区センターを会場にした講座（2回）を開催するなど幅を広げるとともに、金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」（11回）、遠野学会といった地道な学習活動を積み重ね目標を達成することができた。 今後も、遠野の文化を広く発信し、人材育成を図る。	文化課
				実績	827	616								

**第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32年） 平成29年度まちづくり指標実績
（第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標）**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					29年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
5 みんなで考え支え 合うまちづくり (13指標)	31	遠野文化研究センター活動の参加者満足度（11段階評価）	点	—	目標値	6	6	6	6	6	達成	150.0	遠野文化研究センター活動の実施毎に、顧客推奨度指標11段階評価のNPS（ネット・プロモーター・スコア）による参加者アンケートを実施した結果、平均値8.6点の高い評価を得た。これからも、市民のニーズを反映した参加者からの高い満足を得られる活動を展開し、郷土の文化を担う人材の育成に努める。	文化課
	32	遠野こだわりの「語り部」認定者数	人	710	目標値	800	850	900	950	1000	達成	103.3	平成29年度は昔話1人、子ども語り部36人、歴史1人、食1人、生業1人、特別サポーター1人の合計41人を認定し、目標を達成することができた。特に、子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。このほか、認定語り部のためのスキルアップセミナーや、初心者向けの昔話教室（3回）などを開催するなどして研修の機会と場を提供した。今後も、学校や地域団体などと連携しながら語り部の認定を行い、研修の機会と場を提供しながら、遠野の「語り」の文化を次代に継承していく。	文化課
	33	市史編さん事業進捗率（①市史編さん委員会開催、②資料収集・調査、③刊行のための実務作業、④教育普及・広報）	%	—	目標値	100	100	100	100	100	達成	100.0	「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら、遠野の歴史・文化を総合的にまとめるため市史編さんを行う。平成31年度「現代編」、平成38年度「通史編」、平成39年度「民俗編」の刊行を目指し、各年度の事業進捗率を①市史編さん委員会開催、②資料収集・調査、③刊行のための実務作業、④教育普及・広報の4項目をすべて実施した場合、100%（1項目25%）と設定した。 ①市史編さん委員会（2回）開催。現代編部会（2回）開催。 ②資料収集・調査（現代編担当調査研究員の会議及び資料収集10回、古文書担当調査研究員解読作業40回、遠野南部家資料調査2回、通史編に関する調査5回）実施。 ③刊行のための実務作業を実施。『遠野市史叢書』を発刊。 ④教育普及（市史編さん講座1回、古文書講座7回、古文書整理ボランティア活動12回）実施し、遠野広報や市ホームページで活動を周知した。 以上の4項目を実施したことで、平成29年度は事業進捗率100%を達成した。これからも、市民協働で市史編さん事業を着実に進めていく。	市史編さん室
34	各委員、協議会の女性参画率	%	27.0	目標値	27.6	28.2	28.8	29.4	30.0	達成	102.8	条例等で設置されている4つの審議会等において女性委員の登用人数が増えたことにより、女性委員登用率が高かったことで目標値を達成することができた。後期5か年中も女性参画率が伸びるよう女性委員の登用を呼び掛けるとともに、女性活躍に対する理解が進むよう「男女共同参画」の啓発に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
					実績	28.4	29.0							

平成29年度 主要な施策の成果説明
 (第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 55事務事業)

総務費	◆分庁舎等再整備事業費（東館庁舎分）	1
民生費	◆高齢者元気アップ活動事業費	2
	◆わらすっこプラン推進事業費	3
	◆看護保育安心サポート事業費	3
	◆わらすっこの育ち療育支援事業費	4
	◆わらすっこの居場所事業費	4
	◆児童扶養手当給付費	5
	◆保育所等運営事業費（保育所運営委託）	5
	◆保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	6
	◆子育て応援宣言のまち推進事業費	7
	◆とおのスタイル結婚応援事業費	8
	◆保育所施設整備事業費	9
	◆児童館施設整備事業費	9
	◆児童館施設整備事業費（緑越明許費）	10
衛生費	◆健康スポーツプログラム推進事業費	11
	◆子どもの体力づくりプログラム推進事業費	11
	◆ぱすぽる推進事業費	12
教育費	◆地域教育文化振興事業費	13
	◆外国語指導助手招へい事業費	14
	◆特色ある学校づくり事業費	14
	◆平成・南部藩寺子屋交流事業費	15
	◆特別支援教育推進事業費	15
	◆遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	16
	◆幼稚園応援事業費	17
	◆高校魅力化サポート事業費	18
	◆大府市児童交流事業費	19

◆学力向上対策事業費	20
◆特定教科集中対策事業費	21
◆育英事業費	22
◆通学対策費（小学校）	23
◆教材整備費（小学校）	23
◆就学援助費（小学校）	24
◆小学校大規模改造整備事業費	25
◆小学校プール整備事業費（繰越明許費）	26
◆通学対策費（中学校）	27
◆教材整備費（中学校）	27
◆就学援助費（中学校）	28
◆中学校屋内運動場整備事業費（繰越明許費）	29
◆学びのまちづくり推進事業費	30
◆若者と女性の活躍推進事業費	31
◆遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	32
◆遠野文化調査研究費	32
◆「遠野市史」編さん事業費	33
◆図書館費	34
◆博物館費	35
◆ブックスタート事業費	35
◆伊能嘉矩生誕150年記念事業費	36
◆文化財調査保護費	37
◆埋蔵文化財発掘調査費	38
◆遠野遺産認定事業費	39
◆重要文化財千葉家住宅整備事業費	40
◆歴史文化基本構想策定事業費	41
◆競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	42
◆スポーツ・ツーリズム推進事業費（繰越明許費）	43
◆学校給食事業費	44

※ 平成30年9月に遠野市長が遠野市議会に提出した「平成29年度
 主要な施策の成果説明書」のうち、第2期遠野市教育振興基本計画
 に登載している事業に関する部分を抜粋しています。

02款	総務費	01項	総務管理費	05目	財産管理費						
事業名					分庁舎等再整備事業費（東館庁舎分）	単位：円					
事業内容	<p>新たな組織再編及び新庁舎への組織集約化に伴い、子育て支援施策「わらすっこプラン」に基づき、1階の「わらすっこルーム」を拡張し、子育て支援の充実を図るとともに、空きスペースの活用及び事務室の配置の見直しを行い、施設内の供用部の刷新を図るためリニューアル整備を実施する。</p>			計	東館庁舎改修設計業務 東館庁舎改修工事 東館庁舎備品購入						
	成果	<p>少子化対策・子育て支援の充実を図るため「わらすっこルーム」の拡張工事と新たな遊具を配置し、「おやくつろぎスペース」は親子のくつろぎと保護者同士が交流できる居場所としてリニューアルした。 また、館内のLED化とトイレの洋式化、中会議室及び相談室の新設等、子育て支援の拠点施設として拡充を図った。 東館庁舎改修（建築・電気設備）工事のうち、33,200,000円を平成30年度に繰り越した。</p> <table border="0"> <tr> <td>東館庁舎改修設計業務委託料</td> <td>1,944,000円</td> </tr> <tr> <td>東館庁舎改修（建築）工事</td> <td>16,800,000円(前金払)</td> </tr> <tr> <td>東館庁舎備品購入費</td> <td>8,999,500円</td> </tr> </table>			東館庁舎改修設計業務委託料	1,944,000円	東館庁舎改修（建築）工事	16,800,000円(前金払)	東館庁舎備品購入費	8,999,500円	実績
東館庁舎改修設計業務委託料	1,944,000円										
東館庁舎改修（建築）工事	16,800,000円(前金払)										
東館庁舎備品購入費	8,999,500円										
予算額	決算額	財源内訳									
		国県支出金	地方債	その他	一般財源						
61,000,000	27,743,500	0	0	18,800,000	8,943,500						

03款	民生費	01項	社会福祉費	03目	老人福祉費																											
事業名					高齢者元気アップ活動事業費	単位：円																										
事業内容	<p>高齢者の健康保持増進と生きがいを高めるため、各種大会等の実施を支援する。</p>			計画値	各種スポーツ大会数 5回 各種スポーツ大会参加者数 1,500人 老人クラブ加入者数 2,570人																											
	<p>高齢者が生きがいを持ち健やかに生活できるよう、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を行った。 また、岩手県老人クラブ大会が本市で開催され、県内各地から多くの会員が集結。高齢者相互の連携を深める大会を成功させるための支援を行った。</p> <p>1 各種スポーツ大会等</p> <table border="0"> <tr><td>生き生き高齢者体力測定</td><td>55人</td></tr> <tr><td>ゲートボール・ペタンク大会</td><td>328人</td></tr> <tr><td>女性部グラウンドゴルフ大会</td><td>約130人</td></tr> <tr><td>さわやかスポーツ大会</td><td>約460人</td></tr> <tr><td>壮年部グラウンドゴルフ大会</td><td>196人</td></tr> <tr><td>いきいきシニアスポーツ大会</td><td>89人</td></tr> <tr><td>健康ウォーキング</td><td>77人</td></tr> <tr><td>シルバー室内競技大会</td><td>約400人</td></tr> </table> <p>2 その他事業</p> <table border="0"> <tr><td>岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)</td><td>約150人</td></tr> <tr><td>シルバー文化祭(舞台部門)</td><td>約350人</td></tr> <tr><td>リーダー研修会</td><td>約200人</td></tr> <tr><td>女性部事業</td><td>29人</td></tr> <tr><td>シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)</td><td>15人</td></tr> <tr><td>環境整備ボランティア</td><td>113人</td></tr> </table>				生き生き高齢者体力測定	55人	ゲートボール・ペタンク大会	328人	女性部グラウンドゴルフ大会	約130人	さわやかスポーツ大会	約460人	壮年部グラウンドゴルフ大会	196人	いきいきシニアスポーツ大会	89人	健康ウォーキング	77人	シルバー室内競技大会	約400人	岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)	約150人	シルバー文化祭(舞台部門)	約350人	リーダー研修会	約200人	女性部事業	29人	シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)	15人	環境整備ボランティア	113人
生き生き高齢者体力測定	55人																															
ゲートボール・ペタンク大会	328人																															
女性部グラウンドゴルフ大会	約130人																															
さわやかスポーツ大会	約460人																															
壮年部グラウンドゴルフ大会	196人																															
いきいきシニアスポーツ大会	89人																															
健康ウォーキング	77人																															
シルバー室内競技大会	約400人																															
岩手県老人クラブ大会(遠野市会場)	約150人																															
シルバー文化祭(舞台部門)	約350人																															
リーダー研修会	約200人																															
女性部事業	29人																															
シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)	15人																															
環境整備ボランティア	113人																															
成果																																
予算額	決算額	財源内訳																														
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																											
3,153,000	2,952,487	1,565,000	0	0	1,387,487																											

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこプラン推進事業費					単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、子どもだけでなく子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者等）も対象とした子育て支援事業を普及する。			計画値	1 条例・プラン事業の普及啓発 1事業
	1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業				2 わらすっこ支援委員会 3回 3 わらすっこ基金への寄附金 5件 500,000円
成果	1 わらすっこ条例応援事業者認定制度により、子育て支援を積極的に実施している事業者を新たに2事業者認定し、地域全体で子育てを応援する環境をさらに促進した。 また、毎月遠野テレビで「子育て情報ガイドわらすっこナビ！」を放送し、子育て支援関連事業を広く周知することができた。			実績値	1 わらすっこ条例応援認定事業者 2事業所
	2 わらすっこプラン関連事業や、わらすっこプラン事業の評価等を審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を3回開催した。 3 わらすっこ基金への寄附金9件1,974,300円、運用利子16,577円、ふるさと納税分（わらすっこプラン事業への寄附金のうち経費等を除いた分）1,056,000円を積み立てるとともに、子育て支援事業に活用した。				2 わらすっこ支援委員会 3回 3 わらすっこ基金への寄附金等 3,046,877円
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,948,000	3,826,590	0	0	3,250,877	575,713

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 看護保育安心サポート事業費					単位：円
事業内容	保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、病気の子ども（小学6年生まで）を一時的に保育する。			計画値	開設日数 240日 登録者数 200人 利用者数 500人
	核家族化や両親の共働き世帯が増えるなか、病気の子どもを保育する「わらっぺホーム」の需要は高く、登録者数は増加傾向にある。子育てと就労の両立を支援するための施設として、安心して子育てができる環境の維持に努めた。 【参考】 1 平成26年度（開設日数 242日） 登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人） 2 平成27年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者数延べ 591人（1日平均 2.45人） 3 平成28年度（開設日数 244日） 登録者数 237人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人）				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,517,000	12,662,576	5,822,000	0	1,208,000	5,632,576

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの育ち療育支援事業費					単位：円
事業内容	障がいのある児童や発達に遅れが生じるおそれがある児童等に対して、個別活動や集団活動を取り入れた療育支援教室を実施し、心身の発達を促すとともに、軽中等度の難聴児に対しては補聴器具の購入に伴う補助を行う。 また、就学している障がい児が日中一時支援事業を利用した際に伴う利用料の自己負担額分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、療育支援を図る。			計 画 値	療育支援教室 のびっこ教室 14人 ジャンプ教室 6人 幼児ことばの教室 11人 軽度・中等度難聴児補聴器 助成 2件
	成果	1 臨床心理士等による助言を基に、支援が必要な就学前の児童に対して療育支援教室を開催し、児童にあわせた個別活動等適正な指導により、心身の育成の助長を行った。 また、発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。 2 児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図るため、日中一時支援事業利用料の自己負担額の全額を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,753,000	7,137,193	0	0	0	7,137,193

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの居場所事業費					単位：円
事業内容	児童の放課後等の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用し学童保育を行うとともに、健全な遊びを通して児童の健康増進と豊かな情操を育む。 1 児童館指定管理委託 2 放課後児童健全育成業務委託（児童クラブ運営業務委託） 3 児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金			計 画 値	児童館 6カ所 児童クラブ 5カ所 利用延べ人数 135,300人
	成果	児童の放課後等の健全育成を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に管理運営を委託し、児童館や児童クラブの利用児童に対し、遊びを通して自主性や社会性、創造性を培う等、豊かな情操教育に努めた。 また、育成団体等に対し、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動の事業実施を支援した。 1 児童館指定管理料 74,084,000円 2 児童クラブ運営業務委託料 32,116,000円 3 児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金 3,110,000円 4 その他 25,520円			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
109,602,000	109,335,520	35,306,000	0	0	74,029,520

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 児童扶養手当給付費					単位：円
事業内容	児童扶養手当法に基づき、ひとり親家庭等の父または母等に児童扶養手当を支給することにより、生活の安定と自立促進を支援する。			計 画 値	新規申請者 35人 資格喪失者 25人 年間支給延べ人数 2,832人
	成果	ひとり親家庭等の保護者で、支給要件に該当する児童を養育している保護者に児童扶養手当を年3回（4月・8月・12月）支給した。 また、手当支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際に個別に相談に応じたほか、弁護士によるひとり親家庭相談会実施の周知等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進を支援した。			実 績 値
平成30年3月末現在受給資格者数 256人 うち 手当基本月額全部支給者 79人 " 一部支給者 132人 " 全部停止者 45人					
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
104,684,000	104,095,054	34,569,583	0	0	69,525,471

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 保育所等運営事業費（保育所運営委託）					単位：円
事業内容	ライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育所の利用を希望する子育て世代が増加していることから、保育の受け皿として市内12カ所の保育所の運営を委託し、2カ所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、児童の健全な育成を図る。			計 画 値	認可保育所定員 790人 認定こども園定員 223人 合計 1,013人
	成果	市内12カ所の保育所の運営を委託し、2カ所の認定こども園の運営費を負担することにより、安心して充実した子育て環境の提供を実現し、児童の健全な育成を推進した。 【年度末現在入所者数】 遠野 101人(91.8%)、神明 83人(92.2%)、綾織 47人(78.3%)、 岩滝 29人(72.5%)、附馬牛 37人(92.5%)、白岩 104人(94.5%)、 松崎 54人(90.0%)、土淵 64人(91.4%)、青笹 99人(99.0%)、 上郷 54人(108.0%)、宮守 60人(63.1%)、達首部 36人(90.0%)、 鱈沢 13人(65.0%)、聖光 96人(78.0%)、合計 877人(87.0%) 括弧内記載の割合は定員に対する充足率			実 績 値
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
966,648,000	964,658,397	551,918,622	0	100,993,670	311,746,105

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	単位：円
事業内容	<p>地域の実情や、子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」、「保育所地域活動事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所等の円滑な運営を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費を補助する。</p>			計 画 値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所 運営費補助 1件	
	成果	<p>1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施することにより、子育て環境の充実を図った。 (1) 特別保育事業（障害児保育事業、保育所地域活動事業、延長保育事業、一時預かり事業の利用者延べ人数829人） 7,999,360円 (2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ人数2,916人） 7,171,640円 (3) 平成28年度子ども・子育て支援交付金返還金 608,000円 2 社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費補助金を交付することで、保育所・認定こども園の円滑な運営を推進した。 (1) 社会福祉法人遠野市保育協会運営費補助金 35,153,000円</p>			実 績 値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所 運営費補助 1件
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
58,566,000	50,932,000	7,322,600	0	0	43,609,400	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 子育て応援宣言のまち推進事業費					単位：円
事業内容	<p>1 地域子育て応援推進事業 育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制を作る。</p> <p>2 子育て環境育成事業 遠野わらすっこプランに基づき、企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、施設の設置者の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の充実及び地域福祉の向上、保護者等の子育て支援を図る。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で支え合う共助により子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的として、遠野市わらすっこ基金を活用し助成金を交付する。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 市内に住所を有し、出生してから小学校就学前までの児童の親権を行う方、未成年後見人及びその他の方で、現に児童を監護し、かつ、扶養している方に対し、遠野市わらすっこ誕生応援事業実施要綱に基づき、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</p>			<p>1 年間依頼件数 30件</p> <p>2 企業内託児施設助成 1施設 子育て支援員研修受講者 25人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 5団体</p> <p>4 贈呈予定人数 180人</p>	
				計 画 値	
成果	<p>1 地域子育て応援推進事業 ファミリー・サポート・センターを開設し、育児を援助したい人（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）をマッチングし、相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。</p> <p>2 子育て環境育成事業 遠野わらすっこプランに基づき、企業内託児施設の運営を支援した。また、保育補助者などの子育て支援の担い手としての資質向上を図るため、子育て支援員研修を実施した。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、活動団体に対し助成金を交付した。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 主任児童委員との連携により、出生のお祝いとして木製写真立てを贈呈するとともに、1万円分のわらすっこ応援券を交付した。</p>			<p>1 おねがい会員（援助を依頼） 60人 まかせて会員（地域で援助） 49人 事前打合せ会 16件 援助活動 31件</p> <p>2 企業内託児施設助成 1施設 子育て支援員研修受講者 24人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 5団体</p> <p>4 贈呈人数 138人</p>	
				実 績 値	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,652,000	6,748,226	2,133,000	0	2,479,000	2,136,226

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					とおのスタイル結婚応援事業費	単位：円
事業内容	<p>少子化対策事業の一環として、「人材育成とネットワーク作り」及び「出会いの場の創出」という二つの目的を掲げ、独身者の交流を図る。市内各地区センター、事業所から市が開催する企画スキル向上研修会に人材を派遣し、婚活事業主催者としての人材の育成を図る。また、自己演出力アップセミナーを開催し、独身者の婚活力アップの向上を目指す。</p>			計 画 値	<p>人材育成セミナー開催 6回 婚活イベント開催 3回</p>	
	成果	<p>婚活企画スキル向上研修及び自己演出力セミナーを開催することにより、出会いの場をマネジメントする能力の向上と、独身者の自己演出力、婚活力の向上を図った。また婚活イベントを開催し、出会いの場の創出と機運の醸成を図った。</p> <p>婚活企画スキル向上研修 2回開催 21人参加 自己演出力アップセミナー（男性向け）2回開催 14人参加 自己演出力アップセミナー（女性向け）2回開催 12人参加 婚活イベント「とおの縁結び」 5回開催 88人参加</p>			実 績 値	<p>人材育成セミナー開催 6回 婚活イベント開催 5回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,338,000	1,218,016	325,000	0	0	893,016	

03款 民生費		02項 児童福祉費		04目 児童福祉施設費		
事業名 保育所施設整備事業費					単位：円	
事業内容	老朽化が進む附馬牛保育園を改築整備する社会福祉法人遠野市保育協会に対し、改築整備に要する費用を補助することにより、児童福祉施設の環境整備を図る。			計画値	附馬牛保育園改築 1棟	
	成果	青笹町に次いで2例目となる児童館との合築方式を採用。子ども達が安全で健やかに生活できる保育環境を整備するため、改築事業を行った社会福祉法人遠野市保育協会に対して補助金を交付し、児童福祉の向上を図った。 附馬牛保育園改築整備事業費補助金 82,024,000円			実績値	附馬牛保育園改築 1棟 建物延面積 360.40㎡
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
82,024,000	82,024,000	54,683,000	27,300,000	0	41,000	

03款 民生費		02項 児童福祉費		04目 児童福祉施設費		
事業名 児童館施設整備事業費					単位：円	
事業内容	附馬牛保育園改築整備に併せ附馬牛児童館を新設することにより、子どもの放課後等の居場所をつくり健全な遊びを与える子育て環境の充実を図る。			計画値	附馬牛児童館新築 1棟	
	成果	附馬牛保育園の改築整備に併せ、青笹町に次ぐ市内2例目となる保育園との合築方式を採用。放課後や長期休業時に児童の健全な遊び等を育む附馬牛町の「子育て支援の中核施設」として、一体的に整備した。 附馬牛児童館新築工事 72,896,760円 工事監理業務委託料 3,785,040円 備品購入費 1,677,780円 その他 340,232円			実績値	附馬牛児童館新築 1棟 建物延面積 260.85㎡
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
79,158,000	78,699,812	33,238,000	36,400,000	0	9,061,812	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					健康スポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	健康づくり教室を「とすば」として本校（市民センター）、サテライト校（地区センター）で開催し、運動するきっかけや機会を提供するとともに、健康づくりへの取り組み意識の啓発と普及を図る。			計画値	健康づくり教室「とすば」 参加人数 2,100人	
	成果	従来どおり健康教室を実施したものの、各地区で実施しているサテライト校は、参加者、回数ともに、前年度より減少した。 市民が体力や年齢、目的等に応じて、いつでも、どこでもいつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備に努める。			実績値	健康づくり教室「とすば」 本校 1,996人/112回 サテライト校 743人/57回 とすば大学祭 230人/1回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,561,000	2,802,561	0	0	964,600	1,837,961	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					子どもの体力づくりプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	園児・児童の運動能力や体力の向上を図ることを目的に、保育園、小学校等で開催する教室に講師を派遣する。 1 児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング 2 園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊			計画値	児童運動能力アップトレーニング参加者数 1,200人 キッズ元気アップ教室参加者数 1,550人	
	成果	園児・児童の運動能力や体力の向上を図ることを目的に、保育園、小学校等で開催する教室に講師を派遣した。 1 児童を対象とした児童運動能力アップトレーニング 水泳教室27回、スケート教室5回、陸上1回をそれぞれ実施した。学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実、競い合う楽しさや運動意欲の高揚に繋がった。 2 園児を対象としたキッズ元気アップ応援隊 幼児期における運動機会を提供するため、市内14保育園等で教室を実施した。 運動意欲の高揚や運動の習慣化による体力の向上に寄与した。			実績値	児童運動能力アップトレーニング参加者数 市内9校1,388人/34回 キッズ元気アップ教室参加者数 市内14保育園等 1,301人/70教室
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
895,000	767,918	0	0	0	767,918	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費															
事業名					ぱすばる推進事業費	単位：円														
事業内容	<p>子どもたちが明るく充実した生活を送るためには「食」が基本であることの認識に立ち、生涯にわたり健全な食生活が実践できるよう「食育5つの力」を支援する。</p> <p>また、食育推進の共同体である健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の資質向上を図り、組織活動を支援する。</p> <p>第2次遠野市食育推進計画とおのっこプラン推進のため設置の「遠野市食育推進ネットワーク会議」の事務局として活動を支援する。</p> <p>食育5つの力... 食べ物の味がわかる力 食べ物のいのちを感じる力 食べ物を選ぶ力 元気な体がわかる力 料理ができる力</p>			計画値	<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生 20回 200人 中学生 4回 200人 高校生 2回 30人 青年・親子 3回 60人 中中年 60回 1200人 高校生健康づくり講演会 1回 200人</p> <p>市民向け食育イベント ぱすばる食育まつり 1回 200人</p> <p>食生活改善推進員の育成 研修会 20回 200人</p> <p>関係団体の連携 食育推進ネットワーク 会議 3回</p> <p>朝食をとる子供の割合 平成29年度目標：95.0% （小・中対象）</p>															
	成果	<p>1 ライフステージに合わせ調理実習を含む食育講座や講演会を開催 <小・中学生対象> ちびっこ栄養教室、親子の食育講座を通して、料理ができる力、食べ物を選ぶ力、中学生は食文化を学ぶ機会となった。</p> <p><高校生対象> 講演会や食育講座を通して、食生活の基礎づくりの支援となった。</p> <p><成人・高齢者対象> 減塩バランス食等の食育講座を通して、食生活を見直す機会となった。</p> <p>2 市民向け食育イベントを開催 食育推進ネットワーク会議と共催で「ぱすばる食育まつり」を開催し、食を通じた健康づくりへの関心を高めると共に、食育の拠点である「総合食育センターぱすばる」の活用が図られた。</p> <p>3 食生活改善推進員の組織育成支援 食生活改善推進員対象の研修会を実施し、活動に必要な知識や技術向上のための支援を行い、減塩弁当コンテストや脳卒中予防劇コンクールにおける入賞は、推進員の目的意識の向上につながった。</p> <p>4 遠野市食育推進ネットワーク会議の活動支援 ネットワーク構成団体や関係機関の情報共有と連携により共同事業の展開と食育活動の充実につながった。</p>			実績値	<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生 17回 247人 中学生 13回 621人 高校生 2回 24人 青年・親子 4回 78人 中中年 72回 1175人 高校生健康づくり講演会 2回 99人</p> <p>市民向け食育イベント ぱすばる食育まつり 1回 350人</p> <p>食生活改善推進員の育成 研修会 34回 478人</p> <p>関係団体の連携 食育推進ネットワーク 会議 3回</p> <p>朝食をとる子供の割合 平成29年度実績：95.1% （小・中対象） 内訳：小96.1、中92.4</p>														
予	算	額	決	算		額	財	源	内	訳										
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		1,565,000			1,329,099			0					0		18,000					1,311,099

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円
事業内容	子どもたちの学習環境の充実と家庭教育の向上を目的に、保護者、児童生徒、地域関係者等を対象に、地域課題に応じた家庭教育についての講演会や研修会等を開催し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上に取り組む。			計画値	家庭教育に係る学習講座 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,000人 家庭教育講演会 1回	
	成果	1 全ての市立小・中学校(14校)で家庭教育ゼミナールを開催した。子ども保護者・教職員・地域関係者の課題に応じて、情報モラルや生活習慣の改善等に関する講演を開催し、学校・家庭・地域が連携して、家庭・地域の教育力の向上と子どもの健やかな成長を促す環境づくりに向け取り組みを進めた。 2 学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と遠野みらい創りカレッジから事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。外部講師による「自分の夢の見つけ方」についての講演と小学校及び中学校で実施している取組事例の発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。			実績値	家庭教育に係る学習講座 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,192人 家庭教育講演会 1回
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
181,000	106,650	105,000	0	0	1,650	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		外国語指導助手招へい事業費				単位：円		
事業内容	<p>グローバル化が進む中、国際社会に対応することができる英語教育が求められている。</p> <p>英語教育は、小学校では英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験しながら、コミュニケーション能力の素地を養うこと、中学校では身近な事柄を中心とした、コミュニケーションを図ることが目標となっている。これらの目標達成に向け、教員の確保や、指導力の向上だけでは十分対応することができない部分に外部人材を活用し、英語教育の充実に資する。一般財団法人遠野市教育文化振興財団の国際化推進支援員に、外国語指導助手（ALT）として、市内小学校での活動への協力をいただく。</p>			計画値	派遣学校数	14校	派遣回数	250回
	成果	<p>児童生徒がALTの生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。</p> <p>一般財団法人遠野市教育文化振興財団の協力により、一部の小学校において、例年より多くALTとコミュニケーションをとる授業を実施することができ、児童の「外国語・英語」へのバリアの低減につながった。</p>			実績値	派遣学校数	14校	派遣回数
				内訳：小学校		110回	中学校	138回
予算額	決算額	財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源			
5,184,000	5,145,120	0	0	0	5,145,120			

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特色ある学校づくり事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。</p> <p>児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、各小中学校それぞれで企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして農業体験、伝統芸能の継承などの地域理解学習に取り組む。</p>			計画値	実施学校数	14校	
	成果	<p>全ての小・中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開し、多くの学校で郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。</p> <p>地域住民が講師となって授業が実施されることによって、遠野に伝わる伝統や文化に触れることにとどまらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となった。</p> <p>なお、インフルエンザの流行により、計画どおりに授業を実施することができない学校が一部あった。</p>			実績値	実施学校数	14校
予算額		決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,400,000	1,250,495	0	0	0	1,250,495		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		平成・南部藩寺子屋交流事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する。 根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じてコミュニケーション能力や、リーダーシップを高めるとともに、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野」の歴史や自然のよさについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を目指す。 楽しいだけの交流で終わることなく、交流を通して学んだことを、今後の学校生活で発揮することができる交流内容とする。</p>			計画値	参加児童 26人		
	成果	<p>小学校11校の代表児童が一同に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしてのあり方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自ら振り返り、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。 特に、両市の児童と一緒に交流する内容としたことで、児童同士が活発な交流を行うことができた。 1 受入交流 7月26日から7月28日まで 八戸市児童42人が来遠 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで 遠野市児童26人が八戸市を訪問</p>			実績値	参加児童 26人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
665,000	624,400	0	0	0	624,400		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特別支援教育推進事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小・中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。 市内小中学校に在籍する外国人児童生徒への個別の日本語指導を行うための日本語指導講師を配置する。</p>			計画値	特別支援教育支援員の配置 19人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人		
	成果	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置数 小学校11校(17人)、中学校2校(2人)】 2 学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童5人がことばの教室を退級することができた。 【巡回指導実施数 5校、13人】 3 外国人児童生徒が在籍する小中学校に、日本語指導講師を配置し、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。 【配置数 小学校1校(1人)、中学校1校(1人)】</p>			実績値	特別支援教育支援員の配置 19人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
21,755,000	20,908,346	0	0	0	20,908,346		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいる『こころのプロジェクト「夢の教室」』を活用し、現役スポーツ選手やそのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p>			計 画 値	実施校数	9校
					実施回数	8回
成果	<p>各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。 児童たちは、コミュニケーションゲームを通じて、ルールを守ることや協力しあうことの大切さに気付いたほか、夢先生の体験に基づいた話に聞き入り、感動する姿が見られた。 【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土淵小学校、達曽部小学校、上郷小学校、綾織小学校、小友小学校及び鱒沢小学校（合同開催）（5・6年生） ・ 宮守小学校、青笹小学校（5年生） ・ 附馬牛小学校（4・5・6年生） 			実 績 値	実施校数	9校
					実施回数	8回
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,150,000	1,150,000	0	0	1,000,000	150,000	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					幼稚園応援事業費	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、施設の運営経費に対し補助金を交付し、幼児教育の振興を図る。			計画値	助成対象私立幼稚園園児数 1園 55人	
	成果	1 私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等に対して補助金を交付し、幼稚園の円滑な運営を支援した。 2 私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて就園費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。 3 私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から上記2の補助金額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に通園させる保護者間との経済的負担の均衡化を図った。			実績値	1 補助対象幼稚園 1園 2 補助対象園児数 (幼稚園就園奨励費)50人 3 補助対象園児数 (幼稚園保育料助成)42人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,393,000	8,762,400	2,476,000	0	0	6,286,400	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費
事業名					単位：円
高校魅力化サポート事業費					
事業内容	<p>「新たな県立高校再編計画」（平成28年3月岩手県教育委員会策定）の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高校と遠野緑峰高校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的とした「高校魅力化アクションプラン」（平成29年3月策定）に基づき、両校の特徴的な取り組みに対する各種支援策を継続するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等にさらに広く周知することにより、入学者数の増加につなげる。</p>			計画値	平成30年度の遠野緑峰高校 情報処理科への入学者数 20人以上 (高校魅力化アクションプラン目標値)
	<p>以下の取り組みを実施し、平成30年度の両校の入学者の増加につなげることができた。</p> <p>1 高校魅力化推進事業費補助金 両校の教育振興会の活動を支援した。 遠野高校教育振興会 882,000円 ・ 地域学習「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援 ・ 学校紹介パンフレット作成 ・ ホームページのスマートフォン対応 遠野緑峰高校教育振興会 1,837,000円 ・ スマートフォンを活用した授業カリキュラムへの支援 ・ 各種資格取得支援に係る検定料の補助 ・ 農業クラブ活動（全国大会出場など）への支援 ・ 学校紹介パンフレット作成 ・ ホームページのスマートフォン対応</p> <p>2 一日体験入学への支援（中学生送迎バス特別運行） 3 緑峰高校馬事研究会の活動支援（遠野市畜産振興公社への業務委託） 4 魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 5 文化祭の周知支援（新聞折込チラシ、ケーブルテレビで紹介） 6 両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の運営管理業務委託 7 小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施</p>				実績値
予	算	額	決	算	額
				財源内訳	
				国県支出金	地方債
				その他	一般財源
8,133,000		7,075,078		0	0
				0	7,075,078

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名 大府市児童交流事業費						単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 愛知県大府市の児童交流受け入れ10周年を記念して、「大府市児童交流10周年記念事業実行委員会」を組織し、市内小学校の児童23人を大府市に派遣して、大府市と遠野市の交流の経緯（防災協定等）について学ぶとともに、大府市の児童との交流を図る。			計画値	派遣児童数 23人	
	1月11日から13日までの2泊3日で、児童23人、引率者5人が大府市を訪問し、大府市立神田小学校の児童と交流活動等を行った。 交流活動では、参加児童自らが考えたクイズ等で遠野市の食文化や観光地などを紹介するなど、活発な交流が行われた。 また、交流事業の実施後には、参加児童の感想文等を掲載した文集を作成し、事業の記録として参加者及び関係機関に配付した。				実績値	派遣児童数 23人
成果						
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,884,000	1,699,900	0	0	0	1,699,900	

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費																	
事業名					学力向上対策事業費	単位：円																
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。 市内小中学生を対象に、標準学力検査（NRT）（小2～中3）及び知能検査（小2・4・6、中2）を実施し、その結果をもとに、各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校に還元する。 教育課程に関する実践研究を行い、その成果を学校公開の場で発表し、市内小中学校に還元する。</p>			計画	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回 教育相談員の配置 4人 教育研究発表会等の開催 2回 学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>																	
	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小・中学校の連携により授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。 この取り組みは、平成29年度で5年目を迎えることから、その成果について検証を行い、今後の授業のあり方として「遠野市授業づくりスタンダード」を作成し、小・中学校の全教員で情報共有を図った。 また、先進地である秋田県横手市の小・中学校の授業の様子を視察したほか、八戸市で開催された「主体的かつ対話的な深い学び」についての講演会を聴講するなど、授業の質の向上につなげた。 遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p>					実績	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回 教育相談員の配置 4人 教育研究発表会等の開催 2回 学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>															
成果	予	算	額	決	算			額	財 源 内 訳													
							国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源	
			19,299,000			18,121,971				0				0			0					18,121,971

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名					単位：円
特定教科集中対策事業費					
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内中学校に特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科（数学）について、教科担当教諭と協力してチームティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上をめざす。 中学3年生に対し、日本英語検定協会が実施する「実用英語検定」の受験料を全額補助し、目標を持って英語の学習に取り組む環境を構築するほか、英検対策講座の実施を通じて、英語の学習支援を行う。</p>			計 画 値	特定教科学習支援員の配置 3人 実用英語検定受検者 200人
	<p>特定教科学習支援員を各中学校に1人配置し、数学の授業においてチームティーチングを行うことで、生徒一人ひとりの理解度に応じた指導が実践された。 実用英語検定の受験費用を全額補助することで、多くの中学3年生が英検に取り組むことができた。また、休日の開催であるにもかかわらず、多くの生徒が対策講座に参加し、英語の学習に取り組んだ。</p>				特定教科学習支援員の配置 3人 実用英語検定受検者 186人
成果				実 績 値	
予	算	額	決	算	額
				財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
				そ の 他	一 般 財 源
4,642,000		4,270,384		0	0
				0	4,270,384

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対し学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>平成20年度から、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計 画 値	新規奨学生採用数	35人
					うち大学生等	30人
				うち高校生	5人	
成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに23人の奨学生を決定し、継続奨学生55人と合わせて78人に奨学金を貸与した。</p> <p>なお、年度当初に大学生等1人から自己都合による貸与辞退の申出があった。</p> <p>また、平成30年3月末で、継続奨学生のうち26人が貸与期間を満了した。</p> <p>【貸付状況】</p> <p>新規奨学生 9,820,000円</p> <p>継続奨学生 25,320,000円</p> <p>計 35,140,000円</p>			実 績 値	新規奨学生採用数	23人
					うち大学生等	20人
				うち高校生	3人	
				継続奨学生数	55人	
				うち大学生等	52人	
				うち高校生	3人	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
35,433,000	35,196,775	0	0	35,196,775	0	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達首部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバス等を運行する。 ・路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付する。 ・上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象にタクシーを運行する。 ・遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に通学費を助成する。 ・教育課程における児童の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。 			計画値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人</p>	
	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>また、遠距離通学児童のうちスクールバス等の利用対象とならない児童に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p>				実績値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給児童数 22人</p> <p>スクールバス特別運行 許可件数 263件</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,611,000	18,949,398	0	0	0	18,949,398	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を整備する。</p>			計画値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校</p>	
	<p>教育活動に必要なとなる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <p>また、理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・算数教材備品の整備内容】</p> <p>遠野北小学校：顕微鏡、理科実験用IHコンロ 等</p> <p>綾織小学校：顕微鏡、筆算練習用シート 等</p> <p>小友小学校：デジタル気体採取器、デジタル電流計、デジタル電圧計 等</p> <p>附馬牛小学校：顕微鏡、はかり説明マグネットシート 等</p>				実績値	<p>教材備品購入数 69品目 図書購入冊数 1,214冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校 購入数 20品目</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,546,000	13,458,752	488,000	0	0	12,970,752	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																			
事業名					就学援助費	単位：円																		
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、経済的理由を有する平成30年度新入学予定児童の保護者に対して、申請に基づき、新入学学用品費の入学前支給を行う。</p>			計画値	支給対象見込在学児童数 130人 新入学学用品費 入学前支給対象見込児童数 37人																			
	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童6人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <p>【支給項目及び支給対象在学児童数の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(140人)</td> <td>1,542,650円</td> <td>通学用品費(115人)</td> <td>247,715円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(140人)</td> <td>289,114円</td> <td>新入学用品費(23人)</td> <td>933,800円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(25人)</td> <td>686,504円</td> <td>通学費(1人)</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費(96人)</td> <td>312,960円</td> <td>学校病医療費(40人)</td> <td>375,060円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費(25人)</td> <td>27,090円</td> <td>学校給食費(139人)</td> <td>5,713,409円</td> </tr> </table> <p>また、経済的理由を有する新入学予定児童の保護者に対して、新入学学用品費(28人分、計1,136,800円)の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p>				学用品費(140人)	1,542,650円	通学用品費(115人)	247,715円	校外活動費(140人)	289,114円	新入学用品費(23人)	933,800円	修学旅行費(25人)	686,504円	通学費(1人)	8,000円	PTA会費(96人)	312,960円	学校病医療費(40人)	375,060円	学校病医療通院費(25人)	27,090円	学校給食費(139人)	5,713,409円
学用品費(140人)	1,542,650円	通学用品費(115人)	247,715円																					
校外活動費(140人)	289,114円	新入学用品費(23人)	933,800円																					
修学旅行費(25人)	686,504円	通学費(1人)	8,000円																					
PTA会費(96人)	312,960円	学校病医療費(40人)	375,060円																					
学校病医療通院費(25人)	27,090円	学校給食費(139人)	5,713,409円																					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳															
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源				
11,747,000			11,273,102			531,418			0				0						10,741,684					

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校大規模改造整備事業費	単位：円
事業内容	土淵小学校校舎は、昭和53年3月の建築後、39年余りが経過し老朽化が進んでいることから、経年劣化に伴う内外部の改修のほか、電気及び機械設備の改修工事を行う。			計画値	土淵小学校 校舎大規模改造設計業務委託 校舎大規模改造工事 工事監理業務委託	
	成果	学校等の意見を可能な限り取り入れ、不具合を解消する設計とした。平成30年3月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費148,044,000円を平成30年度に繰り越した。			実績値	土淵小学校 校舎大規模改造設計業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
111,084,000	14,040,000	0	14,000,000	0	40,000	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校プール整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し、児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業を平成29年度に繰り越した。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>工期 平成29年5月8日から平成29年9月29日まで</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール改築（25m×5コース＋低学年用浅底） ・附属建物（更衣室、トイレ、機械室及び用具庫） ・その他温水シャワー、足洗い槽、水飲み流し ・既存ろ過機を再使用 			計画値	宮守小学校 プール建築工事 工事監理業務委託	
	成果	<p>プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。施工場所は、地盤が脆弱なため、地盤改良を実施した。プール本体はステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕がしやすいピット型を採用した。また、旧プール跡地は、地下水が湧く箇所を地盤改良し駐車場とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成年月日 平成29年9月29日 ・建築工事 74,520,000円 ・機械設備工事 15,012,000円 ・駐車場地盤改良工事 723,600円 ・工事監理業務委託 1,944,000円 ・建築確認申請、完了検査申請手数料 32,000円 			実績値	宮守小学校 プール改築工事 工事監理業務委託
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
92,255,000	92,231,600	26,579,000	54,600,000	0	11,052,600	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から遠野中学校に通学する綾織小学区及び附馬牛小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 ・遠距離から遠野東中学校に通学する土淵小学区及び上郷小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 ・遠距離から遠野西中学校に通学する小友小学区、達首部小学区及び鱒沢小学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 ・遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に通学費を助成する。 ・教育課程における生徒の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。 			計 画 値	<p>スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人</p>	
	成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。</p> <p>また、遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対して遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p>			実 績 値	<p>スクールバス等の運行 （遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台）</p> <p>遠距離通学費補助金 支給生徒数 1人</p> <p>スクールバス特別運行 許可件数 204件</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
49,138,000	48,546,846	0	0	0	48,546,846	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、実験、観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科・数学教材備品整備 3校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要となる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる充実を図った。</p> <p>また、理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・数学教材備品の整備内容】 遠野中学校：電気回路実験器、電子てんびん 等 遠野東中学校：光学台、標準化石標本 等 遠野西中学校：顕微鏡、立体模型展開装置 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 14品目 図書購入冊数 661冊 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科・数学教材備品整備 3校 購入数 15品目</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
8,430,000	8,348,094	510,000	0	0	7,838,094	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費																								
事業名					就学援助費	単位：円																							
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、経済的理由を有する平成30年度新入学予定生徒の保護者に対して、申請に基づき、新入学学用品費の入学前支給を行う。</p>			計画値	支給対象見込在学生徒数 115人																								
					新入学学用品費 入学前支給対象見込生徒数 26人																								
成果	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付された。</p> <p>【支給項目及び支給対象在学生徒数の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(111人)</td> <td>2,375,220円</td> <td>通学用品費(77人)</td> <td>164,462円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(111人)</td> <td>276,126円</td> <td>新入学用品費(34人)</td> <td>1,611,600円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(32人)</td> <td>2,250,176円</td> <td>クラブ活動費(109人)</td> <td>2,222,688円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費(109人)</td> <td>233,000円</td> <td>PTA会費(95人)</td> <td>246,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(16人)</td> <td>148,390円</td> <td>学校病医療通院費(1人)</td> <td>1,110円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(110人)</td> <td>5,375,006円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>また、経済的理由を有する新入学予定生徒の保護者に対して、新入学学用品費(20人分、計948,000円)の入学前支給を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p>			学用品費(111人)	2,375,220円	通学用品費(77人)	164,462円	校外活動費(111人)	276,126円	新入学用品費(34人)	1,611,600円	修学旅行費(32人)	2,250,176円	クラブ活動費(109人)	2,222,688円	生徒会費(109人)	233,000円	PTA会費(95人)	246,000円	学校病医療費(16人)	148,390円	学校病医療通院費(1人)	1,110円	学校給食費(110人)	5,375,006円			実績値	支給対象在学生徒数 117人
	学用品費(111人)	2,375,220円	通学用品費(77人)	164,462円																									
校外活動費(111人)	276,126円	新入学用品費(34人)	1,611,600円																										
修学旅行費(32人)	2,250,176円	クラブ活動費(109人)	2,222,688円																										
生徒会費(109人)	233,000円	PTA会費(95人)	246,000円																										
学校病医療費(16人)	148,390円	学校病医療通院費(1人)	1,110円																										
学校給食費(110人)	5,375,006円																												
			新入学学用品費 入学前支給対象生徒数 20人																										
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳																				
						国	県	支	出																				
						金	地	方	債																				
								そ	の																				
								他	一																				
									般																				
									財																				
									源																				
16,772,000	15,851,778	542,413	0	0	15,309,365																								

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					中学校屋内運動場整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年に青笹中学校屋内運動場として建築され、28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図る。</p> <p>平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから事業を平成29年度に繰り越した。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>工期 平成29年7月26日から平成30年1月26日まで</p> <p>工事内容 屋根の塗装、内外壁の補修、アリーナ床改修、トイレ改修、照明器具のLED化、設備機器の更新等</p>			計画値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託	
	成果	<p>屋内運動場大規模改造工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。</p> <p>既存施設のさらなる利活用を図るため、内部仕上げを吸音化したほか、アリーナ床面の改修・競技ラインの再設置、照明器具のLED化を行った。</p> <p>また、トイレについては全面改修を行った。</p>			実績値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託 延べ床面積 914.00㎡
予算額	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
73,482,000	73,155,960	23,977,000	48,600,000	0	578,960	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					学びのまちづくり推進事業費	単位：円
事業内容	市民に学びの機会を提供する等、生涯学習の充実を図る。 1 生涯学習講座の一部や芸術振興に係る事業を業務委託し、民間活力を活かした事業推進を図る。 2 地区センターを地域の社会教育の拠点として、各種講座を開催する。 3 国際交流の推進を図る。				継続的な講座数 5講座 生涯学習講座の受講者数 4,800人	
					計画値	
成果	1 生涯学習講座、芸術振興事業に関する事業を外部委託し、民間活力を活かしながら、市民の学びに関する事業を推進した。 (1) 生涯学習講座 国際理解・協力講座、IT講座、郷土理解講座等 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 囲碁・将棋教室 (2) 芸術振興事業 「コロッセオとスペシャルステージ」の開催 青少年劇場の開催 遠野市民センターバレエスタジオ 第40回発表会の開催、各種イベントへの出演 遠野少年少女合唱隊 第28回発表会の開催、各種イベントへの出演 2 各地区センターにおいては、ちぎり絵や手芸講座など地域のニーズに応えた各種講座を開催し、生涯学習の推進を図った。 3 本市にとって2つ目の姉妹都市として、アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市と締結する等、国際交流の推進を図った。				継続的な講座数 10講座 生涯学習講座の受講者数 4,284人	
					実績値	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
56,730,000	56,121,395	0	0	24,023,000	32,098,395	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					若者と女性の活躍推進事業費	単位：円														
事業内容	1 青少年育成団体等に対する活動を支援する。 (1) 成人式実行委員会 (2) 遠野わらすっこまつり実行委員会 (3) 遠野市青年団体協議会 2 女性団体への活動支援を行う。 (1) 遠野市地域婦人団体協議会				成人式対象者 市内 200人 市外 50人 計 250人 遠野わらすっこまつりの開催 補助金交付団体 3団体	計 画 値														
	成果	1 青少年育成団体の活動支援 (1)成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。 (2)遠野わらすっこまつり実行委員会 遠野市保育協会をはじめとする関係団体と実行委員会を立ち上げたが、まつり当日は雨天のため中止となった。 (3)遠野市青年団体協議会 遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、スポーツ事業や出会い創出事業への取り組みを支援した。 2 女性団体の活動支援 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体である遠野市地域婦人団体協議会に対し補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 また、岩手県地域婦人大会遠野大会が行われ、女性同士の交流、研修を目的とした県大会を成功させるための支援を行った。				1 新成人参加者 230人 2 補助金交付団体 3団体	実 績 値													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		1,890,000			1,151,113			0					0			240,000				911,113

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数（累計） 850人	
	成果	平成29年度の認定者数41人（昔話1人、子ども語り部36人、歴史1人、食1人、生業1人、特別サポーター1人）で、累計者数は878人となった。語り部スクーリングを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。さらに、初心者向けの昔話教室や食、歴史、郷土芸能の語り部の研修を開催するなどして、認定者のフォローアップにも努めた。また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して語りを披露するなど、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。			実績値	語り部認定者数（累計） 878人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,560,000	1,454,669	0	0	110,000	1,344,669	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。また、出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行う。			計画値	遠野文化研究センター活動の参加者数 400人 活動毎の参加者アンケート 平均6点以上(11段階中)	
	成果	遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。 1 遠野文化フォーラムの開催 平成29年8月20・21日(日・月) 内容：遠野文化賞・佐々木喜善賞の表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表 講演・シンポジウム「伊能嘉矩生誕150年～郷土研究と台湾研究の生涯をめぐって」 参加者：340人 2 市民講座(伊能嘉矩生誕150年記念講座、土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など)、開催数：17回、総参加者：276人 3 出版事業 遠野学叢書：(『伊能嘉矩-生誕150年記念講義録-』300部、『遠野夜話』300部、『遠野の河童』300部)、遠野文化フォーラム報告書：300部			実績値	遠野文化研究センター活動の参加者数 616人 活動毎の参加者アンケート 平均8.6点(11段階中)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,539,000	13,834,466	0	0	2,881,474	10,952,992	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名 「遠野市史」編さん事業費					単位：円	
事業内容	<p>『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p> <p>平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 平成28～38年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。 遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」は随時刊行する予定。</p>			計画値	<p>各年度の事業進捗率100%</p> <p>下記4項目*（1項目25%）すべてを実施した場合100%と設定</p> <p>* 市史編さん委員会開催 資料収集、調査 刊行のための実務作業 教育普及・広報</p>	
	<p>市史編さん委員会を開催し事業計画の審議等を行うとともに、現代編部会を設置し、現代編刊行に向けた具体的な協議を行った。</p> <p>また、調査研究員により資料収集や古文書解読作業を進め、『遠野市史叢書』を発刊した。</p> <p>人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <p>1 遠野市史編さん委員会 2回開催 2 遠野市史現代編部会 2回開催 3 調査研究員活動 (1) 現代編担当 会議及び資料収集 10回 (2) 古文書担当 遠野南部家所蔵『御用留書』の解読及び『遠野市史叢書』としての刊本化作業 40回</p> <p>4 資料調査 (1) 遠野南部家資料調査 2回 (2) 通史編に関する調査 5回</p> <p>5 人材育成 (1) 市史編さん講座 開催日：9/10 参加者：64人 (2) 古文書講座 (午前の部) 開催日：7/20、7/27、8/3、8/10 参加者：延べ29人 (夜の部) 開催日：11/15、11/22、11/29 参加者：延べ31人 (3) 古文書整理ボランティア活動 登録者15人、活動回数12回</p> <p>6 広報活動 市広報、ホームページ等</p>				実績値	<p>市史編さん委員会開催 資料収集、調査実施 刊行のための実務作業実施 教育普及・広報活動実施</p> <p>事業進捗率 100%</p>
予算額	決算額	財源内訳				
3,707,000	3,518,564	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	1,300,000	2,218,564	

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					図書館費	単位：円														
事業内容	<p>読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進する。図書館総合情報システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図る。利用促進につなげるため、広報誌、ホームページ等の情報発信に努める。学校図書館、読書ボランティアとの情報共有をはかるとともに、学校図書館、児童館、福祉施設等の連携を行い貸出につとめ配架図書の実をを図る。移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。</p> <p>まちなか図書館を活用して市民が読書に親しめる環境づくりに努める。</p>			計画値	<p>図書館の利用者数 16,000人</p> <p>市民への図書貸出冊数 67,200冊</p> <p>移動図書館車の貸出冊数 11,300冊</p> <p>学校図書館への貸出冊数 21,100冊</p>															
	<p>図書の貸出や図書館教室、企画展の開催などを通じて、子どもたちが本に親しむ読書環境を提供した。児童を対象にした図書館教室、総合学習のための貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用促進と読書普及を図ることができた。中学生、高校生の職場体験学習を受け入れし、図書館の理解を深めた。移動図書館車を巡回運行し、利用者の利便性を図った。本の読み聞かせなどのグループに館内外活動への支援として本の貸し出しを実施した。岩手の読書週間に岩手県中部教育事務所と連携して、「子どもの心に届く本の読み方」について、講師による実演指導をいただき読書活動の推進を図った。第158回芥川賞受賞「おらおらでひとりいぐも」の若竹千佐子さん（遠野市上郷町出身）を招いて、トークイベントを開催し、功績を顕彰すると共に市民への読書の推進と啓発を図った。平成28年度に引き続き水損被害を受けた図書資料を用いて、資料救出活動を行う人材育成のため「水損資料レスキュー in 岩手県立博物館」での講習会を実施した。</p>				実績値	<p>図書館の利用者数 17,568人</p> <p>市民への図書貸出冊数 67,945冊</p> <p>移動図書館車の貸出冊数 11,355冊</p> <p>学校図書館への貸出冊数 21,130冊</p>														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		23,096,000			22,962,997			0					0		164,855					22,798,142

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					博物館費	単位：円
事業内容	<p>伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や記念講座を開催し、市内外に情報発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や特別公開「遠野領内図」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>市民対象の博物館講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p>			計画値	<p>博物館入館者数 20,200人</p> <p>博物館講座等の受講者数 950人</p>	
	成果	<p>伊能嘉矩生誕150年記念特別展「伊能嘉矩と台湾研究」や特別公開「遠野領内図」を開催。遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催し、商工会と連携し中心市街地への集客に努めた。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>1 特別展「伊能嘉矩と台湾研究」(8,041人) 会期 平成29年7月21日(金)～11月23日(木)</p> <p>2 特別公開「遠野領内図」(513人) 会期 平成30年1月12日(金)～1月21日(日)</p> <p>3 特別展「遠野のひな人形」(1,473人) 会期 平成30年2月9日(金)～3月11日(日)</p>			実績値	<p>博物館入館者数 16,230人</p> <p>博物館講座等受講者数 1,292人</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,294,000	14,887,045	0	0	5,248,375	9,638,670	

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					ブックスタート事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本をとおしたふれあいの中からお互いに幸せを感じ成長するための機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味をもってもらおう。 ・ボランティアグループによる読み聞かせ ・絵本、袋の配布 ・対象 1歳児 ・遠野市立図書館の利用案内 			計画値	<p>読み聞かせ回数 12回</p> <p>対象者 160組</p>	
	成果	<p>健康福祉の里において、1歳児健康相談時に本等の配布を実施した。</p> <p>参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。</p> <p>対象者 132組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児健康相談時に配布 107組 ・民生児童委員による配布 25組 ・対象者に対する配布率 100% <p>1歳児健康相談時に絵本等の読み聞かせ、本の紹介、図書館への利用の促進を図ることができた。</p> <p>ボランティアグループの本の読み聞かせや本の紹介により、手に取って身近に活用できることから好評を得ている。</p>			実績値	<p>読み聞かせ回数 12回</p> <p>対象者 132組</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
300,000	299,497	0	0	279,000	20,497	

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					伊能嘉矩生誕150年記念事業費	単位：円
事業内容	伊能嘉矩生誕150年に合わせた特別展や記念講座、遠野文化フォーラムを開催し、遠野の先人の功績を市内外に発信する。 また、国立台湾大学と伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定を締結し、台湾との交流を活発化し、交流人口の拡大を図る。			計	遠野文化フォーラムの開催 国立台湾大学との文化交流協定の締結 特別展の開催	
	成果	国立台湾大学と文化交流協定を締結し、台湾大学に保管されていた伊能嘉矩ゆかりの資料を約90年ぶりに里帰りさせ、特別展を通して市内外に公開することができた。また、国立台湾大学図書館で伊能嘉矩のパネル展を開催し遠野の先人の業績について広く情報提供することができた。特別展開催中には台湾からの来館者もあり、交流人口の拡大に貢献することができた。 1 遠野文化フォーラム（340人） 平成29年8月20日（日） 2 伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定の締結 平成29年8月20日（日） 3 特別展「伊能嘉矩と台湾研究」（8,041人） 平成29年7月21日（金）～11月23日（木）			実績	遠野文化フォーラムの開催 国立台湾大学との文化交流協定の締結 特別展の開催
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,098,000	4,792,104	972,000	0	3,263,000	557,104	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	<p>法に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓発活動を推進し、市民の文化向上を図る。</p> <p>また、郷土芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場を提供するなど、必要な支援を継続する。</p> <p>1 指定文化財の調査・保護及びその他未指定文化財の調査、保護啓発活動の実施。</p> <p>2 民俗芸能の活動支援。</p>			計画値	<p>文化財調査 1式</p> <p>民俗芸能の映像記録件数 平成29年度 25件(累計)</p> <p>備品整備補助 1式</p> <p>郷土芸能活動支援補助 1式</p>	
	成果	<p>新たに発見された上琴畑湿原の調査を実施し、現状を把握した。文化財保護審議会を開催し、新たに無形民俗文化財6件(綾織しし踊り、鷹鳥屋獅子踊り、山谷獅子踊り、土淵しし踊り、細越獅子踊り、佐比内しし踊り)を指定した。また、指定文化財保護のため「鞍迫観音絵馬堂」と「登坂氏庭園」の修理に対して補助を行うと共に「山谷観音堂」の文化財説明板1基を更新して周知に努めた。</p> <p>郷土芸能については、保存育成を目的として「綾織しし踊り」「穀町南部ばやし」「山谷獅子踊り」「塚沢早池峰神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助し、活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。</p>			実績値	<p>上琴畑湿原調査 2回</p> <p>文化財修理補助 2件</p> <p>民俗芸能の映像記録件数 平成29年度 25件(累計)</p> <p>備品整備補助 4件</p> <p>郷土芸能活動支援補助 2件</p> <p>文化財保護審議会 1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,801,000	1,673,208	0	0	504,000	1,169,208	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費															
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円														
事業内容	<p>各種開発事業の円滑な実施と、埋蔵文化財の保護・活用の調整を図るため適宜に埋蔵文化財の分布・試掘・発掘の各種調査を実施する。個人住宅建築に伴って昨年実施した「和山遺跡」の室内整理、調査報告書作成を行う。 また、調査記録や出土遺物の適正な管理を行いながら公開活用に資するため資料台帳の作成を推進する。</p>				<p>開発に伴う遺跡の分布・試掘・発掘調査等 1式 「和山遺跡」室内整理・発掘調査報告書作成 1式 市内出土遺物の資料台帳入力 1式</p>															
					計画値															
成果	<p>各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した11件について、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、平成28年度に行なった「和山遺跡」の発掘調査報告書の作成を行った。 重要文化財千葉家の八セ小屋・鳥小屋・外便所の発掘調査を行い、千葉家の保存修理のための基礎情報を収集した。 公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、企画展「伊能嘉矩と考古学展」「新田 遺跡展(2011年報告編)」を開催し、調査成果を公開した。 「縄文土器作り教室」(参加者数：54人)、「勾玉作り教室」(参加者数：34人)の各文化財教室を開催すると共に、市民の依頼を受けて、自治会等主催の「勾玉作り教室」(参加者数：81人)に協力し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。</p>				<p>遺跡照会回答数 137件 試掘調査 11件 千葉家発掘調査 1件 発掘調査報告書作成 300部 データベース入力作業 1遺跡分 1,480件 企画展開催 2回 埋文教室開催 7回 (参加者は延べ169人)</p>															
					実績値															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		10,161,000			9,988,698			2,978,000					0		29,124				6,981,574	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p> <p>また、新たに認定された遠野遺産の表示板を設置することにより遺産の啓発に努め、ガイドブックを発行して市内外に情報発信を行う。</p>			計 画 値	認定件数の増	1件
					ガイドブック作成	1式
				遠野遺産標示板設置	5基	
				遠野遺産認定竿頭綬	1本	
成果	<p>新規の遺産1件(山谷獅子踊り)を認定し、累計数が150件となった。</p> <p>遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等11件(田屋の大杉、能傳房神社、菅原神社、小友町裸参り、安戸の正一位稻荷神社、伊勢両宮神社と松尾神社、伊豆神社、大峰鉾山とその周辺、一日市のお雛見遠野南部ばやし)が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p>			実 績 値	認定件数	新規1件
					ガイドブック作成	3,000部
				遠野遺産表示板設置	5基	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,445,000	1,352,499	0	0	1,000,000	352,499	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保護していくため、建物の傷みに応じた修理方法で保存修理工事を実施する。また、最適な防災施設の整備のための防災施設整備計画策定、より良い活用に向けて整備活用基本計画の策定を市民とともに進める。</p> <p>千葉家旧蔵古文書及び家財資料の整理作業を専門職員を配置して進める。重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し、専門家の意見聴取を行い、円滑な事業の進行を図る。</p> <p>長期に渡る整備事業の映像記録を引き続き行う。</p>				<p>保存修理工事 大工小屋解体、主屋ウマヤ解体、主屋素屋根設置、屋根解体 整備活用基本計画 1式 防災設備整備計画 1式 整備事業映像記録 1式 古文書整理台帳作成 200点 家財資料整理台帳作成 1,000点</p>	計 画 値
	成果	<p>1 保存修理工事 大工小屋の全解体、主屋のウマヤ部分の解体を行い素屋根を設置し、オモヤの茅葺屋根の解体、内部造作の一部解体を行った。重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを1回開催し整備に関して検討した。</p> <p>2 防災設備整備計画及び整備活用基本計画の策定作業等 昨年まで防災設備調査結果を踏まえ専門委員や関係部署と協議し、防災設備整備計画案をまとめた。 市民組織である重文千葉家の活用を考える会や高校生とともに周辺地域の建物や植生等の各種調査を実施し、それらをもとにして整備活用基本計画案を作成した。</p> <p>3 千葉家旧蔵資料整理及び整備事業映像記録 資料整理は非常勤の専任職員を配置して取り組んだ。千葉家から引き継いだ家財資料についてクリーニングし計測や写真撮影、繕いを行いながら台帳作成を進め、約2,100点中1,600点について完了した。古文書等の資料は建築に関する記録を中心に解読しながら台帳作成を進め、約4,200点中500点（H29年度350点）完了した。整備事業全体について映像記録を委託して実施した。</p>				<p>保存修理工事 大工小屋解体、主屋ウマヤ解体、主屋素屋根設置、屋根解体 整備活用基本計画案 1件 防災設備整備計画案 1件 整備事業映像記録 1件 古文書整理台帳作成 350点 家財資料整理台帳作成 1,600点</p>
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
125,133,000	121,243,686	66,158,000	34,000,000	0	21,085,686	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費
事業名					単位：円
歴史文化基本構想策定事業費					
事業内容	指定・未指定を含めた文化財の悉皆的調査を実施・整理し、遠野市の文化的特性を明確にすると共に、総体的価値を前提とした文化財の保護活用の方針を構想としてまとめ、長期的視点に立脚した一貫性のもとに文化財行政を推進する。また、関連部署と構想を情報共有することにより文化を活かしたまちづくりを推進していく。			計 画 値	文化財資料の調査整理 1 式 歴史文化基本構想検討委員会開催 1 回 ワーキング会議開催 1 回
	成果	既存文化財調査資料の整理、電子データ化を行うと共に、市内の歴史的建造物の調査を実施し、新たに120棟の建物をリストアップした。 遠野市歴史文化基本構想検討委員会を立ち上げて委員会を開催し、役割と今後の日程について情報共有を図った。また、有識者によるワーキング会議を開催し、構想の内容と関連文化財群設定の考え方について協議検討した。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,278,000	2,245,854	1,139,000	0	0	1,106,854

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費
事業名					単位：円
競技・イベントスポーツプログラム推進事業費					
事業内容	<p>スポーツを通じて市民が健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備、充実を図る。</p> <p>児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツの向上に努める。</p> <p>スポーツ指導者の育成に努め、各種スポーツイベントを開催する。</p>			計 画 値	<p>遠野じんぎすかんマラソン 参加者 1,700人</p> <p>スポーツ団体運営等補助 4団体</p>
	成果	<p>第35回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月27日に開催した。今回からハーフの部を復活させたことにより、参加者が増加した。</p> <p>児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。</p> <p>市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。</p> <p>また、トップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。</p>			実 績 値
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,958,000	14,231,061	0	0	0	14,231,061

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					単位：円	
スポーツ・ツーリズム推進事業費（繰越明許費）						
事業内容	ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン、高校・大学などの合宿や大会の誘致に向けたPR活動を実施し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る。 東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務の委託については、履行期間中に天候不順が続き、屋外の撮影に時間を要したことから繰り越した。			計画値	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務委託	
	成果	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像をもとに活動を行い、12月にブラジルを相手国とするホストタウンに登録が決定した。			実績値	東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ誘致用プロモーション映像制作業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
398,000	397,440	0	0	0	397,440	

10款	教育費	05項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を育成すること、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>さらに、学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理の徹底を図りながら遠野産食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安全安心なおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校） 給食供給人数 2,193人 年間給食実施回数 小中学校168回</p>			<p>年間給食実施回数 168回 うち米飯回数 126回 うちパン回数 42回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 65.8%</p>		
	<p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することができたほか、衛生管理の一環として、市内納品業者への衛生指導を行うなど衛生管理の徹底を図った。給食日よりなどでは、旬な食材の知識や食に関する情報を発信し、望ましい食習慣の育成に努めた。</p> <p>また、昨年度から実施している交流すまいる給食では、生産者や給食関係者と共食しながら、郷土の食文化や農産物の理解を深めると共に、他地域の食文化に触れる機会にもなった。</p> <p>さらにアレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーを持つ児童生徒へ主菜の代替食を提供した。</p>			<p>年間給食実施回数 168回 米飯回数 125回 パン回数 43回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 66.0%</p>		
成果	実績値			実績値		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
205,938,000	205,429,019	0	0	99,517,958	105,911,061	